夕刊
滿洲日報
八月二十八日
發行所 大連市東公園町三十一番地 株式會社滿洲日報社

常備兵五箇師團減少し在營年限を延長せん
豫算節減に伴ふ兵制の改革 陸軍部內の意見有力

【東京二十八日發電】今回の軍制改革に於て陸軍では極力常備兵數の減少を避けんとしつゝあるが、一相當額の恒久財源を捻出するには常備兵數に手を觸れるの已むを得ざることは前回の軍制改革に際して宇垣陸相が四個師團を減少するの餘儀なきに至つた經緯に見るも明かで、此四個師團の減少に依つて得た財源が僅かに二千萬圓に過ぎなかつた點より見て今回も亦所期の目的のためには四、五個師團分の常備兵數を減少することは避くべからざる大勢となつてゐる、然し之では現在の戰鬪力を維持することは不可能との理由で

一、此際常備兵數を十萬位(現在約二十一萬)に切詰め
一、在營年限を延長して大に訓練に力を注ぎ
一、戰時之を幹部として動員したる兵卒を指揮せしむべし

といふ兵制の立案説が軍部內に有力となりつゝある、斯くすれば最も經濟的にして且つ戰鬪力に及ぼす影響少しと云ふに在る

支那が讓歩せねば和平解決は困難
獨逸では兩代表挨拶に止め 正式交渉は他の地で

【ハルビン特電二十八日發】ドイツ政府の調停によつて露支紛爭は解決される機運濃厚となつたが、ベルリンにおいては單に同地駐在の支那公使とソウエート代表の握手と平和の繼つなぎに止め正式會議は支那としては南京に於て開催の希望を有してゐる、無論之に對して東北四省としては中央政府に根本の交渉權を讓るに異議はなからうが、問題の端を發したのは東北四省であるから奉露協定による東鐵の利害關係は東北四省が折衝することを主張するであらう、從つて今回の對露政策に中央と不調を來した如く、本問題の根本解決に就ては多少前途遼遠の感がある、恐らくソウエートとしては露支の通商、現に閉鎖されてゐる大使館の回復、國營機關の支那における位置の保障、其他地方的としては松花江、黑龍江の航行權、國境査定、エミグラントの處分等に言及するに至るべく、支那側が再びカラハン、王正廷の露支協定に入つて尚赤化宣傳の抽象論に傾けば容易に交渉は成立すまい、但し東鐵の現狀回復に止めるとなれば、ドイツの調停は成功する可能性はある、然し國民政府が今回の對露外交策にドイツを介在ー第三國の調停により局面を拾收した事になれば國權回復を唯一の信條として四億の民衆に宣言した政府の外交は始めて其實力なきを暴露するもので對內問題として國民政府內の政權爭奪が醞釀されぬとも限らず、東北四省對現在の南京政府との確執を自然の中に誘導する危險は免れぬところであると支那側當局は觀てゐる、然し今回の直接責任者である東鐵幹部及び當局にては露支の正式會議開催のため目下之が材料を蒐集し準備を進めつゝある、但し正式會議に支那側が最大の讓歩せぬ限り交渉は悲觀される、それは今回の調停を先づ依頼したのは支那側であつたとの説が有力であるからだ

昨夜太田長官邸の新任披露晩餐會

急速に解決せぬが武力抗爭は免がる
支那の大讓歩により

【奉天特電二十八日發】支那側の對露政策が和戰兩樣とは云へ尚和を主としてゐる事は其後の軍事行動に見て首肯される處であるが、果せるかなドイツにおける兩國代表の折衝は支那側の大讓歩により好轉し既に危險時代を過ぎた觀があるが、支那側では東鐵の原狀回復を原則として讓容はしてゐるが、從事員其他をまで原狀に回復するものではないと云つてゐる、而して正副局長の露國側占有は支那側としては大讓歩のやうであるが、理事會其他の幹部が支那側である現狀から見てさしたる影響もなかるべく、要々支那側としては實質的に東鐵の現狀回復に屈從したものとは思つてゐない、從つて此度の妥協案を以て相當の間に圓滿に而も急速に解決するものと見るは早計にして尚迂餘曲折を見るべく唯一時憂へられた武力抗爭は免れた形である

滿洲里の勞農軍寒氣のため後退
塹壕や民家に休養

【滿洲里二十七日發電】當地方の氣溫俄に下降し夜間は攝氏五度の寒さのため勞農軍は押せずして第一線より後退し塹壕や民家に入り兩軍共に緊張味を失つて來た

奉軍徵發に農民不平

【遼陽特電二十八日發】奉天邊防軍司令官は愈々赤露軍が支那に向つて挑戰的態度に出て來たので軍需品輸送の必要ありとして省內各縣に徵發馬車並に人夫の徵發を命じたが、遼陽には廿六日附を以て馬車一百輛と人夫一輛につき二名の割當で徵發方を命令して來た、よつて公安局ではこれを縣下十區に負擔せしめたが住民は水害後引續き馬賊の脅威をうけてゐる際とて今回の徵發命令には頗る不滿を抱いてゐる

支那國境の兵力を充實

【ハルビン廿七日發電】ロシアが蒙古軍を使嗾し支那を脅かさんとしてゐると云ふので支那軍は國境警備軍を益々增加し奉天軍千三百名は既に昂々溪に到着東方滿防軍第二軍長胡毓坤氏は二十七日齊々哈爾に到着し直に右增援隊の配置方につき萬福麟氏と協議した、目下海拉爾以西に在る支那軍兵力は步兵七個聯隊、砲兵一個聯隊、工兵一個聯隊である

賠償會議決裂か
六大國の意見一致せず

【ヘーグ二十七日發電】ドイツ委員の一人は本社記者に對し六大國の意見遂に一致せず賠償會議は遂に決裂に迫られてゐると語つた

要求額の七割八分

【ヘーグ二十八日發電】公式發表に依れば英國側は賠償會議の決定に依り既に要求してゐた賠償金年額四千八百萬馬克の七割八分即ち二千七百四十四萬馬克を受取ることゝなつた

五ケ國協定を遂ぐ

【ヘーグ廿八日發電】賠償會議ドイツ側一委員の發表したところに依れば關係主要五國は今曉零時廿分遂に協定を遂げ得たと

ドイツ外相臥床中

【ヘーグ二十八日發電】賠償會議に出席したドイツ外務長官ストレーゼマン氏は輕微な病氣で閉ぢ籠つてゐるが、會議最終日の尤儘が主なる原因であると傳へられてゐる、なほ氏は醫師の診察を受けて臥床中であると

撫順製油工場の生産高年額四百六十萬圓
市價より二割安に見積って 作業は愈よ十月開始

【撫順特電二十八日發】撫順大官屯製油工場は十月始めから作業に移るが各主副生産品を市價から計算して年幾何の總收入あるかを計上して見ると約四百六十五萬一千九百圓となる、主産物たる重油の

實際生産 高は年額約六百萬噸一噸二十三圓の百三十八萬圓粗パラフイン約九千四百噸、是は德山工場で精製すれば噸三百五十圓見當の市價であるが未精製品なる故噸百十圓と見て百三萬四千圓、硫炭年額四千九百、噸一噸十一圓、五萬三千九百圓、最も巨額に上るのが年額一萬八千二百噸を產する硫安で一噸百廿圓と見て二百十八萬四千圓、總計四百六十五萬一千九百圓となるのである、但し同

工場設立 には總資金約九百萬圓を投じてゐる上年々の經費亦莫大なるものあり前記値段の內重油の如きは全く犧牲的安値でその外粗パラフキン硫安の如きも現市價より二割安に計上したもので要するに同工場の主要目的は目下海外から巨額の輸入を仰いでゐる前記液體燃料等の必需品を邦人經營の國産を以て自給せしめんとするに在り同工場自體は營利本位から超越したものである

支那の幣制統一と奉天官銀號の惱み
奉天票に影響なきやう折衝 中央銀行進出の對策

【奉天特電二十八日發】先般孫科氏來奉の際張學良氏に對し財政統一のため奉天に中央銀行支店を設立し國税事項並に中央銀行紙幣流通方に付提議したる結果、張學良氏も

之を承認 するの已むなき實情に直面し近日中に東三省官銀號總辦を上海に派遣し財政幣制の統一會議に列席せしむることゝなつたが、右會議の結果は東北四省各地に分號を設置することゝなつてゐるが、某東北省財政通の語る所によれば、右實現を見たる曉に最も打擊を蒙るは官銀號にして從來濫發せる奉票を回收し全部中央の現大洋票を發行するに至るべく其結果官銀號は單に省税收入を取扱ひ得るに過ぎざるものとなり、一例の

特産買占 め等は全然不可能となる模樣で目下省政府當局は之が對策に苦慮しつゝあり、假令中央銀行の進出は止むを得ずとするも、之を奉票と關係無き立場に於て活動せしむる程度に喰止めんとしてゐる

奉天總領事後任に太田公使
林現總領事の辭任後

【東京二十八日發電】林奉天總領事は先般來辭意を漏らしてゐるので、外務省では其後任を物色中の處、大體に目下賜暇歸朝中のスペイン駐剳公使太田爲吉氏を任命するに內定した

として盛に折衝中であるが、一般商民としては既に永年奉票濫發に惱まされ來つたことゝて寧ろ中央銀行の進出による幣制統一と安定を切望してゐると

天羽書記官後任 大橋第三課長

【東京二十八日發電】外務省通商局第三課長大橋忠一氏は天羽支那公使館一等書記官の後任として公使館一等書記官に轉じ北平在勤を命ぜらるゝ事となつた

烏鐵代表等引揚

ソウエートロシヤ烏鐵代表ポルトラック氏並にウラジオ商船ハルビン支部長カルポホウイチの兩氏は廿八日出帆うらる丸にて日本へ向つたが浦鹽經由本國政府に向ふものであると

華商公議會長の選擧で暗中飛躍
金州、山東兩派が反目

小崗子華商公議會々長選擧も切迫するに連れて目下華人間に於ては猛烈な暗中飛躍が行はれて居り西崗街雜種商徐瑞爛氏が副會長に取つて代らんと側面運動を行つて居るらしいが、然も大連公議會も既に張本政會長の任期滿了し改選期を控えて張氏を推す金州派と鄧子粹を戴き委員制を主張する山東派との內に露骨な反目あり未だ選擧日も決定しない狀態であるが、華人實業家にとつては公議會々長の問題は大連市長の選擧あるも直接的利害關係あり目下華人間にあつては寄ると觸ると此問題が討議されてゐる

日支聯絡電話料
九月分の協定額決定

當地遞信局では九月分の日支連絡電話料金を支那側と協定し左記の通り決定したが銀相場の關係で九月分は八月分より天津、北平へ一通話料金各十錢又洮南へは五錢方何れも低廉となつた

區域	通話料(圓)
奉天(日本)天津間	二、六〇
奉天(日本)北平間	三、一五
奉天(日本)洮南間	一、九〇
大連奉天(支那)間	一、三〇
大連天津間	三、七〇
大連北平間	四、二五
大連洮南間	三、〇〇
旅順奉天(支那)間	一、五〇
旅順天津間	三、九〇
旅順北平間	四、五五
旅順洮南間	三、二〇
安東縣奉天(支那)間	一、〇〇
安東縣天津間	三、四〇
安東縣北平間	三、九五
安東縣洮南間	二、七〇

自働電話の技術實習
支那側技術者大連局で

【奉天特電二十八日發】東北交通委員會では先に開通した奉天郵便局の自動電話交換成績が極めて良好であるので此の機會に於て支那人の技術者を同局に派遣し約三ケ月間の實習をなさしめるため其補充員として當地東北大學電氣科卒業生で目下交通委員會に勤務せるもの〻中から三名を委託し養成せんとする希望を申出たが奉天局では既に諸設備完了してゐるので本年度自働電話の增設をなすことゝなつてゐる大連電話局に於て實習方を支那側に傳達した處非常に感謝と滿足の意を以て迎へ近く正式公文を以て櫻井遞信局長に對し依賴狀を發送し來ることゝなつてゐる、日本側でも日支親善の立場より相當好意を以て之を取扱ふ由

荻川放談 (86)
治安

支那では何とあつても、滿洲ほど治安の維持されとる所はない是も此治安維持を日本がやかましく云ふからで、日本は若し之が亂れて其處にある我權益の侵されんか、常に獨力でもとの決心を持つ、併し支那の主權は必ず尊重するので、要せぬところに手を出さぬ、それで何事かの起ると、滿洲の治安は日本が手を出さぬ邊から壞れ出し、累が此方に及ぶに至つて日本は立つ併しその立つや治安が還元して民衆の歡喜となる。

◇

今度も露支の喧嘩で、支那軍隊は國境にと動く、此虛を狙ふ匪賊は所在にはびこらんとし、現に東北四省の核心たる奉天の膝許でさへ、通江口附近と云ひ、遼陽附近と云ひ、近隣撫順までが、此匪賊の跋扈に惱み出したと傳えらるゝではないか、膝許が既に然りとせば、他地方は推して知るべきのみ、而も之の世に聞えぬは、交通の阻礙からで もあらん、されど幸ひにまだ累は日本の權益に及ばず、南滿鐵道沿線なんかは至極平和だが、さりとて卻々に油斷は出來ぬ。

◇

殊に斯うした情勢に乘じ、所謂中國共産黨一派が、此陷穽に乘ぜんとする患憂もあるに於てをや、で、然らば其陷穽を補はんが爲に國民政府灰色軍の關外進出を以てせんかと云ふに東北四省官憲は、之を自己勢力保持の必要から肯ぜないとか、それは私である、併し公のうえからよりしても、此進出には治安の紊亂が伴ふべし、何んとなれば、支那軍隊の他省に入るや、將卒ともに其處を喰物とし、弊害の及ぶところ、匪賊に勝るも劣るなき點あればなり、されど國民政府の隙にも、其軍隊に此喰物を與へんとする私心なきにあらずとかで、相互がみな私に立つこそ心細し。

◇

私を去つて公に就け、而して國民政府は、編遣規定にもはまらない軍隊を、輕々しく出勤せしむるな、東北四省は治安維持に力の足らねば、豫てからの保甲制を整へよ、それでも不充分なる義勇兵隊の組織である、喋者學生間に此傾向を生ず、豈學生と限らんや、平素愛國を口にしとんでもない排日などを唱ふる連中をして之に當らしむるに限る、彼等が此事を爲し遂げ得ざれば、其愛國は噓と知れ、排日も何か爲にせんとするところあつてのことゝ思へ、露支抗爭は今後どうなるか知らぬが、唯滿洲の治安に專念する日本としては、該抗爭を外にして、斯うしたことが言ひたくなる、言甲斐なければ自然に手も出ることにもならんが、併し今が此時期じやとのことではない。

滿鐵各理事新長官に挨拶

滿鐵の藤根、岡、田邊、小日山各理事は二十八日朝太田新關東長官へ挨拶のため自動車にて旅順へ往復した

人事

▲西川幸辰氏(京都商大教官)廿八日出帆うらる丸にて內地へ
▲丘義二氏 同上
▲山科長之輔氏(日本角力協會檢査役)同上
▲荒川彦榮氏(大倉商事會社員)同上
▲京大陸上競技部員一行 廿六名同上
▲草場辰巳氏(關東軍司令部附)新任挨拶のため廿八日各方面を歷訪
▲後宮淳氏(步兵第四十八聯隊長)久留米へ轉任挨拶のため同上

大觀小觀

暫定的なドーズ案から決定的なヤング案への切替へ、英國の橫槍から決裂の危機に臨つてゐると傳ふ。

◇

ドイツの賠償年限、この九月一日から、第一期が三十七年、第二期が二十二年、都合五十九年といふ長期にわたる。

◇

英國の分前が割に合はぬといふので橫槍を入れたが、橫槍が英國だけに厄介。

◇

濱口首相、いはゆる三大審議會の外に國家永遠の大策を樹立すべき大調査會を設置せんとするの意向ありといふ。

◇

惡いことではない。

◇

併し前例もあること、また冗員のために冗費の機關を設け、冗費を濫費するは、緊縮節約の趣旨に戾る。

◇

滿洲里、早くも攝氏五度に氣溫降下。

◇

うかうかしてゐると、やがて結霜。そこで露支の交涉、支那側の讓步でいよいよ開幕か。

◇

高粱に百舌來り啼き夕やけす。

天氣豫報

廿九日(晴れ)一時曇り
日出五時十八分日沒六時三十分
滿潮前四時五分後四時十分
干潮前十一時後十時四十分

各地の溫度

	十一時	昨日最高
大連	二八、一	二八、九
旅順	二七、二	二七、三
營口	二五、六	二八、九
奉天	二三、七	二八、四
長春	一九、二	一九、九

關東州鹽業政策の確立に就て要望

生產高及輸出の增加趨勢に鑑み 太田新長官に期待

關東州內に於ける鹽業は逐年鹽田の擴張に伴れ生產高增加しつゝあり昭和三年度に於ては鹽田總面積六千九百七十町步（內邦人經營五千三百六十九町步華人千六百三町步）生產高は邦人側二億七千百餘萬斤、華人側一億四千餘萬斤に上り

內地方面 に約四億斤近くを輸出し更に二年前より漁業用として樺太沿海州方面へも約四百萬斤を供給すると共に最近に至つては三井等の手を通じて南支、印度方面まで進出しつゝあり、之に伴ひ現在の移輸出奬勵金の引上並に鹽稅引下等が要望されるに至つたが、關東州鹽の供給過多の現狀乃至は生產高及輸出の增加發展の趨勢に鑑み、從來比較的冷淡であつた關東廳に對し、緊縮內閣の新長官赴任を機として鹽業政策の確立が要望されるに至つた即ち現在鹽田土場に於て原鹽百斤（價格約十錢）に付十錢といふ殆んど

原價同樣 の鹽稅が課せられつゝあり且つ現在邦人側に比し優良鹽田のみに占據せる華人鹽業者に對する將來の方針、州內の開發餘地、本國需要との關係土の關係其他輸移出用加工鹽の奬勵及其の輸送關係等を考慮して關東州鹽を如何に取扱ふべきかの根本的鹽業政策を樹立せよと云ふにあり、新長官の之に對する態度は一般に期待されてゐる即ち關東州鹽は現在五億斤程度の產額に過ぎざるも將來十億迄は增產可能とされて居るが一方內地の

需給狀況 を顧るに總消費約十五億斤に對し國內產約十一億、靑島滿洲鹽合せて約四億を輸入せるも靑島鹽は條約上制限せられ居り極めて少量（年約二十萬斤）に過ぎず今後人口の增加及び前議會の協贊を得、賠償金を以て行ひつゝある內地鹽田の整理縮少が進行するに伴ひ現在でさへ多量の輸入を見つゝあり將來愈よ消費增大が豫想される國民の食用鹽に對し食糧問題解決策の一端として濱口內閣が如何なる方針に出づるかゞ注目される

因に樺太沿海州方面漁業鹽の需要は現に年額一億斤に達してゐるが

關東州鹽 は運賃高價（噸五圓）の爲めと大部分原鹽にして漁業用に適せざる爲め英本國鹽、スペイン鹽、エジプト鹽等が進出し來り年に四、五千萬斤も輸入されつゝありと

現狀に於て銀行が貸付金の回收を嚴重にすれば商人としては非常に苦痛であるから支拂期日に至り餘議ない事情あるものに對し銀行は期日の延期を成るべく承諾し苛酷なる回收方法をせぬやう行政長官にこれが通達方を申請したのであつて餘裕あるものは約定通り決濟をすることは當然である

と語つたが、ダリバンクの引揚げは同行が多額の貸出しをして居る關係上支那側銀行に對して打擊を與へてゐる模樣である、尙露支紛糾の現狀が依然として永續すれば各外國銀行も亦一層緊縮方針に出るから支那側に多少の倒產者を出さぬとも限らぬ狀態にある

現金賣價の引下げを希望

滿鐵生活改善委員と大連商議委員の會見

滿鐵社員會の生活改善委員は二十七日午後二時大連商工會議所で同商議商業部委員と會見し、現金買による生活改善の主旨を述べ社員消費組合は現金買に對し五分乃至五分以上割引して販賣することゝなつたから、市中商店も之に準じて實行するやう希望するところあつたが、商業部委員會では主旨は贊成であるが市中商店の商品は原價が同一でないから一律に五分乃至五分以上を割引することは事實問題として困難な點が多く、なほ研究の餘地があり今後商工會議所に於て實際的に調査研究することゝなり右會見を終つた

朝鮮の鹽輸入高

【京城發】七月中鮮內へ輸入された天日鹽は▲釜山稅關管內 三百四十八萬三千斤價額二萬二千六百圓▲仁川稅關管內 六百九十七萬一千斤價額四萬四千九百圓▲新義州稅關管內 七百萬一千斤價格四萬五百圓で輸入地國別は▲山東省鹽 八百七十萬七千斤價格五萬七千五百圓▲關東州鹽八百六十六萬七千斤價格五萬四百圓 合計 一千七百四十五萬五千斤價格十萬八千圓で一月以降累計一億三千百九十六萬三千斤前年同期に比し二千六百十五萬斤となり輸入漸減を示してゐる

補助航路

阿波共同と高橋合資

關東廳では今回阿波共同汽船、並びに高橋合資會社に對し昭和四年度において補助航路として指定する事となり、阿波共同に對しては一萬九百圓を、高橋合資に對しては三千圓を下附する事となつた、前者は第一航路を大連—芝罘—仁川—芝罘—大連（每月六回以上）第二航路大連—芝罘—靑島—芝罘—大連（每月六回以上）第一航路には第二十六共同丸を使用、第二航路には第十六共同丸、第二十一共同丸を使用、後者は福誠丸にて大連芝罘間（一ヶ月十三回）いづれも指定船舶を變更又は代船を使用する時に關東長官の許可を受又航海回數を減少する時は同樣長官の許可を受ける事等が注意事項として擧げられてゐる

て僅に千五百店に達する見込み、資本金は前回決定の四百萬圓より增加すべく、新會社設立は來月上旬發起人を詮衡約三週間に亘り詮益調査を經た後、發起人總會は十月に入るものと見られるから新會社成立は順調に進捗するとしても十一月上旬になるだらうと

北滿露國機關への鮮銀融資は完濟す

合計約二百五十萬圓

鮮銀ハルビン支店の同地露國貿易局ならびに極東銀行に對する融資は相當多額に上つてゐたので、露支時局勃發以來その成行如何は財界一部からすこぶる注目されると共に最近鮮銀總裁の進退問題に關聯しても兎角の宣傳が行はれてゐたが、貿易局に對する貸金殘高百五十萬圓は廿二日全部返濟されたと同時に回收され、さらに極東銀行に對する分約二百萬圓は同局閉鎖と同時に回收されこれで鮮銀の北滿における露國機關に對する融資は全部回收された譯であるが右につき武安大連支店長は左の通り語る

ハルビン支店の露國機關に對する貸付金の回收云々は本店に報告されたもので當支店は何にも聞いてゐない、しかし

露國貿易局 にせよ極東銀行にせよ有力な機關であるしこれも惡くて閉鎖したのでなく政策上一時營業を中止したといふ意味のものであるから融資の回收についても毫も不安はない無論完全に解決ついたものであらう。露國側經濟機關の閉鎖は支那側の壓迫によることであるが、支那銀行が肩替りして資金を融通し得る能力がない現狀において一番困るのは支那商人であらう、いつもながら經濟問題に關して無理解な支那のやり口には困つたものだ

店は既定の千二百三十店、通運系統八十店、これに追隨する者百店合計千四百十店は確實で更に滿津會寧、慶東線及び全南線等を合し

交換のために紙幣を收縮

モラトリアム實施說は其誤傳 北滿金融界の打擊

【ハルビン特電二十八日發】ハルビンにモラトリアムを實施するとの說は支那當局を却つて驚かし張行政長官は全然之を否認してゐるが、其眞相は

從來ハルビン大洋は銀行が濱江（傅家甸）に在つた爲、燕道尹の建言により發行額の制限をして來たのであるが、今後は行政長官が之を管理し、新發行の紙幣に長官がサインすることになり之がためハルビンの各種支那側銀行が發行せる紙幣を今回全部行政長官のサインしある紙幣に交換する爲、各銀行をして今後三ヶ月以內に愈よ新紙幣と交換する旨を布達した、之が爲各銀行が發行せる紙幣を一時收縮するため緊縮方針に出たのであつた、但し新紙幣の交換で金融界に著しい影響を來してゐること は事實である

モラトリアム實施せず

華商の金融難甚し

【哈爾賓發】哈爾賓に支那側はモラトリアムを實施すると云ふ噂が傳へられたので哈市商工會議所では哈爾賓總商會長張廷閣氏を訪問し眞僞をたしかめた所氏はモラトリアムを實施するが如き事は全然ない但し當地經濟界の

運合會社成立は十一月上旬頃か

十月に發起人總會

【京城發】既報の如く運合問題はいよいよ當面の解決を見た形で二十四日通運側より鐵道局に對して正式通告をなすと共に運輸と合同で來局中の各運輸所長を招待する等頗る順調であるが、新會社加入

製鋼所問題商議聯合へ提案

鞍山商工會議所から

第十一回滿洲商工會議所聯合會の各地からの議案は既報の如くであるが、鞍山からは第九號議案として

製鋼所を滿洲に建設方當局に請願の件

右は鞍山經濟研究會及鞍山實業協會の聲明書の內容と同一である、哈爾賓商工會議所としては前聯合會で決定し七會議所に於て研究することになつてゐた

一、滿洲邦人特產商助成振興に關する件

に關して長春商工が委員長であつた處同所が會頭問題で紛糾し在再今日に至つたので今回の聯合會に上提し再審議しては如何と七會議所委員に廿六日附で提案した、該聯合會列席の各地代表は

奉天三谷副會頭、野添書記長、營口加賀會頭、日下書記長、撫順山上會長、森山、鐵嶺權太會長、松崎、安東高橋會長、上田書記長、鞍山加藤會長、阪元、神田の兩氏、大連商議橫田副會頭、篠崎書記長等

で長春、遼陽は未定であるが、開原、四平街は參加せぬに決定した尙滿鐵本社からは田村興業部長、武部商工課長の兩氏出席すると

大汽株主總會

廿八日本社で

大連汽船會社では廿八日午後三時から本社內に於て定時株主總會を開催し當期決算報告を附議するはず

團體めぐり

地の酒造組合とは商賣敵の間柄

灘の銘酒を取扱ふ酒屋サン達の集り

◇……大連酒商組合（上）

同じ酒を取扱ふ商賣であつても先に紹介した關東州酒造組合と、わが大連酒商組合とは利害立場を異にした、言はば商賣敵の間柄だ近ごろ地酒の醇良化に「酒は灘の銘酒に限る」と高を括つては居られなくなつた、しかし古い文句とは云ひながら「酒なくて何んの己が櫻かな」と愛酒家が觸りない鑑賞に陶然たる櫻地を味はふには「灘の銘酒」でないと、まだ何うもピツタリと來ないやうだ。

◇

この灘の銘酒が一ケ年どれほど大連に輸入されるか——大連民政署の調べによると昨年中ザツト七千六百石、これを四斗五升入の樽に詰めると一萬七千樽である、銘酒の種類は白鶴、澤龜、白鹿、大關、加茂鶴、忠勇、櫻正宗、稱菊白菊、菊正宗、東洋一、白雪といつたもの、このうち一番多く飮まれるのは白鶴、白鹿、菊正宗である、醸造元は殆ど灘であるが中には廣島、伏見のものもある、これ等所謂銘酒を取扱ふ店は、釀造元直營の支店か、一手販賣の代理店に限られ、一般商品の如く到る處の商店で取扱つてはゐない。大連にはこの銘酒を取扱ふ店が十一軒ある、即ち大連酒商組合はそれ等の酒屋サン達の團體である。

◇

滿洲——大連に於ける現在のやうな酒屋の歷史は卻々古い、日露戰爭當時、酒保として軍隊に從つて來た人達が戰後、大連に居殘つて酒店を開いだに始まる、何んでも當時數軒の酒店で「懇親會」を組織したことがあるが中途解散し大正七、八年の好景氣に今は五、六十圓の銘酒一樽が一躍百二、三十圓に暴騰し常業者の競爭も激しくなつて市價が亂脈狀態に陷つた時、競爭防止と値段協定の必要から、大連酒商組合が再生したのが大正八年三月、爾來何事にも協同一致の步調をとり、赤い灯青い灯のカフエー出現によつて受ける洋酒の脅威、安直で經濟的な支那酒との對抗、近ごろ頭をもたげて來た地酒との競爭等々に「酒は灘」の地盤擁護に懸命である。

◇

酒の賣行きは景氣の如何で消長のあることは一般商品と少しも變らない、それに時季によつて賣行きが違ふ、五月から八月までは閑散期、九月から四月までが繁忙期である、從つて釀造元では閑散期中腐敗を防ぐため本火といつて酒を沸騰させ樽詰にして輸出する、だから五月から八月までの間、消費者は何んのことはない燗冷しを飮まされてゐる譯だ、九月から四月までは冷卸といつて醇良な純粹な灘の銘酒が市場に賣出される。

◇

灘の銘酒は本場の內地より大連の方が安く飮まれる、これは關稅關係によるものだが大連の酒屋サンが正直であつたなら、一升につき必ず內地より二、三十錢は安くならねばならぬ、それがさうでないのは一體何う云ふ譯か、それは先づ酒屋サンの價格協定から覗いて見よう。

黃塵

◇……商議聯合會もその議題が精々「共產黨の取締り」や「銀券發行」の建議案程度では心細い、心細い。

◇……鞍山、例の製鋼所設置問題を商議聯合會へ、商議大會で決議したら全滿の輿論と云ふことになるのかな。

◇……關東廳の新財務課長は松田源治——ではない源田松三君。

◇……むろん拓務大臣の令息でも何んでもないが卅一歲の靑年は賴母しい。

◇……滿洲財界にはいろいろ複雜な懸案が殘つて居る。

◇……直接の監督官として大に新味ある所を見せて貰ひ度い。

◇……露支紛爭の飛沫、支那側金融業者並に特產商に恐慌を起さしむ。

◇……蕊し毛を吹いて疵を求めた者の尤であらう。

市況

特產

大豆强調 銀弱含みで

大豆は銀弱含みの爲買煽り調を呈し、高粱は受渡し近く高先安の區々を辿り、引現物大豆は油坊五車、昌、勝間で十車、豆粕は三千枚の手合はせ、生產高は七千枚、操業

◇定期前場（銀建）

◇現物前場（銀建）

錢鈔 銀價軟弱 材料氣迷ひに

今朝の海外材料としては……

◇定期取引

◇現物取引

商品 前場

麻袋（弱保合）、綿糸布（强保合）

株式

內地聯り 當市小締り

市場電報

銀塊及爲替

大阪株式 東京株式 大阪期米 東京期米 大阪綿糸 大阪棉花 神戶豆粕 橫濱生糸 印度麻袋

二十八日限り鈔票の受渡

奧地市況

上海爲替情報 上海標金 手形交換高 爲替相場 正金 鮮銀

平安巽香 (94)

葉多默太郎作　中一彌畫

大悲山 (五)

高倉の宮は人相による運命の暗示を受けて、決然意を決せられた。

新宮の十郎義盛といふ男を藏人にして行家と改名させ、これに命令を持たせて東國へ發向させた。が熊野の別當で湛増といふものがこれを知り、清盛の下へ内通したので忽ち手が廻つたのだが、檢非違使廳に頼政の嫡子伊豆守仲綱が出仕してゐたので、仲綱は驚いてこの事を頼政に通じした。

時は治承四年の五月、十五日に頼政は息子から計畫露見の報を得たので、即夜宮の下へ急使を遣ばして、

「とにかく三井寺へ御忍びを。我々はすぐ後を追ひ參らすべし」

と云つた。

で、宮は高倉の宮を忍び出ようとなさつたが、既に檢非違使廳のものらしい眼が、向ふの築地の蔭や路傍の溝の中から見張つてゐるやうなので、ありのまゝの姿でお出でになることは出來ない。

そこで宮は髪を解いて亂し、女裝に市女笠を深くしてお出かけになつた。

宗信といふ家來がお供役になつて傘を持ち、童が一人袋を持つて隨つたので、侍女が里へでも歸るか使ひにでも行くとしか見えない。

それで無事に高倉の宮を離れて行つたが、高倉を北へ出端れた所に溝があつて、それへ來ると、宮がうつかり大股に溝を跳び越えられたので宗信が、

「あつ」

といつた。

思はず布衣の下に隠した太刀に手をかけてあたりを見廻したが、百姓が一人。

「あられもない。はしたない女房ぢや」

と呟きながら行き過ぎたばかりで、他に誹りの眼を向けてゐるものもないのでほつとした。

平氏方が高倉へ討手を向けたのは翌日の夜だつた。

ところが皮肉にも、その討手の中に頼政の息子の仲綱や兼綱が加へられてゐた。まつたく平家の方では、高倉の宮の一件は源三位頼政が加擔してゐるとは夢にも知らないためだ。

だから討手の仲綱や兼綱が親父の頼政と一緒に邸を脱出して三井寺へ赴つたと分つた時には、流石の清盛も呆氣にとられて、

「あいつが、あいつが」

といつた。

三井寺は宮を迎へて早速合戦の用意にかゝつた。まづ比叡山や南都へ牒狀をまはして、宮に御加擔を勸告した。てつきり返事を聞くまでもあるまいと思つてゐたのだが、山門も南都も躊躇して應じない。そこに手違ひの第一があつた。第二に三井寺にも又清盛に内通するものがあつて、詮議が定まらなかつた。

そのうちに平氏の追討軍が迫つて來さうになる。

宮はこゝにもゐたゝまらず、亡命の寂しさと哀しさとを胸に抱き天位に登るべき御人相の佗しい結果を思ひながら、馬に召して南都へ向はれた。

が心身の疲勞極度に達し、馬上に居睡りをなさつて五六度も御落馬なさる始末。

頼政父子は、これまでだと思つた。

氏姓再興の苦心の酬ひを後の世に期待しながら、宇治に最後を飾つて戰死した。

これが宇治合戰の大綱である。話の本筋ではないが、此合戰がこの小説の背景になつてくる。

「お頭目、高麗の三郎どんに仁引の喜藏どんが只今歸城」

と話は本筋にかへつて、乾兒の一人が扉の外で大聲に怒鳴つた。

同時に扉が開いて、入つて來たのは高麗の三郎と仁引の喜藏だ。

ふとそこにゐる女面の小太郎と顔をあはすと、高麗の三郎、毛深い男で少時見ない間に猿みたいになつた顔をにんまりして、懷しげな眼をして、

「小太郎か。おぬしも今歸つたばかりださうだな」

いひながら前を通つて帳臺の前に指をつくのだつた。

映畫と演藝

東亞キネマを四十萬圓で買收す

昨年末の小笹前專務追出し事件に端を發して、幾度か瀕死を傳へられ、白水專務等に事務執行の停止を命じて代つた八千代生命も經營意の如くならず、昨今或は今井孝吉氏が乘つ取るとか、或は撮影所を閉鎖するとか、所謂紛々として全く收拾すべからざる混亂狀態に陷つてゐた東亞キネマはこの八月末の定時株主總會を目前に控へて愈々何等かの策を講じなければならぬことになり、主腦者達は八方奔走中であつたが、田中丸代行取締役等の斡旋によりこの程伏見の岡田一郎氏が出資してこれを買收することに話が纏まり、廿日夕八千代生命の奧平伯社長、專務宮內國太郎氏の入洛をまつて木屋町河村樓で調印を了した、買收額は傳へられる處に依れば四十萬圓で今後八千代生命と聯立内閣の形式を採り田中丸氏專務となり八千代より取締役、監査役各一名が入り岡田氏側よりは岡田氏の外に二、三の人が重役になる模様である

山岳映畫全盛

日活の田阪具隆監督が淺間信夫主演入江たか子、柴地浪子共演で製作中の「靈の王座」松竹蒲田の牛原虚彦監督、鈴木傳明の主演「山の凱歌」マキノ提供勝見プロの昭和彌次喜太「黑部探峽」はいづれも山を背景にした映畫であるが九月には三映畫とも相前後して封切されるであらう

明石潮が訴訟提起
山ノ手劇場紛糾

【東京二十七日發電】澤正歿後チヤンバラ劇の人氣を一身に集めてゐた明石潮一座は山ノ手劇場が去る六月より一年間出演の契約を無視し松竹キネマと契約し同劇場を映畫劇場とせんとなし八月初め明石一座を追出したので明石は二十七日同劇場主と松竹を相手取り同劇場出演契約履行出演妨害排除の訴訟を提起した

チヤツプリンの「街の灯」は來春公開

「ロンドンを明るくする方法は?」との問に「私の「街の灯」を上映すれば……」と答へた、と傳へられて居る、チヤーレス、チヤツプリンの「街の灯」は昨年の秋に開始され、本年の正月には公開される筈であつたが、病氣や其他種々な事件が起きて來春公開される事にならうと

映畫界東西

◇經育で舞臺監督、俳優として評判のよい、フランク、マコマツクは今回ユニヴアーサル社に監督として入社した

◇アドルフ、メンジヨウは目下巴里にゐるが、近く再び米國へ赴く豫定であると

◇スペインのオペラ歌手ドン、ジヨセ、モジエカはフオツクスに入社し發聲映畫で活躍する

◇グロリヤ、スワンスンは去る二日ニユーヨークを去つて歐洲の旅に赴いた

◇ジヤツク、マルホールとドロシー、マケールはFナショナル社に戻り、マルホールは「ダーク、スワン」マケールは「ザ、ウーマンオンザ、ジユライ」の撮影に着手した

▽感激時代△ なき松井千枝子の憶ひ出の映畫、感激時代の一場面、松井千枝子と田中絹代

映画案内

夏の保健の最上は
海より
山より
何より赤玉

滿洲日報 圖書案內

東京出版協會會員發行 新刊 重版

重版 露西亞語書翰文
デ・エン トドコウイチ著
東京日本橋南茅場町 東京二三八番 大倉書店
一卷 二卷 定價一圓八十錢 定價二圓六十五錢 送料各十八錢
著者が多年政治經濟の實務を披瀝し日露間の政治的經濟的事情を洞察して編纂せる良書である。新精神に適切せる露國語を以て書翰文の明文は入杉教授の手を經て正確を期した。諸賢の清鑑を待つ
一卷(普通用文)
二卷(商業用文)
▲取次 大阪屋號▼

重版 日本動物圖鑑
理學博士 丘淺次郎 ほか著
東京・京濱 振替東京七五〇番 株式會社 北隆館
四六判背革裝 二五〇〇頁 定價拾五圓 送料四十五錢
凡ゆる動物を網めて總數實に四千一百種、一種毎に鮮明な圖版に添へて科名・學名・和名は勿論懇切な解説をつけてある。斯學界錚々權威者の共著にかゝり動物採集研究家の唯一無二の好指針。(內容見本進呈)

新刊 校註 日本永代藏
京大講師 頴原退藏著
東京神田三崎町二丁目十六 振替東京四九九一番 明治書院
四六判洋裝 一七〇頁 定價八拾錢 送料八錢
日本永代藏は西鶴が所謂町人物の代表的傑作と稱せられたる短篇小說集である。併し從來難解の書として親しみにくがられてゐたので、茲に明快懇切な註釋を施し讀者の便を圖つたのが本書である。附錄に著者が新研究になる西鶴の評傳を添へた。

新刊 高等學校 專門學校 入學試驗問題全集
山海堂編輯部編
東京神田區北神保町 振替東京二六九一番 山海堂編輯部
菊判洋裝 二〇〇頁 定價五十錢 送料四錢
本年度高校及專門校百六校分の入試問題を各學校別に各學科の排列を一目瞭然たらしむべく特種の形式により集錄し、之を正續二篇として正篇五十錢、續篇四十錢にて提供す、本問題集は弊堂年中行事の一にして正確と廉價は其特色なり

重版 科學的 檢索 日本植物志
牧野富太郎 田中貢一 共著
東京市京橋區銀座一丁目 振替東京二一九番 大日本圖書株式會社
四六判背革裝 九五〇頁 特價六圓 送料十八錢
本邦唯一の植物志。收錄數六千種、說明を附し和名學名を指示し卷頭には多數の圖版を挿入し立派な植物圖鑑を兼ねてゐる。著者より植物標品の無料鑑定を受ける特典もある。登山にキヤンピングに是非共本書を携帶されん事を切望する。內容見本進呈

重版 畜產教科書(汎論 各論)
增井獸醫學博士
東京市九段坂下 振替東京五〇一番 富山房
菊判 汎論一七二頁 各論一九二頁 定價 汎論一圓二十錢 各論一圓五十錢 送各八錢
本書は甲種農學校の畜產教科書として編述されたもので各論及び汎論の二卷からなり、各論では主として實地に關係したことを記述し、汎論では畜產の理論を講述し、尙附錄として家畜傳染病及去勢に關する法令の一部を記してある

重版 增補改版 わかる幾何學
理學士 秋山武太郎著
東京神田 振替東京二二四三三番 高岡本店
四六判特裝 五二〇頁 定價三圓五十錢 送料十八錢
本書は表題の如く幾何學を必ずわかるやうに初めから親切に說明し分り難い事柄には種々工夫を凝すほか非常な苦心を重ねてあります。俗に碎けて幾何學について云ふ外最も正しくわかり易く本領を十分くわしく述べてあります。今回增補改版完成發行致しました。檢定受驗獨學に最適

重版 改訂增補 株式會社經濟論
法學博士 上田貞次郎著
東京市九段坂下 振替東京五〇一番 富山房
菊判洋裝 六八六頁 定價四圓 送料二十七錢
著者は多年商大教授として商工經營研究の權威者であり書宿である。現今經濟上の大勢力たる株式會社論が多く法律論のみに限られたるを遺憾とし、博士多年の研究を傾注して本書をなしたもの。商工經營者の必讀すべき名著である。

新刊 體育と競技
東京文理科大學 大日本體育學會編輯
東京市九段坂下 振替東京五〇一番 富山房
毎月一回發行 定價四十錢 送料二錢
運動競技の羅針盤
凡ゆる運動の方面に亘り然も適確な批判を與へ正しき體育の指導をなし然も實際家の偏りなき原稿毎號豐富に掲載してある

重版 マクラメレース
河野手藝專門學院長 共立女子職業學校講師 河野富子著
東京京橋區南傳馬町 振替東京二八〇九番 目黑書店
菊判布裝 一八〇頁 定價二圓 送料十錢
マクラメは、やさしい、誰にもすぐ覺えられる手藝で、ネクタイ・羽織紐・手提袋等の作品は、新味ある古典的な雅趣が、横溢して居ります。本書はごく初步の手ほどきから、相當高級にまで及んで居り、著者苦心の編纂になつたものです。

重版 世界教育名著叢書 ―特價提供―
東大教授 文學博士 吉田熊次 顧問
東京市京橋南鍛冶町 振替東京七九三四番 松邑三松堂
四六版上裝 各五〇〇頁 全十二冊 特價三十圓也(特價提供)
全十二冊前渡し月賦支拂 特價提供
ペスタロッチ、フレーベル、ナトルプ、デューイ、の古典はもとより、現代思潮をも剩さず、代表的教育名著を選んで全十二冊、特價發表以來、各地よりの申込殺到す! 特價九月廿日まで 規定急送
內容見本

新刊 分析化學表彙
谷野久吉 新部重行 共著
東京市牛込區赤城元町 振替東京四四三五三番 株式會社 文教書院
菊判レザー裝 三〇五頁 定價三圓四十錢 送料八錢
東京工業試驗所並びに東京電氣株式會社研究所にある著者が化學分析に必要な總ての分析表を檢索自由なる配置を以て收め更に後半には詳細なる和英獨名付分子量表を掲げたるものにして、從來數種の書を必要としたる斯學者の不便を一掃せる名著

重版 最新 園藝教科書
農學士 佐藤信哉 鈴木孝夫 著
東京市九段坂下 振替東京五〇一番 富山房
菊判 一七四頁 定價一圓十四錢 送料六錢
本書は中等程度農業學校の蔬菜園藝教科用に編述されたもので、記述平明最も實際的であるから、廣く農村青年が實習と關聯して併讀すべき唯一の教科書である。挿入の寫眞及圖畫は著者が苦心蒐集せるもので農家の好參考である。

最新刊
- 西比利亞から滿蒙へ 鳥居·紫川著 實價三圓五十錢送料十二錢
- 新撰里見弴集 改造社 實價一圓五錢送料十錢
- 天體望遠鏡作り方 中村要著 實價二圓六十二錢送料十錢
- 國史概論 大川周明著 實價五十二錢送料四錢
- 母子讀本 博文館 實價一圓二十六錢送料八錢
- 惡漢と風景 前田河廣一郎著 實價一圓二十六錢送料六錢
- 女性展望 皆川実彥著 實價二圓八十九錢送料十錢
- 赤穗浪士 下 大佛次郎著 實價一圓五十七錢送料十錢
- シイニア經濟學 高橋·濱田共著 實價六圓九錢送料三十六錢
- 職業別電話名簿 大連秀榮社 實價一圓送料六錢
- 日本國勢圖會(昭和四年) 矢野恒太著 實價一圓五錢送料十四錢
- 杜の人川村竹治 新山虎二著 實價二圓十錢送料十錢
- 近世日本小說史 鈴木敏也著 實價五圓四錢送料二十錢
- 書籍裝釘の歷史と實際 庄司淺水著 實價五圓四錢送料二十七錢
- 社會哲學原論 土田杏村著 實價四圓八十三錢送料二十七錢

大連市浪速町 大阪屋號書店
電話代表五六八 振替大連五五

最新刊
- 織 レーニン著 鈴木厚譯 實價三十二錢送料四錢
- 火の柱、火宅 木下尙江著 實價二圓五十七錢送料十錢
- 學問の戶籍調べ 村上三郎著 實價一圓五十七錢送料八錢
- 百歲長生法 有木三郎著 實價二圓十錢送料十二錢
- 心の衛生 越智眞逸著 實價一圓五十七錢送料六錢
- 家庭向きフランス料理 大平茂著 實價一圓五錢送料八錢
- 素人の爲めの無痛安產法 木村介忠著 實價一圓五十七錢送料八錢
- 建設者 下 明枝史郎著 實價一圓三十六錢送料十二錢
- 江戶賣笑記 宮川曼魚著 實價一圓九十九錢送料八錢
- 共產主義と無政府主義 宗伏高信著 實價一圓六十八錢送料十錢
- 基督の新理解 今井新太郎著 實價一圓二十六錢送料八錢
- 圖書施設と用具 小畑字市著 實價二圓六十二錢送料十二錢
- 男女受驗專檢案內 受驗時代社著 實價一圓十錢送料十錢
- 少年世界地理文庫 フランス卷 西亀正夫著 實價一圓五十七錢送料八錢
- 日本の農の新研究 牛谷清譯著 實價一圓卅五錢送料六錢
- 赤穗浪士 下卷 大佛次郎著 實價一圓五十七錢送料八錢

大連市大山通 滿書堂書籍部

現内閣の緊縮政策を全國民に徹底さす

濱口首相のリーフレットを全國戸毎に配布する

【東京二十八日發電】濱口首相は現内閣の緊縮政策を全國民に徹底せしめ且つ最近反對黨の逆宣傳に依る地方民の誤解を一掃するため二十八日千三百萬枚のリーフレットを各市町村を通じ全國津々浦々の各戸毎に配布することゝなつた

全國民に愬ふ

[illegible]に立つてゐるのでありま[illegible]呈し國內產業も外國貿易[illegible]情勢は一變して產業は萎[illegible]正貨は減少し爲替相場[illegible]經濟界の不況は[illegible]に於ては之が回復は到[illegible]ます、斯くの如く[illegible]

財界の不況が長きに亘つて深刻を極めたるが

[illegible]町村等の歳入も亦從つて[illegible]に思ひ切つて支出の減少[illegible]に國民生活の實際を見れ[illegible]地方の財政も却つて膨脹[illegible]じて收支の均衡を保つて[illegible]の總額は次第に增加し今[illegible]も二十億に上ると云ふ現[illegible]も此儘では到底立行く筈[illegible]る決心を以て財政の整理[illegible]於て一億四千七百萬圓の[illegible]

消費を節約して事業の基礎を鞏固にし貯蓄を

[illegible]は動搖甚だしく通貨及び物價の自然の調節を妨げられ且つ產業貿易の堅實なる發達を阻害せられ公私經濟の膨脹と相俟つて財界今日の不安の狀態を惹起してゐることは諸君の御承知の通りであります、諸外國に於ては戰後の疲弊甚だしきものありしにかゝはらず、官民一致非常なる決心を以て財政の整理と消費の節約とに努め相次いで金の解禁を斷行し貨幣制度の基礎を確立して財界を常道に復せしめたのでありまして今日の所未だ金の解禁を行はざる國は我國を除いては僅か二、三の小國に過ぎないのであります故に我國としては此際

萬難を排して一日も速に金の解禁を斷行して

國際經濟の常態に復し產業貿易の健全なる發達を圖り以て國運の進展に資することが刻下の急務であると深く信ずるのであります併しながら金解禁は何等の準備なく卒然として之を行ふ時は解禁當時は固より解禁後に於ても經濟界に容易ならざる影響を與へるのであります、故に之が準備として先づ以て公私の經濟を極力緊縮し物價の下落及び輸入超過の減少を圖り其結果として爲替相場をして徐々に回復せしむることが最も必要であります、國民經濟の立直しが焦眉の急務であることは論を俟たぬ、而して此目的を達せんとするには公私經濟の緊縮節約を圖り金解禁を斷行するより外に途はありませぬ依つて政府は現に率先して財政の整理緊縮を實行しつゝあります、併しながら政府の財政も國民經濟の全般から見ますれば其一小部分に過ぎませぬ、從つて國民全體が協力一致消費を節約し勤儉力行に努め以て貯蓄の增加を圖り始めて克く現下の難局を打開し將來に向つて國力の充實伸張を期する事が出來るのであります、緊縮節約は素より最終の目的ではありませぬ之に依つて國家財政の基礎を鞏固にし國民經濟の根柢を培養して他日大いに發展するの素地を作らんが爲めであります

明日伸びんが爲めに今日縮むのであります之

に伴ふ目前の小苦痛は前途の光明のため暫らく之を忍ぶ勇氣がなければなりませぬ、希くは政府と協力して難局打開のため努力せられん事を切望致します之決して政府の爲めではありませぬ、實に國民自身の爲めであります國家全體の爲めであります

昭和四年八月二十八日

總理大臣　濱口雄幸（自署）

縮む事のみを國民に强要

森政友會幹事長談

然るに其內容を一覽するに
一、政府は頻りに節約を云ふが金解禁が消費節約と直接如何なる關係ありや實際的に其の聯絡を國民の頭に納得さすは出來ぬ事
一、他日の發展のため今日縮むと云ふが然らば何時まで縮むか其時期を示さずに國民に强要するとは無責任も甚だしい
一、生活困難に呻吟する多數國民に無用の印刷物を配布し而も政府の意志を捕捉せしめ得た樣な結果を國民の頭に叩きつける事は政治家として愼むべき事である況んや國民の實情は彼等の悲觀論に依り救はるべきでない、必要なる支出はドシ〳〵行ひ無駄は排除し積極的能率本位の政策を樹立する事に依つてのみ國難は打開される
一、眞に決心なく徒らに聲明のみに依つて株式の暴落を來し米價の低落、生糸市場の慘狀等恐慌來を見んとする如き現狀に於て今回の如き宣傳は貧乏神の引札と見ても仕方はあるまい

監禁露人の救濟費十萬金留

ドイツ領事に依託

【ハルビン二十七日發電】北滿に監禁中の東鐵赤露人一千名（內女十三、子供十名）に對する支那側の待遇は非衞生的且つ苛酷を極め北滿各國人間にも漸く人道上の問題として之を憤慨してゐるが、モスクワ政府は二十七日ハルビンドイツ領事宛監禁赤露人同家族の救濟費として十萬金ルーブルを送金して來た

樞府顧問官後任交涉

【東京二十八日發電】元文部大臣貴族院議員岡田良平氏は本日午前八時半久保山の私邸に濱口首相を訪ひ會談一時間にして辭去したが右は缺員中の樞密顧問官二名の補充に同氏を推すための交涉と見られてゐる、尙他の一名には外交畑より松井慶四郎男を推擧するものと見られてゐる

は今回王樹常氏を東北第一軍長兼前衞總指揮に任じ綏芬城に、又胡毓坤氏を東北第二軍長兼前衞總指揮に任じ滿洲里方面に駐屯せしめることゝなり兩氏は九月一、二兩日瀋陽驛から北寧線及び打通線經由任地へ向ふことゝなつたので、省城商工會に命じ一般會議を開き協議の結果九月一、二兩日市民は小旗を翳して瀋陽驛で見送りをなすやう命じた

駐日勞農大使幣原外相を訪問

【東京二十八日發電】勞農大使トラヤノフスキー氏は二十八日午後二時四十五分外務省に幣原外相を訪ひ露支關係につき懇談した

皇后宮還啓

【東京二十八日發電】皇后陛下は照宮樣御同伴三月振りにて本日午前十時四十五分東京驛着列車にて還啓あらせられた

朱紹陽氏昨日南京に向ふ

【北平廿七日發電】露支交涉南京代表朱紹陽氏は今朝奉天より來平午後二時當地發急遽南京に向つた

昭和四年度實行豫算十六億八千萬圓

きのふ兩院議員に配布

【東京二十八日發電】一般會計並に特別會計昭和四年度歳入歳出實行豫算は豫て印刷中の處二十八日出來上つたので貴衆兩院議員に對し配布の手續きを執つたが、豫算總額は協議決定後緊縮整理の結果多少の異動を見るに至った即ち（單位圓）

歳入

經常部	一、五〇四、七〇六、七五七
臨時部	一七六、三五六、一七七
內譯	
普通歳入	六八、九〇五、九五九
公債金	五一、九六四、四八三
前年度剰餘金繰り入れ	五五、四八三、七三五
合計	一、六八一、〇六〇、九三四

歳出

經常部	一、二二三、六八九、〇七〇
臨時部	四五七、三七一、八六四
合計	一、六八一、〇六〇、九三四

拓務省豫算一千六十三萬圓

四年度實行豫算より百三十六萬圓を增加

【東京廿八日發電】拓務省は昭和五年度豫算概算は二十八日大藏省に廻附されたが一千六十三萬八千圓で本年度實行豫算額より百三十六萬餘圓の增加である、然して右增加額內譯左の如し（單位千圓）

一、月割增加	一四三
（拓務省は四年六月新設につき來年度四五月分は常然增加）	
一、事務費	一六二
一、神戸長崎移民收容所關係費	二二六
一、正式移民保護還狀線設置費（二十三航海分）	一五五
一、拓務審議會設置費	四七
一、移植民海岸拓殖事業及び保護獎勵費	八六三
（從來外務省所管南米南洋を主とす）（移讓總額）	
一、內地移住獎勵資	六
一、生產資金貸附金	八〇
一、他省よりの移管	一六六

鐵道省工務局實行豫算決る

【東京廿八日發】鐵道省工務局關係本年度實行豫算案は二十八日決定發表されたが本年度豫算額七千二百五十二萬一千圓が七百十二萬四千圓を減じて實行豫算額は六千五百三十九萬七千圓となつてゐる

高木銀行支拂停止

【長崎二十八日發電】長崎市東濱町高木銀行（資本金百萬圓は）本日突然三週間預金支拂を停止した支拂停止の原因は同行の內容不良を察知した預金者が定期預金を引出し始めた爲で頭取高木議貴氏は大村眞珠會社、長崎電氣軌道等の重役を兼ね福岡にて鑛山を經營して居り私財三百萬圓を有してゐる高木氏は支拂停止に就て左の如く語つた

世間を騷がして誠に申譯がありません、私財全部を投げ出すも預金者に迷惑の及ばぬ樣可及的整理をし度いと思ひますが差の場合で多くを語る事は出來ません

大調査會設置を與黨領袖が力說

濱口首相裁斷を躊躇

【東京二十八日發電】濱口首相は現存三大審議會の外に國家永遠の大策を審議すべき大調査會を設置する意嚮を持つてゐたが、與黨の中堅少壯組に依り人の爲めに官を設くる動機の不純を咎められ必要なき費員の爲め國費を削くは現內閣の緊縮方針に反することで調査會の設置は一時立消えとなつたが最近與黨の顧問級にして調査會委員たる期待を持つ人々に依つて三審議會は當面の問題で限定され且つ短期間內のものであるが、調査會は國家永遠の大計を審議すべきもので金解禁斷行につれ益々必要で經費も多額を要するものでないから俗流の偏見を顧慮せず實現に邁進せよとの議が盛んとなり濱口首相も兩論の間に裁斷を躊躇してゐる模樣で其成行は注目されてゐる

勞農國籍教員が頻々辭職を申出

支那側は許可せず

【ハルビン特電二十八日發】教育廳長張國忱氏は教育方面の現狀其他に就き語る

中央及各省の我國教育に關しては第二の問題として自分は特別區の教育に服務してゐるが、最近は第二女子中學校の建設問題と、小學校教員の檢定試驗制度の實施

民衆教育　を積極的に行ふにあり、ロシア人の教育に關してはソウエートと白系露人との二つあり、前者の國家主義は我國と根本に於て相容れないものがあるから其教科書に對しては極力注意を拂ひ豫じめ檢閲を施行してから使用を許し若し赤化宣傳の行爲ありや否やを審査し其性質のものは一切使用を禁止してゐる——ソウエート關係即ち其國籍を有する教職員は東鐵問題の發生以來頻に辭職を申請して來るが未だ許可はしてをらぬ然し絕對辭職するものは其の維持できるやう努めつゝある

後任人物　に就いて現狀することは今の處少しも考へてをらぬが、若し露支兩國が不幸交戰狀態になれば當然閉校せねばならぬ、現在ソウエート國籍を有する教職員は約四百五十名で未だ東鐵沿線の各地に依然として其儘にある

と、因に教育廳には每日多數のソウエート教員の辭職を申請し來り之に代るべき白系ロシア人の就職希望者が殺到し赤白の奥越同舟で奇觀を呈してゐる

吳氏一行の別府引揚げ

行先は不明

【別府二十八日發電】當地に亡命中であつた吳光新氏一行は突然當地を引き揚げ門司に向つたが大連に赴く如く噂されてゐるが、同氏は關東州に於ては上陸を禁止されてゐる關係から多分は內地の何處かへ移つたものと見られてゐる

大汽株主總會

配當は七分

大連汽船株式會社では既報の如く廿八日午後三時から本社內に於て第十五回定時株主總會を開催し、左記の事項を附議し原案通り可決した、尙今期配當は前期同樣七分と決定
一、昭和四年度前半期財產目錄、貸借對照表、營業報告書及び損益計算書の承認
二、昭和四年度前半期利益金處分案の件

人種戰死傷者五百六十餘名

【ロンドン廿七日發電】英國殖民省發表に依ればエルサレム人種戰爭の犧牲者はユダヤ人九十三名回教徒四十六名キリスト教徒四名で負傷者總數は四百二十名に達した

閣議一週二回

【東京二十八日發電】閣議は暑中休暇中一週一回開會されてゐたが九月一日後は每週火金曜の二回開かれる事となつた

厚東司令官招宴

厚東旅順要塞司令官は廿七日夕大連官民有志を實園登瀛閣に招待し新任披露宴を張つた

大連商議役員會

滿洲聯合商議會提出議案の態度決定に議論百出

大連商工會議所役員會は二十八日午後三時から開會、村井會頭、橫田、山田兩副會頭の新任挨拶あつて議事に入る

第一號議案　關東州建築規則改正に關する件

は議長指名で高田、高岡、竹內、山田、佐方の五氏に委員附託となり

第二號議案　前正副會頭に對する謝意表示の件

は佐藤高田兩氏に感謝狀及び金盃を贈呈するに決した、次いで

第三號議案　滿洲商議聯合會提出議案に對する態度決定の件

同問題は各地提案の第一號議案から第九號議案を逐條審議することゝなり贊否の議論百出の結果

一、在滿邦人の企業を脅威すべき共產運動の取締方に關し當局に建議の件（安東提出）

は不贊成の內意をもつて出席理事者に一任

二、南滿東支聯絡及北滿聯絡輸送貨物に對する運送責任日數復活方を關係鐵道に要望の件（哈爾賓提出）

は聯合會に於て更に理由を聽取した上贊否を決すに出席者に一任

三、南滿東支聯絡及日滿聯絡輸送貨物に關する免責事項「荷造不完全による損害荷主負擔」を運送條件より除外せんことを關係鐵道に要望の件

は不贊成の態度を執るに決し次に

四、東支鐵道運賃改正に關する件（哈爾賓提出）

五、小口輸入雜貨の荷役損害防止に對し海關並に運送當局者に要望の件（鐵嶺提出）

は何れも出席理事者に一任するに決定

六、奉天票暴落による對策として銀券發行方建議の件（奉天提出）

七、滿洲商工會議所聯合會規則改正に關する件（奉天提出）

は何れも不贊成の態度を表示するに決し

八、滿洲に於ける邦人商工業發達の爲め時に積極的助長政策を採らんことを我關係當局に要望の件（哈爾賓提出）

は出席者に一任、最後に

九、製鋼所を滿洲に建設方當局に請願の件（鞍山提出）

は贊成を表する內意をもつて出席者に一任するに決定し同五時三十分散會

畑軍司令官廿八日就任挨拶

畑關東軍司令官は廿八日午後四時昭和園に於て旅大官民三百餘名を招待披露宴を開催する

新舊警務局長

藤岡前關東廳警務局長は三十一日朝大連出帆の長平丸で天津北平方面へ出發の筈であるが後任の新局長心得中谷政一氏は一日入港のあめりか丸で着連する

人事

▲前田治之助（奉天總領事）二十八日午後八時半ヤマトホテルへ

▲香港丸無電　二十九日午前十時港外着の豫定

賠償新協定成立す

英國の獲得額增加決定

【ヘーグ廿八日發電】賠償新協定成立の結果英國は賠償年金一億二千萬馬克の八割と賠償增額四千八百萬馬克の八割三歩を獲得し得る事となつた

全權會議は本日を以て閉會

【ヘーグ二十八日發電】賠償問題一全權會議は二十九日を以て閉會さるゝ事となつた

佐分利公使正式發令

【東京二十八日發電】二十八日左の通り發令された
　大使館參事官　佐分利貞男
任特命全權公使
支那駐箚被仰付

順調に進捗する露支の豫備的交涉

支那側は正式交涉開始を期待注目される其成行

【北平特電二十八日發】目下伯林に於て在獨露支代表の間に行はれてゐる東鐵問題解決の豫備的交涉は相當に順調に進捗してゐる模樣で支那側當局はこの分で行くと正式交涉は近く開かるべしと期待し極めて樂觀的態度を示してゐる、支那側は此の度の交涉は勞農側から持ち出したのだと稱してゐる、最近に母國新聞記者を介し次ぎに下イツ政府を通じて勞農側に直接交涉を持ちかけ二回共拒絕された經驗から面目上今度は勞農側からの申込みに應じたのだと云ふてゐる今時の交涉にドイツ政府が側面的に斡旋してゐることも想像される

土地の外交界ではこんどの交涉は或は問題解決の端緒を得るにあらずやと思はれその成行を注視してゐる

國境集中の外交的軍事行動

交涉を有利に導く爲

【北平二十八日發電】奉天軍は天津滄州方面で人夫四千名を募り續續國境方面に送り一方奉天吉林軍の戰時輸送活潑となり如何にも大戰近きを思はせたが、實はベルリンに於て交涉が進んだ結果正式會議を開かるゝを見越し之れを有利に導く爲めの外交的軍事行動と見られてゐる

關內駐屯の奉軍國境へ出動開始

廿七日より打通線で

【奉天特電二十八日發】關內駐屯の騎兵第三旅は廿七日より打通線により昂々溪に向つた尙關內駐屯の奉天軍第五旅三千二百名第四旅一千名は廿六日昂々溪に到着更に第五旅七百四十名第四旅一千三百名も同樣昂々溪に向つて出發した

奉天商工總會決定事項

【奉天特電二十八日發】省城商工總會では廿七日午前十時から同會に關係あるもの及び主なる商人約二百名を招集し協議の結果左の各項を決定し正午散會した
一、九月一、二兩日の出征軍に對し見送りをなすこと
二、征露軍に對し慰問品を送ること
三、稅捐局の徵稅を減稅せしめること
四、城內水道及び下水工事に對する下調べをなすこと

出動部隊見送り

【奉天特電二十八日發】張學良氏

素質の惡い吉林軍ロシア人學校占領

內外人に對して暴行を働き富豪に軍費負擔命令

【ハルビン二十七日發電】當地に到着した吉林軍はロシア人の學校を占領して之に分宿せるため授業は中止されるに至つた、又素質極めて劣惡な支那兵は內外人に暴行を加へつゝあり、食糧牛馬人夫の徵發頻々として行はれ住民は支那兵を蛇蝎の如く忌み嫌つてゐる、一方支那軍憲は既に三百餘名の富豪に對し一人當り五千元の負擔を命じ軍費捻出に努めてゐる

支那讓步の事情と勞農側の態度觀測

交涉は時日を要せん

南京政府は西北實力者の反蔣氣勢釀成に禍され、張學良氏に對し寬大な條件で露支交涉を開始し和平解決に努力せよと電命したといふが之に對し某奉情通は語る

さうした氣運に傾きつゝある、それは恐らく事實であらうと思はれる露支時局を好機として馮氏が反蔣氣勢を釀成する事も想像の出來ることで、また南京政府が折角

和平統一　を妨げられるのを怖れることもあり得べきことである、滿洲里及ボグラニチナヤ兩國境に於ける兩國各三萬餘の兵力は實戰となれば支那側は新兵器と訓練のある勞農軍に對し先づ勝算はないものと見ねばならない、こんな事情で露支兩國とも火蓋を切るやうな意志は最初からあらうとは思はれてゐなかつた、所謂プロパカンダの戰爭といつた形で奉天側は對露政策と對南政府間に挾みになり寧ろ苦い立場であつたかに思はれる、然し

和平解決　の交涉となれば東支鐵道を原狀に恢復せしむ、露人役員を復職せしむといふだけでなくより以上相當强硬な要求が持出されはせぬであらうか、北京に於ける王正廷、カラハン協約即ち東支沿線に於ける治外法權撤廢其他の大綱は決定せしも細目が決定されず、奉露協約として協議されるに至つたが之も遂に纏まらず、支那側は一時該協約を放棄すると迄いつたもの、此有耶無耶の間に東支の實權回收を企てたといふ關係があるので、ロシヤ側は假りに東支の原狀回復となつても絕對的保證がない以上は應ずるまいと思はれるから、カラハン協約の放棄即ち

治外法權　の回復も當然要求することにならう、所謂東支鐵道がカラハン協約による經濟鐵道ではロシヤが滿足を與へないことは今次の關係から推して見ても明かである、だから和平解決の交涉も相當日子を要するであらうが、支那側が果して此處までよく讓步し得るか否かは不明だが、若し兩國の交涉が開始されると其成行は確に興味あるものであらう

安樂椅子

大連市會、けふ二十九日、總會を開議するが四十名の議員中雄辯家は誰々といへば、まづ腰量もあり態重にやつてのけることにおいて大內君あたりが重きをなす、併し君は即席料理をやるので內容の甘味が乏しいとの評▲內海君も腰量だが、少しせき込むのが玉に瑕▲金井君は腰量もタツプリ、論旨も徹底さするが、醫學博士だけに、どうもゼスチュアが成つて居らぬと▲宮崎君は相當に研究もして出るらしいが惜いことには腰量が足らぬ▲小野君は形式論に落ち三段論法的な御商賣を出すので面白くない▲二村君は音調がよく整つてゐるが覇氣が足らぬ鈴木君の雄辯は場所を辨へぬの譏あり▲いづれも帶に短し襷に長しであるが村田君の登壇を見ることの出來ぬのは大連市會を淋しくするとの世評そのまゝ。

商品

錢鈔

後場（出來不申）

定期後場（單位錢）

限	寄付	高値	安値	大引
期近	八四九	八九五	八九三	八九五

出來高　期近　三十三萬圓

現物後場（單位錢）

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	八四五	一二三五	一二六〇〇
二時半	八四四	一二三五	一二六〇五
三時	不申		

出來高（銀對金 五千圓）（銀對洋 二千圓）

神戸特產（廿八日）

大豆現物	七四五
大豆先物	六四五
豆粕現物	二一八
豆粕先物	四五八
滿洲小麥	六八〇
豆油現物	二一〇〇

大阪期米

限	後場寄	後場引
八月	二九五〇	二九五一
九月	二八八〇	二八七九
十月	二七三九	二九三七

神戸期米

限	後場寄	後場引
八月	二九三九	二九三〇
九月	二九〇二	二八九九
十月	二七四一	二七四二

東京期米

限	後場寄	後場引
八月	二九三〇	二九三四
九月	二八三〇	二八三〇
十月	二七〇〇	二七〇〇

大阪株式

[illegible]

東京株式（長期）

[illegible]

東京株式（短期）

[illegible]

大阪綿糸

[illegible]

橫濱生糸

[illegible]

本日應報を添ふ

ツェッペリン伯号來訪記念

文藝

文藝視野の普遍的規準樹立

稲葉亨二

文藝の發展過程は常に相對的である。そしてそれは社會生活の强度の光彩がその時代の文藝乃至藝術の廣汎なる分野に向つて輝き亘つてゐるのを見る。文藝家自身の認識も、思想家の思惟も畢竟此のカテゴリーに兩脚を立ててゐるのである。大正の前期より昭和の現時に至る近々二十年足らずの期間に我々日本人は極めて急速度の思想的旋回を經驗してゐる。それは實にあわただしい思想的飛躍とも言へる。勿論之は文藝の圏内を擾亂せずにおかなかつた。從つて此の根柢的震動が文藝地盤の表面に著るしい沈降作用を働き、或は文壇の偶像を創生し、或は夥だしい落伍群を作つたことは恐らく未曾有と言つていゝだらう。

後世或は我が文藝主潮史を書く者が現はれたならばブランデスの描ける十九世紀前半と均しく極めて重要なる頁であることを特記するであらう。然らばかゝる文藝界の波動！その波動を作用する主導概律は何であつたか？それは言ふまでもない社會變革である。即ち社會生活が必然的原動力によつて轉回し社會意識乃至階級意識が深化し、普遍化したことに外ならない。

（この爲ブルヂュア文藝は反逆の子プロレタリア文藝を生み落し、その處理到底匹敵すべからざる狀態に惱みつゞけてゐる。今や我がプロレタリア文藝はその草昧の時期を脱して支配理論確立の過程を踏みつゝある。或は近き將來に於て燦たる理論を樹立するであらう而して作品それ自體の發展に於ても質に於ても、可成の迫力をもつ優秀作に間々接することを得るやうになつた。

曾て葉山嘉樹氏の「淫賣婦」を書き本年小林多喜二氏の「蟹工船」掲に乘る。此間思想的にも隨分開きがある。この開きをハッキリと認識し、作品そのものゝ持つイデオロギーを寸分隙なく把握する爲に今少し靜的なる精神的餘裕を要しはしなかつたか？無論吾々は動的なる社會進化に呼吸を合はせつゝむしろその主潮としてつき進むことを必要とする。而も此の波を映し、共に進み、共に生活しつゝ嘗て老朽たるを知らぬ海底の靜けさを吾々は見逃すことが出來ない。吾々は思想的にも內容的にも更にその包攝するイデオロギーに於ても全く老朽し盡して既に昨の文藝たる所謂ブルヂュア文藝の考察規準を指すのでは無論ないのである。この生々とした精神的餘裕ある現象、換言すれば清澄なる觀角明快なる普遍的考察規準の樹立こそ文藝の眞正なる認識を結果するのではあるまいか。

吾々の見る所では過去十數年の間に文壇偶像の沒落を可成り多く經驗しだ。そして讀書界の方面に於ける文藝の思想上乃至形態上に關する食傷はあまりにも屢々だつた。この現象は社會全體がその力量に匹敵し若くは夫れ以上の活動を要求される時に必ず經驗される現象である。從つてその際には認識や消化力の不足に因りて或は默過し、或は半にして之を放棄する而して飛躍のあとの靜けさはこゝにその粗野なる經驗を確實にそして徹底的に反芻させるものである吾々は現在それ等の具體的現象を文藝壇乃至讀書界に見つゝある。文藝史の回顧乃至全集物の發刊等はその片鱗であらう。かくして吾々は社會そのものゝ沈靜と共に又一面文藝の視野に於ける明快なる普遍的考察規準の樹立を迫られつゝあるのである（昭和四年八月十九日夜）

五月花

大町一枝

電車の窓から
ふとみえた
五月花、五月花
不滿もなく
こんな所に咲いてゐる
可憐な花よ
若い人いきれも忘れて私はそなたを眺めた（一九二九、五）

月

ちつしよのなやみにつかれ
野に通ふ徑を歩めば
丈高き杉の木末に
まろき月いともしづけし（一九二九、四二三）

わが死なば

（ダウスン）

わが死なば消えなむものを
はかなからずや戀と笑ひ
愛も憎みも消えなむものを。
喜びの若き日はみぢかし
そは幻の中にうかぶ小徑か
わたるひまなく消えゆけり
（一枝譯）

訂正 二十二日本紙上の拙詩「妹に」の第三行目の「ゆるしてくれるなら」から、八行目の「お前のふみ臺になり」から、各々別の新行となり「死に寄する歌」の第八行目の「どうせ皆から」は「どうせ笑から」となるのです。

珈琲店と文學

大連カフェー改造慾

三昧寺曼

嘗てキャフェーを主題として成功した文學をみた事がない。（勿論私が狹見にしてと追記しては置から）

それなのにキャフェーは隆々たる全盛時代を着々として築きつゝある、その勢力は花明柳暗の陣を脅かしつゝあるといふ、そして此の享樂組織の變遷は若き世界の到る處に其の叫喚をあげて、ひたすらに「新」なるを謳歌してゐるのである。

（僕は斯う思考する）」

帝都震災以前、わが經濟組織は倘幾ばくかの間隙を持ち得てゐたが、震災以後、その間隙は忽然として埋沒し、今や公私共に一分の隙をすら認め得なくなつた。この逼迫した經濟組織の渦中にあつて享樂組織も當然解體せねばならなくなつたのである。

極端に言へば、曾て享樂は物質偏重の遊戲であつた、然し最近に至つて享樂は精神偏重の遊戲と變態し來つたのである。だが、それだけに狡猾にして欺瞞的なる享樂は最近に至つて更に一層その濃度を增した事は否めない。

故に、曾て割合に靜的であつた享樂が最近に至つて極度に動的と化し來つた、とも謂ふことができる。

だから見給へ。

戀愛に於てもさうではないか。

昔、「結婚のための戀愛」として意義を持つてゐたリーベは、近代に於て「戀愛のための戀愛」として立派な獨自の章義を持つようになつてゐるではないか。

斯て。

およそ、凡ゆるものゝ變轉が來た、めま狂はしい渦卷、大きく世界を廻轉して、小さく個を轉回せしめたのである。

そして文學も此の渦卷にまき込まれねばならなくなつた。（さう私は信ずるのだ）（未完）

秋の女

山科年男

野分のあとの爽々しさ、凉風が肌に冷たい觸感の初秋が訪れた、きのふまで身に綾羅を纏つて瀟つぺらで派手で爛熳だつた夏の女が單衣に身體を引きしめてけふは秋の女になつてゐる、單衣から浴衣への華やかなテンポに較べて浴衣から單衣への更衣はジャズのあとの寂しさである、その淡々とした味に落ちついてゆく初秋の女は街頭よりも家庭にそして閨の立居に男性より早く秋を感じてゐる、茶がゝつた女の着物なぞが眼に入ると一層そこに秋を感じるものである、洋服地でもさうであるが、秋の女の尺着物は流行がどうであらうと茶系統のものが好ましい、

「とう〳〵獨りぼつちになつた」と亡くなつた母親の枕元で病院の窓にすみ渡つた秋空をみつめて立つてゐた女と私は秋の夜の二階の手摺にならんで東の山の端に出る天の蝶々オリオン星座を待ち乍ら夜毎に葡萄を食べながら郊外の大根畑の中に建つた家に樂しい時間を過した、彼女は一年後にはオリオン座のベーターのやうに變光星となつて私から遠ざかつて行つたが、その頃彼女の兄は一燈園の奉仕生活の副產物として信者の若い文學士の未亡人と感激を同樣にまで伸長してゐるのだつた。

彼女は絕世の佳人といふ折紙をつけられた貴婦人の侍女だつた、虫の聲に埋つた郊外の家で彼女は某貴婦人の惱みをそつと語つたりした。

追ひかけられ追ひかけられて盲人つまづくまでを走るさながら

これは貴婦人が彼女の兄に與へた短冊の和歌だつた、言ひ忘れたが貴婦人は有名な女流歌人であつた、

そして秋が次第に更けて行つた私はまた彼女から素晴らしいニュースを聞かされた、それは貴婦人の友達で矢張り女流歌人としてその情熱を謳はれてゐた西の國の女王に絡る謀りごとであつた「だまつて見ていらつしやい、日本中が大騷ぎをするから……きつと新聞に出るわよ」と彼女は自信あり氣に驚天動地の計畫の一端を洩らした、果してそれから約二週間目位に全國の新聞は一齊に女王の家出を報じた。

その頃彼女は貴婦人の御伴をして東京に歸つてゐたが「Bのお使ひで○○さんの隱れ家に行くところです」と新橋の消印のある手紙を寄せたりした、Bといふのは貴婦人がバロネスだつたので私達の暗號になつてゐた言ふまでもなく貴婦人が家出事件に對して黑幕の主要人物であつたのである、

これはこれ本心か十年の虐げられし戀の報ひか

と寂しい心を歌つた貴婦人は大乘的な安心立命を得て靜かに永遠の眠りに就いたが、友達の爲めに出來るだけの助力を惜まなかつたことが肯ける、

私に最も親しみのあつた秋の女である彼女は家出した女流歌人の眉毛を秋の眉とよんでゐた、それはその歌人の兩方の眉の間がひどく廣くて持前の憂ひ顏を一層さびしくしてゐたからである。

小さな出來事

「味樂」創刊號の「或る女給の日誌」が俄然キャフェー街の話題となつて騷然

△▽

最近サクラ、カフェーに出現したカルフォルニア踊りのポップさん「この日誌に書いてある事は皆本當ですわ」とブロークンなる日本語で泌々と仰せあつた程である。（三）

圖書館小話（六）

橋本生

「英和」の元祖

英和辭書の最初に出來たのは、いつ頃、誰の手に依つたのであるかといふことを、この一二ヶ月間無用の問題にしてゐた。云はゞ誠に無用の閑事業で、そんな事よりも、今日の必要からいへば、大修館の竹原のスタンダード英和と、三省堂のニューマンサイズ英和との、長所短所といつたことでも調べて見る方がいゝのだらうが、そこが問題といふものゝ性質で、凡そ問題である以上、多くは實用に遠く解決を要せぬものらしい。實行上一日を緩うする事が出來ぬと云ふものなら、それは、問題となる以前に早く解決されてしまつて、成功か失敗か、それは結果の上で判斷されるべきものであらう。

實用上にはどうあらうとも、荷も問題として出來上つたからには、それを問題とする者にとつては、非常な重荷であつて、その解決までは、鬱しくうつとうしい氣持を我慢せねばならぬその代り、之が解決されたとなると、俄に靑天白日の思ひがして、案を打つて快哉を叫ぶといふのは事實である。

英和の元祖調べは、小生に取つてはお門違ひで、それだけ手に餘へぬ仕事なので、問題として頭に浮んでから二ヶ月ほど（之を問題とするに至つた事情は、別にあるのだが）手をつかねてゐた。ところが、偶然といふか、この頃某新聞の地方版に、九州大學の豐田教授が「日本に於ける英學發達史」といふ題目で、帝國學士院かの奬學金を得て、材料蒐集に從事して居られたが、既に大部分の材料は揃へられたといふ記事を見付けたさうすると、頭の中の問題が忽ち勢力を得て來るので、讀んで行くと文化十一年（西紀一八一四年）本木正榮の著に成る「諳厄利亞語林大成」を、最古の辭書としてある文字に出會つた。之はありがたい。誠に注文通りの記事が、ようも見付かつたものだ。

併し之は新聞紙の記事で、殊に當事者の署名したものでもなく、談話でもない。さうするとこの記事の確實さはどうすれば分るか。小生は大槻如電翁七十七歲の時の著、「新選洋學年表」を繙いた。その文化十一年のところ、同書の九九頁下段を見ると、六月、諳厄利亞語林集成として、本木正榮、楢林高美、吉雄永保合譯とあり、倘次の如く簡單な解說と、題言の拔萃とがある。

「本書はエビシ順序にて英吉利語七千餘言を收め譯語を施す、四年前に奉命選述せしもの、題言。諳厄利亞國は詞品を區別して八種となす、靜詞代名詞動詞靜動詞形動詞連續詞所在詞歎息詞この八種の詞品詞を綴り語を成すの淵原にして詳悉ならずんばあるべからず一語を譯するは易きに似て反て難し、其故は、一語にて其意味を盡くす能はざる者あり、我警淺才にして漢士の字義に暗しとすれば、本來の面目を失ひ、又悉俚俗の語を以てすれば鄙陋の嫌あり、故に當否は知らずとも、譯字は漢字を以てし、而して其際或は俗語を下して面目を失はざらしめんとす云と

之を所謂最古の英和辭書とする爲めに、文化八年九月の記事（同書九六頁上段）に「九月通詞本木莊左衛門正榮、楢林榮左衛門高美吉雄權之助永保に英吉利言語學成の命あり、英日對譯語典の第一書諳厄利亞語林集成是也」とあるので即ち第一書たることが明かとなつた。併し聊か疑問なのは書名の集成か、大成かといふことであるが、之は年表には二ヶ所とも集成とあり、人名辭書本木正榮を見ると、其の著書を擧げた中には大成とあつて、新聞紙のと一致してゐる。何れの名でも呼ばれてゐるのであらう。全十五卷ださうである。

小さい問題でも、分れは愉快である。この愉快を何人かゞ味つてゐる哉、無用の閑問題をかついでゐる者も、世間には絕えぬのである。

金州の初秋を探り殉國將士の英靈を弔ふ
頗る意義深い九月一日開催する本社主催の苹果デー

夏のなごりを惜むかのやうに啼きしきる油蟬の聲にこそ殘暑を感ぜられるが、さすがに秋立つてから二旬に近い朝夕の風は爽かに凉しい、この快適の好機を利用して郊外の秋を探らうとする本社主催の「金州苹果デー」は既報のごとく來る九月一日の日曜を期して行ふこととなつた、當日は關東震災七周年記念日であり、全國を擧げて當年の國難を銘記すべきであるが

簡素質實 な生活に歸つてこの意味において當日を徒らに空費せず、郊外に出て山野を跋渉し戰跡を訪うて殉國將士の英靈を弔ふことは最も有意義であらうと思ふ、この點本社が特に多數市民諸君の參加を希望する次第であるが

勝景を探 隨つて當日は南山、三崎山その他の戰蹟地見學、關東州唯一の古都である金州城内の各所を隨意に見物し、南山附近の農園を訪ね、或は金州の近郊響水寺の勝景を探ぐる等以外にはは餘興のお祭り騷ぎはせぬことにしてゐる、唯滿鐵より特別の便宜を得て汽車賃往復一圓を三割引の七十錢にし、金州民政署警務課に乞ふて見學箇所に至る自動車馬車等の賃金について取締を依頼し、土木課出張所及び各農園に於いて無料休憩所を設けて參加團員の歡待をすることにしてゐる、更にみやげ用として最も需要される金州苹果は「苹果デー」當日に限り一貫目六十五錢（箱付七十錢）、二等品五十錢（箱付五十五錢）の時價を以て提供し農園參觀の人には新鮮な苹果及湯茶を接待する旨申し出でがあつた、既報社告七十五錢より更に十錢安となつたわけである

會員券は 大連は本社支關受付に於て沙河口方面は岡榮、木下兩新聞店、聖德街方面は岡田新聞店で賣つてゐるから現金引換に乘車證及び會員章を受取られたい、當日の臨時列車の發着時間は左の如くである

ゆき 大連驛發午前八時十分　沙河口驛發午前八時十八分、金州驛着九時五分

かへり 金州驛發午後三時五十分、沙河口驛着四時三十四分、大連驛着四時四十分

ツエ伯號所要時間七十九時間二十二分

【東京特電二十八日發】遞信省公表＝霞ケ浦發時刻廿三日午後三時十三分エツケナー博士公表到着時間二十六日午後十時三十五分（日本時間二十六日午前五時三十五分）を基本としての計算によれば所要時間は七十九時間二十二分である

ツエ伯號の歸獨は一日頃
エ博士から本部に報告

【エルパソ（テキサス州）二十七日發電】レークハーストに向ひつゝあるツエツペリン伯號は米國山岳地方時間午後二時五十九分ツオードプリスを通過したエツケナー博士がフリードリヒスハーフエンの本部に打つた無電を接受した處に依ると、ツエ伯號は二十八日夕刻レークハースト着を以て世界一周飛行を終へ更に三十一日夜又は一日拂曉同地發歸獨するであらうと

兩少佐の荷物飛ぶ
ホテルの間違

【ロスアンゼルス二十七日發電】昨夜ツエツペリン伯號がレークハーストに向け出發の際日本の草鹿少佐と柴田少佐もレークハーストに行くものとホテルで誤解し兩少佐が外出中に荷物を飛行場に送つたゝめ荷物丈けレークハーストに飛んで行つた兩少佐はホテルに歸つて之れを聞き着のみ着のまゝとなり大弱りの態である

ミツドランド通過

【サンフランシスコ廿七日發電】ツエツペリン伯號は米國中部山脈地方時間午後十一時十分（日本時間二十八日午後三時十分）テキサス州ミツトランド上空を通過した同號からの通信に依ればエルパソからテキサス、パシフイツク鐵道に沿ひ飛行しミツトランドからダラス市に出でセントルイス方面に向はんとしてゐる

佛國砲艦出港
伊國軍艦入港

目下大連港内第一浮標に繋留中の佛國砲艦ラマーン號はその後滿洲船渠にて機關の一部を修繕中であつたが來る二日頃威海衛に向つて出帆する事となつた、尚廿八日海務局への情報によると伊太利軍艦一隻もこれと入れ違ひに大連を訪問し碇泊中は乘組員一同に旅大見學をなさしむる筈である

大慈園移轉 東本願寺別院經營の若狹町大慈園は都合により播津町三十七番地消防屯所横へ移轉することゝなり先般來家屋修繕中の處完成したので本月末移轉の豫定である

搭載の郵便物に賣買相場が附く
最高三十弗で引張り凧

【サンフランシスコ廿七日發電】ツエペリン伯號に託送された日本からの郵便物は今日當地に配達された、僅六日足らずで故國の消息を手にした者の喜びは云はずもな、何れも記念物として大切にしてゐる驚いた事には此の歷史的郵便物には早くも賣買相場が附いて最高三十弗を示しヤンキー式を發揮したものさへあり十弗位の呼値では引張り凧で如何にヤンキーズがエツペリン伯號の偉業に驚嘆させられてゐるかは只此の一事で明かである

震災映畫講演

大連無酒デー同盟では既報の如く九月一日の關東大震災記念日を期し同國各地に於ける酒なしデーに呼應し大々的「酒なし日」を宣傳する筈で既にポスター及宣傳ビラ等を印刷し全市に配付中であるが三十一日は午後七時より敷島町キリスト教青年會館大講堂に於て滿鐵情報課提供の「帝都大震災の實況」五卷「震災の東京」二卷の映畫及各團體代表者の大震災と禁酒に關する講演會を催すと

商議送別會

前商工會議所正副會頭佐藤、高田兩氏の送別會は昨二十八日午後七時ヤマトホテルで開催されデザートコースに入るや村井新會頭まづ挨拶を述べこれに對して佐藤前會頭が謝辭を述べ八時半送別會は終つた因に當日の送別會は市中各方面の主なる人々が參集した

ウイルソン未亡人

【北平二十八日發電】元米大統領故ウイルソン氏未亡人は二十八日午前十一時津浦線で來平三週間滯在の上奉天經由日本に向ふはずである

陪審法裁判劇
大劇で開演

映畫に演劇に犯罪を巧に取り入れた探偵物が歡迎されてゐる今日在來の型を脱し近代的陪審法裁判劇が來る三十日から大連劇場で花々しく開演することになつた、一座を主宰する法律家川村金次氏は陪審法の熱心なる提唱者で第四十六議會を陪審法が通過して以來今日迄舞臺に立て籠り之れを大衆に知らしめた斯界の先驅者である、一座は數年前當地に於て十日間滿員を續け市民に深い印象を殘して去つただけに今回の來演は各方面に於て期待を以て迎へられて居る

日鮮滿を繋ぐ旅客の空輸
愈よ九月十日から開始さる
きのふ六人乘機着連

日滿を繋ぐ旅客航空輸送もいよいよ來月の十日からと云ふことになつた、大連の出發は十一日午前九時、さてこの旅客機の飛ぶ前ぶれとして昨二十八日午後二時二十分フオツカー、シユパーユニバーサル六人乘機が小沼操縦士と伊藤機關士を乘せて京城から周水子飛行場に飛んで來た「臨時下り便」と云ふ名で、そして今二十九日朝京城へ歸つてゆく尚來月十一日から開始される旅客輸送飛行は左の時刻であると

大連發　午前九、〇〇發
平壤着　同一一、〇〇着
同　發　正　午
京城着　午後一時十分
同　發　同一時四十分
蔚山着　同　三時半

大連發は毎週月水金の三日である

精鋭揃ひの日獨競技豫選會
期待さる日本新記錄
九月一日午後四時から開催

十月上旬東京で行はれる日獨競技會出場豫選の滿洲競技大會は九月一日午後四時から大連運動場で行はれる、參加人員二十數名の少數ではあるが精鋭揃である事を物語り當日の天候さへ良ければ定めし立派な記錄を生むものと期待されてゐる殊に南部の走幅、岡の四百、永谷の千五百、濱田の八百等は必ず日本記錄を破るだらうと言はれてゐる岡部平太氏は「記錄を重要視せねばならぬ關係上トラツクは五千米突以外は獨走にせねばならぬでせう」と語つた、入場料は無料競技種目出場員は左の通りである

▲百米　本田、奧山、田中、仲田
▲八百米　濱田、木田
▲砲丸投　川野、白石、山田、上倉
▲棒高跳　淺坂、田島
▲千五百米　永谷、金光、濱田
▲走幅跳　最上、上倉、南部、田中
▲高障碍　松本、田島
▲四百米　浦野、濱田、本田、岡
▲走高跳　松本、最上
▲圓盤投　川野、白石、山田、藤山
▲二百米　浦野、本田、奧山、田中、地崎、小數賀
▲槍投　松本、川野、伊藤、岡田
▲千五百米　永谷、田中

けふのラヂオ

昭和四年八月廿九日（木曜日）
自午前十一時　相場（特産、錢鈔、株式、各地相場）
自午後〇時三十分　相場（特産、錢鈔、各地相場）＝ニユース
自午後三時三十分　相場（錢鈔、株式、各地相場）＝ニユース
自午後三時五十分　野球聯絡放送　横濱高商對實業一回戰
自午後七時三十分
一、ニユース
二、支那語講座（實用支那語會話）
三、家庭講座（御飯の炊き方）　滿鐵學務課秩父固太郎
四、謠曲（花筐）　梅若流岩村櫻磯瀨華研
五、唄萬歲　立花家秀春、上田ハル子
六、支那唄（孟姜子）　唱馬　萩琴、師付王振泉
七、料理獻立
八、天氣豫報

4A-3 商大最後に過失で敗る
滿倶軍危く辛勝す

神戸商大對滿洲倶樂部野球戰は廿八日午後四時二十分中央公園滿倶球場にて開始されたが、四A對三にて神商惜敗時に閉戰午後六時球審中川壘審安藤弟神商先攻試合經過次の如し

滿倶 敵失	滿倶 安打	滿倶 得點	回數	神商 得點	神商 安打	神商 敵失
1	0	0	一	1	1	0
0	3	2	二	0	0	0
0	1	0	三	2	1	2
1	0	0	四	0	0	0
0	1	0	五	0	0	0
0	2	0	六	0	1	0
1	0	0	七	0	0	0
0	1	0	八	0	0	0
2	0	2	九	0	0	0
5	8	4A	計	3	3	2

△第一回　神商小柴四球に出で松田のバントと島道の投備に三進し加藤の右中間二壘打に生還石川遊備神商先づ一點▲滿倶吉野中飛永澤二備長澤投備（神一滿零）

△第二回　神商三者三振▲滿倶片岡中越三壘打し濱崎守りの淺い一二間を拔いて片岡生還疋田の犠打に濱崎二進綠川四球宗正二越に安打し右翼の返球を小柴後逸して濱崎生還し綠川宗正二三進（神商石川投手となり西川左翼に代り魚住退く）井上三備して綠川本壘に刺され宗正三進井上二盗吉野三振に止んだが滿倶一點を勝越す（神零滿二）

△第三回　神商石原二備失に出て小柴の投前バント一壘に入つた永澤一寸落して二者生き松田三振後島道左中間に安打して石原生還小柴三進島道二盗加藤右犠飛して小柴生還此の時濱崎右翼手の返球を中繼して二壘を離れてゐた島道を挾殺したが神商再び一點の勝越し▲滿倶二死後片岡三越安打したが左翼の返球を二壘手が逸した隙に二壘に走つたが一壘手良くカバーして二壘に投じて刺す（神三滿零）

△第四回　神商西川右飛橘爪三備關根投備▲滿倶濱崎四球を利し疋田のバントで二進し綠川の左飛後宗正の一備失に三進したが宗正二盗に死ぬ（兩軍零）

△第五回　神商石川四球に出で石原の犠打で二進小柴の中飛宗正好捕したが犠打となり石川三進然し松田三振して物にならず▲滿倶井上三壘上安打し吉野の三備に封殺（吉野の代走井上）永澤捕邪飛に死んだ時井上二盗し長澤四球に出たが片岡投備（兩軍零）

△第六回　神商島道右飛後加藤左翼線に絶好の二壘打し西川の遊備で三進したが橘爪三振▲滿倶濱崎投手足下を拔いたが二盗に死し疋田二備後綠川三遊間安打二盗したが宗正遊備（兩軍零）

△第七回　神商關根投備石川石原三振▲滿倶井上遊備失に出で吉野のバントに二進したが永澤の一邪飛に三壘に走つて挾殺され長澤二飛（兩軍零）

△第八回　神商小柴三備松田島道三振▲滿倶片岡遊飛濱崎四球疋田中堅直球綠川一二間安打で濱崎二進したが宗正右飛（兩軍零）

△第九回　神商加藤一備西川右飛橘爪三振▲滿倶ピンチヒツター兒玉（井上に代る）四球に出で南條代りてピンチランナーとなり吉野のバントで二進永澤の遊備失で南條三進長澤四球で一死滿壘となり片岡の遊備野手本壘に高投して南條永澤生還し神商遂に長蛇を逸す

三壘打　片岡（一）
二壘打　加藤（二）
殘壘數　滿倶（十一）神商（三）

滿倶	打數	得點	安打	犠打	盗壘	三振	四球	過失
5 吉野	3	0	0	2	1	1	0	0
4 永澤	5	1	0	0	0	0	0	2
6 長澤	4	0	0	0	0	0	1	0
2 片岡	5	1	2	0	0	0	0	0
1 濱崎	2	1	2	0	0	0	2	0
3 疋田	2	0	0	2	0	0	0	0
7 綠川	3	0	2	0	1	0	1	0
8 宗正	4	0	1	0	0	0	0	0
9 井上	3	0	1	0	1	0	0	0
PH 兒玉	0	0	0	0	0	0	1	0
PR 南條	0	1	0	0	0	0	0	0
計	31	4	8	4	3	1	5	2

神商大	打數	得點	安打	犠打	盗壘	三振	四球	過失
2 小柴	1	2	0	2	0	0	1	1
6 松田	3	0	0	1	0	3	0	3
5 島道	4	0	1	0	1	1	0	0
3 加藤	3	0	2	1	0	0	0	1
17 西川	4	0	0	0	0	0	0	0
8 橘爪	4	0	0	0	0	3	0	0
4 關根	3	0	0	0	0	1	0	0
7 魚住	1	0	0	0	0	1	0	0
1 石川	1	0	0	0	0	1	1	0
9 石原	2	1	0	1	0	1	0	0
計	26	3	3	5	1	11	2	5

戰評

九回裏滿倶一死滿壘の時片岡は遊備した、野手は取つて本投せんとした時偶然捕手と自分の中間に投手の姿があつた爲め一寸躊躇し少し三壘際に寄つて投げたが氣を拔かれた後のためか高投し貴重な二點を献上した、不運或は投手の蹴れた失と云ふ可きかも知れないが其回の永澤の遊備失が第一の敗因である事を思へば實は矢張り遊撃手が負ふ可きであらう▲神商の打擊は一體に粗雜であつたため老巧濱崎投手は流石に巧に敵の虚を衝き一番、三番、四番の他を思ふ存分に料理をし安打を許す僅かに三本、本日第一の殊勳者か▲都市對抗戰早滿戰そうした大きな試合に全精神全勢力を費した滿倶軍に其後の心の緩み一種のスランプの來る事は神ならぬ身の當然の事であり、どこのチームにもある事ではあるが最早や其の域から拔き出す可き時は來た、外來チームの最終戰橫商戰での健闘を期待する▲神商島道、加藤の健棒と、三壘に走者を置いて二盗の走者を刺し或は拙んだ小柴の頭と腕、石川投手の好投は外來チーム中でも類を見ない立派な物であつた▲二回戰は行はれない

橫濱高商＝實業戰
一回戰けふ午後四時實業球場にて

鈴なりのリンゴ採り

寫眞（上）は金州農園における苹果採集（中）は南山園で採集したリンゴの山（下）は福昌農園のリンゴ畑

愛慾の窓 (84)

戸川貞雄作 / 淺枝次朗畫

弄流（一八）

英輔の挑戦的な言葉に、久彦は物凄たる憤りを喚られた。彼の顔を怖ろしく緊迫した表情が包んだ。

「……私慾とは何だ！私情を僕はむしろ抑へて、君のためを思つて動いて來たのだ！でなかつたら、君の結婚なんか疾に不成立に終つてる筈なんだ！」

「……負惜みはみつともないよ。君は何故もつと正直になれないんだね？そりや口惜しからうさ！倭文子さんの場合といひ美知子さんの場合といひ、不思議と君と僕とは張合ふ因縁になつてゐるんだ。そしていつの場合でも——尤も勝負はまだこれからだが、僕の方に結局のところ勝目がありさうだからね」

英輔はさう云ひながら、緋子の寫眞を取出して、久彦の眼の前に突きつけた。

「……お氣の毒だが倭文子さんはもう疾に昔の夢から醒めてゐるよ。僕の結婚の晩にはね、せめてこの寫眞でも抱いて寝たまへ！」

久彦は突きつけられた緋子の寫眞を見、英輔のさういふ言葉を聞くと、瞬間、啞然としていふ言葉を知らなかつた。

「……この寫眞が何うしたつていふんだい？」

「……恍けたまふなよ！改めて僕から君に返しておくといふんだよ。しかしはつきり斷つておくがね、倭文子は僕の妻なんだぜ！」

英輔は蔑みの情を露はに見せながら、ぷかりぷかり煙草を吹かしはじめた。

久彦にも、緋子の面影が倭文子にあまりによく似てゐるので、誤解されてゐるなといふことがわかつた。

「……誤解だよ、飛んでもない誤解だよ！そりや別な人の寫眞なんだ！」

久彦ははつきりとさう叫んだ。が、英輔は耳にも止めずせゝら笑ふきりであつた。

「ふゝ、そんなに卑怯な言譯はする必要がないよ……そのために僕が縁談を拒んだとでもいふんなら別問題だが、この場合はさうぢやアないんだからね、僕は決してそのために倭文子を嫌はうとは思はないよ……僕はこの場合最も寛大な良人にならうと思ふんだ。だから君もさう氣にかけんでもいゝのだよ……」

勝手にしろ！といふやうな氣持で、久彦は口を噤んでしまつた。妙に頑張つた沈黙が氣まづく座を領した。と、その時、廊下に面してゐる襖が、するすると引明けられて、そこから美知子が姿を現した。英輔も久彦も、同時にそれぞれちがつた意味で驚きの眼を向けた。

「……妙な場所でお目にかゝりましたわね、草野さん」

美知子は青ざめた顔に、冷やかな微笑を影のやうに浮べた。

「あなたのゐらッしやることを承知で來たのです！僕はあなたをお迎へに來たのですよ、他には何も用があつたわけではないんです」

久彦は美知子の顔を見上げて云つた。

「……さ、一緒に出ませう！かうなつたら小森君ももう隠すわけにはいかんでせうからね」

「……いゝえ！わたしは歸りませんわ！歸りたければ一人で歸りますわ！わたし、あなたにそんな世話を焼いていたゞきたくありませんわ……」

美知子は冷たい調子で、優しい久彦の言葉を撥ね返した。だが、その眼には、今にもこぼれて落ちさうな熱い涙が、一杯に溢つてゐるのだつた……。

川柳九月課題

九月五日〆切「差引」高橋月雨選

九月十日〆切「看板」島原蛙足選

九月十日〆切「浮沈」丸角卯木人選

△一題五句限り三光薄賞を呈す

滿日社文藝係

昭和日本の新風土記

帝國教育會長 伯爵 林博太郎

文學博士

現に世界地理風俗大系の大事業を繼續して、わが文化の普及向上に多大の貢獻をなしつゝある出版界の權威新光社では、これが姉妹篇として日本地理風俗大系の刊行を決行した。思ふに、世界地理風俗大系の刊行ある上は、日本地理風俗大系の企てられるのは當然である。寧ろその出現の餘りに遅かつた位である。蓋し世界地理風俗大系と日本のそれとは相待ち相補ふべきもので、從つて日本に關する大系も同時に轡を並べて世に出づべきである。されば日本地理風俗大系の計畫は、さぞや世界地理風俗大系の愛讀者は勿論、その嘖々たる好評を耳にする限りの人の歡呼して迎へるところとなるであらう。殊に今や一般國民は世界を大觀すると共に、顧みて日本と日本國民との現實を凝視せんとしつゝある。そして眞に確乎たる堂々たる歩武を整へて、世界の舞臺に活躍せんとしつゝあるこの際、世界地理風俗大系の眞價と光榮と體驗とを土臺として日本地理風俗大系が刊行され、しかも世界のものよりも一層高級で、學術的で、大所高所に立つて眞に現代の知識階級を指導するに充分な内容以て、實際と理論と、科學と藝術との合一した理想的な、新時代の國民教科書たらしめる意氣込みださうである。これは現代の書き變へられたる昭和日本の新風土記として、新人國記として、國民文化のために非常に意義のある、最も喜ぶべきことであると思ふ。努力して揃へられた編輯委員、執筆者の顔ぶれの、よく網羅し精選しつくしてあることだけでも、さぞや世を驚かす、完全のものが生れ出づるに違ひないと、[illegible]くしてたまらない。早くその第一冊を手にして我れも人も共に、新日本の文化のために聲を擧げて歡呼したい。敢へて之を滿天下に推薦する所以である。尚詳細内容見本は東京神田錦町一丁目新光社へ申込ば進呈する由。

息の通つてゐる地理書

東京帝國大學教授醫學博士 永井潜

世界を以て人體に譬へると、地理學はまさに解剖學に匹敵する。この兩者は共に非常に大切であつて、而かも最も無味乾燥に陥らんとすることは、夫れが大切であるだけそれだけ、寔に遺憾とする處である。そこで若し専門家ならざる者にまで、津々たる興趣を以てそれを道破し得るとせば、夫れは非凡な學識と非凡な才能と、そして非凡な努力との結合によつてのみ始めて期待せられる。

この非凡なる唯一の解剖書を求めて、私は、ヒルトルの著書に得た。彼れは屍體を材題としないで息の通ふ、脈の搏ちつゝある、活きた人間を剖見して居る、そして讀む者をして、共に搏動させ呼吸させて、卷を措くに忍びざらしめる。

醫人として、ヒルトルの解剖書から受けた感興と魅惑とを、私は今、地理學に對する素人として「世界地理風俗大系」に對して痛感してゐる。この書物には、世界の息が通ひ、世界の脈が高鳴つて居る。同大系の發行所たる新光社にては今回之が姉妹篇として「日本地理風俗大系」を刊行することゝなつた。それは「世界地理學の記述に留まらないで、衣食住に、政治經濟に、藝術宗教に、活きた日本及日本人を紙上に活躍させんとすることが、私を魅惑する第一の理由であり、美はしい貴重な多くの挿畫によつて、記事を潤色し強調させて居ることが、第二の理由であり、各篇、各項その執筆に、悉く最大の權威者を選定して居ることが、第三の理由であつて、吾等はこれ等の筆者に對して敬意を表するのは勿論であるが、夫れと共に、編輯者同人の慘憺たる苦心と努力とに對して、更に一段の感謝を捧げざるを得ないのである。

山は水を得て生動し、水は山を待つて深邃を加へる。地理と人文と、反撥し、交響し、返照しつゝ美はしい、面白い波紋を描きつゝこの大系は、或る意味に於て、日本に於ける學術界と讀書界の進歩向上のレベルを、世界に紹介するものと言ふことが出來やう。尚詳細内容見本は東京神田錦町一丁目新光社へ申込ば進呈する由。

廣告

夕刊 滿洲日報 八月二十八日

常備兵五箇師團減少し在營年限を延長せん

豫算節減に伴ふ兵制の改革 陸軍部内の意見有力

【東京二十八日發電】今回の軍制改革に於て陸軍では極力常備兵數の減少を避けんとしつゝあるが、相當額の恒久財源を捻出するには常備兵數に手を觸れるの已むを得ざることは前回の軍制改革に際して宇垣陸相が四個師團を減少するの餘儀なきに至つた經緯に見るも明かで、此四個師團の減少に依つて得た財源が僅かに二千萬圓に過ぎなかつた點より見て今回も亦所期の目的のためには四、五個師團分の常備兵數を減少することは避くべからざる大勢となつてゐる、然し之では現在の戰鬪力を維持することは不可能との理由で

一、此際常備兵數を十萬位（現在約二十一萬）に切詰め
一、在營年限を延長して大に訓練に力を注ぎ
一、戰時之を幹部として動員したる兵卒を指揮せしむべし

といふ兵制の立替說が軍部内に有力となりつゝある、斯くすれば最も經濟的にして且つ戰鬪力に及ぼす影響少しと云ふに在る

支那が讓歩せねば和平解決は困難

獨逸では兩代表挨拶に止め 正式交渉は他の地で

【ハルビン特電二十八日發】ドイツ政府の調停によつて露支紛爭は解決される機運濃厚となつたが、ベルリンにおいては單に同地駐在の支那公使とソウエート代表の握手と平和の餌つなぎに止め

正式會議 は支那としては南京に於て開催の希望を有してゐる、無論之に對して東北四省としては中央政府に根本の交渉權を讓るに異議はなからうが、問題の端を發したのは東北四省であるから奉露協定による東鐵の利害關係は東北四省が折衝することを主張するであらう、從つて今回の對露政策に中央と不調を來した如く、本問題の

根本解決 に就ては多少前途遼遠の感がある、恐らくソウエートとしては露支の通商、現に閉鎖されてゐる大使館の回復、國營機關の支那における位置の保障、其他地方的としては松花江、黑龍江の航行權、國境査定、エミグラントの處分等に言及するに至るべく、支那側が再びカラハン、王正廷の露支協定に入つて尚赤化宣傳の抽象論に傾けば容易に交渉は成立すまい、但し東鐵の現狀回復に止めるとなれば、ドイツの調停は成功する可能性はある、然し國民政府が今回の對露外交策にドイツを介在し第三國の調停により局面を拾收した事になれば

國權回復 を唯一の信條として四億の民衆に宣言した政府の外交は始めて其實力なきを暴露するもので對内問題として國民政府内の政權爭奪が醞釀されぬとも限らず、東北四省は現在の南京政府との確執を自然の中に誘導する危險は免れぬところであると支那側當局は觀てゐる、然し今回の直接責任者である東鐵幹部及び當局にては露支の正式會議開催のため目下之が材料を蒐集し準備を進めつゝある、但し正式會議に支那側が最大の

讓歩せぬ 限り交渉は悲觀される、それは今回の調停を先づ依賴したのは支那側であつたとの說が有力であるからだ

昨夜太田長官邸の新任披露晩餐會

急速に解決せぬが武力抗爭は免がる

支那の大讓歩により

【奉天特電二十八日發】支那側の對露策が和戰兩樣とは云へ、尚和を主としてゐる事は其後の軍事行動に見て首肯される處であるが、果せるかなドイツにおける兩國代表の折衝は支那側の大讓歩により好轉し既に危險時代を過ぎた觀があるが、支那側では東鐵の原狀回復を原則として讓容はしてゐるが、而し從事員其他をまで原狀に回復するものではないと云つてゐる、而して正副局長の露國側占有は支那側としては大讓歩のやうであるが、理事會其他の幹部が支那側である現狀から見てさしたる影響もなかるべく、勞々支那側としては實質的に東鐵の現狀回復に屈從したものとは思つてゐない、從つて此度の妥協案を以て相當の間に圓滿に而も急速に解決するものと見るは早計にして尚迂餘曲折を見るべく唯一時憂へられた武力抗爭は免れた形である

滿洲里の勞農軍寒氣のため後退

塹壕や民家に休養

【滿洲里二十七日發電】當地方の氣溫俄に下降し夜間は攝氏五度の寒さのため勞農軍は期せずして第一線より後退し塹壕や民家に入り兩軍共に緊張味を失つて來た

奉軍徴發に農民不平

【遼陽特電二十八日發】奉天邊防軍司令官は愈々赤露軍が支那に向つて挑戰的態度に出て來たので軍需品輸送の必要ありとして省内各縣に荷馬車並に人夫の徴發を命じたが、遼陽には廿六日附を以て馬車一百輛と人夫一輛につき二名の割當で徴發方を命令して來た、よつて公安局ではこれを縣下十區に負擔せしめたが住民は水害後引續き馬賊の脅威をうけてゐる際とて今回の徴發命令には頗る不滿を抱いてゐる

支那國境の兵力を充實

【ハルビン廿七日發電】ロシアが蒙古軍を使嗾し支那を脅かさんとしてゐると云ふので支那軍は國境警備軍を益々增加し奉天軍千三百名は既に昂々溪に到着東方邊防軍第二軍長胡毓坤氏は二十七日齊々哈爾に到着し直に右增援隊の配置方につき萬福麟氏と協議した、目下海拉爾以西に在る支那軍兵力は步兵七個聯隊、砲兵一個聯隊、工兵一個聯隊である

賠償會議決裂か

六大國の意見一致せず

【ヘーグ二十七日發電】ドイツ委員の一人は本社記者に對し六大國の意見遂に一致せず賠償會議は遂に決裂に迫られてゐると語つた

要求額の七割八分

【ヘーグ二十八日發電】公式發表に依れば英國側は賠償會議の決定に依り曩に要求してゐた賠償金年額四千八百萬馬克の七割八分即ち二千七百四十四萬馬克を受取ることゝなつた

五ケ國協定を遂ぐ

【ヘーグ廿八日發電】賠償會議ドイツ側一委員の發表したところに依れば關係主要五國は今曉零時廿分遂に協定を遂げ得たと

ドイツ外相臥床中

【ヘーグ二十八日發電】賠償會議に出席したドイツ外務長官ストレーゼマン氏は輕微な病氣で閉ぢ籠つてゐるが、會議最終日の亢奮が主なる原因であると傳へられてゐる、なほ氏は醫師の勸告を受けて臥床中であると

荻川放談（86）

治安

支那では何とあつても、滿洲ほど治安の維持されとる所はない是も此治安維持を日本がやかましく云ふからで、日本は若し之が亂れて其害にある我權益の侵されんか、常に獨力でもとの決心を持つ、併し支那の主權は必ず尊重するので、要せぬところに手を出さぬ、それで何事かの起ると、滿洲の治安は日本が手を出さぬ邊から壞れ出し、累が此方に及ぶに至つて日本は立つ併しその立つや治安が還元して民衆の歡喜となる。

◇

今度も露支の喧嘩で、支那軍隊は國境にと動く、此虚を狙ふ匪賊は所在にはびこらんとし、現に東北四省の核心たる奉天の膝許でさへ、通江口附近と云ひ、遼陽附近と云ひ、近隣撫順までが、此匪賊の跋扈に惱み出したと傳えらるゝではないか、膝許が既に然りとせば、他地方は推して知るべきのみ、而も之の世に聞えぬは、交通の阻隔からでもあらん、されど幸ひにまだ累は日本の權益に及ばず、南滿鐵道沿線なんかは至極平和だ、さりとて郤々に油斷は出來ぬ。

◇

殊に斯うした情勢に乘じ、中國共產黨一派が、此際國難をぜんとする思憂もあるに於てをやで、然らば其匪賊を禍はんが爲に國民政府が灰色軍の關外進出を以てせんかと云ふに東北四省官憲は、之を自己勢力保持の必要から肯ぜないとか、それは私である、併し公のうえからよりしても、此進出には治安の素質が伴ふべし、何んとなれば、支那軍隊の他省に入るや、將卒ともに其處を喰物とし、弊害の及ぶところ、匪賊に勝るも劣るなき點あればなり、されど國民政府の腹にも、其軍隊に此喰物を與へんとする私心なきにあらずとかで、相互がみな私に立つこそ心細し。

◇

私を去つて公に就け、而して國民政府は、匪遁規定にもはまらない軍隊を、輕々しく出動せしむるな、東北四省は治安維持に力の足らねば、豫て從來の保甲制を鑑へよ、それでも不充分なる義勇兵隊の組織である、或者は學生間に此傾向を生ず、豈學生と限らんや、平素愛國を口にし、とんでもない排日などを唱ふる連中をして之に當らしむるに限る、彼等が此事を爲し遂げ得ざれば、其愛國は嘘と知れ、排日も何か爲にせんとするところあつてのことゝ思へ、露支抗爭は今後どうなるか知らぬが、唯滿洲の治安に專念する日本としては、該抗爭を外にして、斯うしたことが言ひたくなる、言甲斐なければ自然に手も出ることにもならんが、併し今が此時期じやとのことではない。

撫順製油工場の生產高年額四百六十萬圓

市價より二割安に見積つて 作業は愈よ十月開始

【撫順特電二十八日發】撫順大官屯製油工場は十月始めから作業に移るが各主副生產品を市價から計算して年幾何の總收入あるかを計上して見ると約四百六十五萬一千九百圓となる、主產物たる重油の

實際生產 高は年額約六百萬噸一噸二十三圓の百三十八萬圓粗パラフィン約九千四百噸、是は德山工場で精製すれば噸三百五六十圓見當の市價であるが未精製品なる故噸百十圓と見て百三萬四千圓、硫炭年額四千九百噸一噸十一圓、五萬三千九百圓、最も巨額に上るのが年額一萬八千二百噸を產する硫安で一噸百廿圓と見て二百十八萬四千圓、總計四百六十五萬一千九百圓となるのである、但し同

工場設立 には總資金約九百萬圓を投じてゐる上年々の經費亦甚大なるものあり前記値段の内重油の如きは全く犧牲的安値でその外粗パラフキン硫安の如きも現市價より二割安に計上したもので要するに同工場の主要目的は目下海外から巨額の輸入を仰いでゐる前記液體燃料等の必需品を邦人經營の國產を以て自給せしめんとするに在り同工場自體は營利本位から超越したものである

支那の幣制統一と奉天官銀號の惱み

奉天票に影響なきやう折衝 中央銀行進出の對策

【奉天特電二十八日發】先般孫科氏來奉の際張學良氏に對し財政統一のため奉天に中央銀行支店を設立し國稅事項並に中央銀行紙幣流通方に付提議したる結果、張學良氏も

之を承認 するの已むなき實情に直面し近日中に東三省官銀號總辦を上海に派遣し財政幣制の統一會議に列席せしむることゝなつたが、右會議の結果は東北四省各地に分號を設置することゝなつてゐるが、某東北省財政通の語る所によれば、右實現を見たる曉に於て最も打擊を蒙るは官銀號にして從來濫發せる奉票を回收し全部中央の現大洋票を發行するに至るべく其結果官銀號は單に省稅收入を取扱ひ得るに過ぎざるものとなり、例の

特產買占 め等は全然不可能となる模樣で目下省政府當局は之が對策に苦慮しつゝあり、假令中央銀行の進出は止むを得ずとするも、之を奉票と關係無き立場に於て活動せしむる程度に喰止めんとして既に折衝中であるが、一般商民としては既に永年奉票濫發に惱まされ來つたことゝて寧ろ中央銀行の進出による幣制統一と安定を切望してゐると

奉天總領事後任に太田公使

林現總領事の辭任後

【東京二十八日發電】林奉天總領事は先般來辭意を漏らしてゐるので、外務省では其後任を物色中の處、大體に目下賜暇歸朝中のスペイン駐劄公使太田爲吉氏を任命するに内定した

天羽書記官後任 大橋第三課長

【東京二十八日發電】外務省通商局第三課長大橋忠一氏は天羽支那公使館一等書記官の後任として公使館一等書記官に轉じ北平在勤を命ぜらるゝ事となつた

烏鐵代表等引揚

ソウエートロシヤ烏鐵代表ポルトラツク氏並にウラジオ滊船ハルビン支部長カルポホウイチの兩氏は廿八日出帆うらる丸にて日本へ向つたが浦鹽經由本國政府に向ふものであると

日支聯絡電話料

九月分の協定額決定

當地遞信局では九月分の日支連絡電話料金を支那側と協定し左記の通り決定したが銀相場の關係で九月分は八月分より天津、北平へ一通話料金各十錢又洮南へは五錢方何れも低廉となつた

區域	通話料（圓）
奉天（日本）天津間	二、六〇
奉天（日本）北平間	三、一五
奉天（日本）洮南間	一、九〇
大連奉天（支那）間	一、三〇
大連天津間	三、七〇
大連北平間	四、二五
大連洮南間	三、〇〇
旅順奉天（支那）間	一、五〇
旅順天津間	三、九〇
旅順北平間	四、四五
旅順洮南間	三、二〇
安東縣奉天（支那）間	一、〇〇
安東縣天津間	三、四〇
安東縣北平間	三、九五
安東縣洮南間	二、七〇

自働電話の技術實習

支那側技術者大連局で

【奉天特電二十八日發】東北交通委員會では先に開通した奉天電話局の自動電話交換成績が極めて良好であるので此の機會に於て支那人の技術者を同局に派遣し約三ケ月間の實習をなさしめるため其補充員として當地の北大學電氣科卒業生で目下交通委員會に勤務せるものゝ中から三名を委託し養成せんとする希望を申出たが奉天局では既に諸設備完了してゐるので本年度自働電話の增設をなすことゝなつてゐる大連電話局に於て實習方を支那側に傳達した處非常に感謝と滿足の意を以て近く正式公文を以て櫻井遞信局長に對し依賴狀を發送し來ることゝなつてゐる、日本側でも日支親善の立場より相當好意を以て之を取扱ふ由

華商公議會長の選擧で暗中飛躍

金州、山東兩派が反目

小崗子華商公議會々長選擧も切迫するに連れて目下華人間に於ては熱烈な暗中飛躍が行はれて居り西崗街雜貨商徐瑞蘭氏が張會長に取つて代らんと側面運動を行つて居るらしいが、然も大連公議會も既に張本政會長の任期滿了し改選期を控えて張氏を推す金州派と[illegible]を戴き委員側を主張する山東派との内に露骨な反目あり未だ選擧日も決定しない狀態であるが、華人實業家にとつては公議會々長の問題は大連市長の選擧あるも直接的利害關係あり目下華人間にあつては寄ると觸ると此問題が討議されてゐる

滿鐵各理事新長官に挨拶

滿鐵の齋藤、岡、田邊、小日山各理事は二十八日朝太田新關東長官へ挨拶のため自動車にて旅順へ往復した

人事

▲瀧川幸辰氏（京都帝大教官）廿八日出帆うらる丸にて内地へ
▲丘濬二氏 同上
▲山科長之輔氏（日本角力協會檢査役）同上
▲荒川彦榮氏（大倉商事會社員）同上
▲京大陸上競技部員一行 廿六名同上
▲草場辰巳氏（關東軍司令部附）新任挨拶のため廿八日各方面を歴訪
▲後宮淳氏（步兵第四十八聯隊長）久留米へ轉任挨拶のため同上

大觀小觀

◇暫定的なドーズ案から決定的なヤング案への切替へ、英國の横槍から決裂の危機に瀕つてゐると傳ふ。
◇ドイツの賠償年限、この九月一日から、第一期が三十七年、第二期が二十二年、都合五十九年といふ長期にわたる。
◇英國の分前が割に合はぬといふので横槍を入れたが、横槍が英國だけに厄介。
◇濱口首相、いはゆる三大審議會の外に國家永遠の大策を樹立すべき大調査會を設置せんとするの意向ありといふ。
◇惡いことではない。
◇併し前例もあること、また冗員のために冗費の機關を設け、冗費を濫費するは、緊縮節約の趣旨に戻る。
◇滿洲里、早くも攝氏五度に氣溫降下。
◇うかうかしてゐると、やがて結氷。そこで露支の交渉、支那側の讓歩でいよいよ閉幕か。
◇高粱に百舌來り啼き夕やけす。

天氣豫報

廿九日（晴れ）一時曇り
日出五時十八分日沒六時三十分
滿潮前四時五分後四時十分
干潮前十一時後十時四十分

各地の溫度

	十一時	昨日最高
大連	二八、一	二八、九
旅順	二七、二	二七、三
營口	二五、六	二八、九
奉天	二三、七	二八、四
長春	一九、二	一九、九

新しく展けゆく滿洲を感じたまゝに

我論壇、畫壇、文壇の權威五氏が本紙に隨筆を書く

柳瀬正夢氏　堀口九萬一氏　戸川秋骨氏　加藤武雄氏　新居格氏

新しく展開してゆく滿洲を、新しい目で見た感想を、と云ふので明廿九日夕刊から左記の人々の隨筆を本紙に掲載することになつた。

前ブラジル大使　堀口九萬一氏
慶大教授　戸川秋骨氏
評論家　新居格氏
小說家　加藤武雄氏
畫家　柳瀬正夢氏

右の人々は目下大連を振り出しに滿鐵沿線の旅を終へ、洮南、齊々哈爾、哈爾賓へと歩を向け、九月上旬再び大連に姿を見せることゝなつてゐる。

堀口九萬一氏　初期の領事として南方支那を振り出しに世界を家として外交官生活をつゞけた人、但し滿洲は初めて「高粱の生えた殺風景な野原ばかしと思つた滿洲がこんな立派なところとは思ひませんでした」と云ふ、還暦を迎へ乍らも性格に少しの硬化もなく「豐かで暢達」な人だ。

戸川秋骨氏　英文學の譯書によつて、又隨筆に於て餘りにポピユラーな人、靜かなゆとりある滿洲の隨筆、これは味に徹したものに違ひない。

新居格氏　モダンガールの名づけ親、時代の尖端を歩く評論家、しかし本人はモダニズムの基調を「簡單で、明快で新しい聰明を」等と云つてゐける所に氏のお孃さんが稱する「眞面目な父」を看取することが出來る、滿洲に對しては「從來のやうな平面的な滿洲見物ぢや下らな過ぎます」と云ふ、四十二の厄年を迎へた新居氏の新しい目に滿洲はどんなに映つたか。

加藤武雄氏　みなさんの御存知の小說家、そして家族一緒になつて顏をしかめずに見れる小說を書く人

柳瀬正夢氏　新しい繪畫の尖端を歩いて來た人、この若き天才が滿洲の風景をどんなに掴んで來たか。

敷島町組合教會

日より四日まで三日間毎日午後四時半より協和會館に於て「近代日本に於ける宗教思想の變遷」と題する講演を爲す筈、なほ大連に於ける講演終了後は六日沿線に向け出發、大石橋、營口、鞍山、遼陽、鐵嶺、公主嶺、長春、開原、奉天、撫順、安東等各地に於て講演し朝鮮經由歸京の豫定だと

今回滿鐵の招聘で海老名彈正氏の來連を機とし左記の集會を催し一般來聽を歡迎すと
▲八月卅日午後二時(婦人會)「家庭と宗教」▲九月一日午前十時(禮拜說教)「倫理的宗教」

攻防共に備はる横濱高商軍

けさ撫順遠征から歸連す　あすから實滿と對戰

…賽のシーズンで二十二勝六敗の戰績を殘し嘗て早大選手山崎氏のコーチを受け定評あり且つは見事全國高專野球大會に優勝の榮冠を握つた横濱高商軍は去る二十三日來連後撫順滿倶軍の招聘に應じて同地に遠征を試み四對二にて快勝し二十八日朝再び大連に歸來し疲れをやすめる暇もなく午後より實業球場において最後の練習を行つた。ナイン中では黑田、中島、土井、益子達が見事な當りを出してゐるが**總體的**に見て粒の揃つた油斷の出來ぬチームである投手は巧なコントロールとカーブを得意とする宮崎(神戸一中出)を第一線に立て、スピードと急角度のカーヴに恐ろしい威力を持つ鹽見(甲陽中出)十九回連投のレコードホルダー丸橋(前橋中)等往年の甲子園の花形を第二陣に据えてゐる二十九日以後それぞれ實業滿倶と三回戰を行ひ歸路につくと

海老名彈正氏　あす來連する

日本基督教界の開拓者にして前同志社大學總長たりし海老名彈正氏は今回滿鐵社會課の招聘に依り二十九日の香港丸にて來連、九月二

全滿硬球選手權大會

九月八日大連で擧行

滿洲硬球庭球大會の最高權威たる滿洲體育協會主催全滿庭球(硬球)選手權大會は左の如く擧行に決定した
▲日時九月八日▲場所大連(三四ヶ所のコートにて行ふことあり)▲試合種目シングルス、ダブルス▲ゲーム三セットマッチ▲使用球スラゼンビヤトボール▲申込締切九月三日限り▲參加料シングルス、ダブルス共に金四圓申込と同時に納付の事▲申込所滿鐵社會課氣付滿洲體育協會▲審判申込選手交互に審判に當る事

州內旅商團　今度は貔子窩へ

本年六月州內旅客團を組織し各地を出張販賣して可成の成功を收めた沙河口輸入組合支部では今回再び貔子窩よりの慫慂に依り來る二十九日より四日間貔子窩一力食堂に出張するが、同地の成績如何に依つては再び金州普蘭店方面を巡回する豫定であると

故金子雪齋翁の墓前祭

けふ嶺前屯墓地で嚴かに執行

故金子雪齋翁逝いて五周年に當る今廿八日午前十時より泰東日報社及び振東學社主催の「雪齋翁墓前祭」は嶺前屯墓地に於て執行された、集まつた人々は生前翁に親かつた人、又は門下生等約百名、まづ阿部泰東日報社長の挨拶が終つて松山產靈教會主司祭の下に嚴肅に式は行はれた(寫眞は祭場)

高加索軍副司令官墜死す

旅客機墜ち

【モスクワ二十七日發電】露國コーカサス軍副司令官ヤン、ファグリツエウス將軍は旅客機でコーカサスに行く際機體が黑海に墜落して溺死した

滿洲に憧れて

無鐵砲に飛出した男　五名大連警察署へ檢擧さる

二十七日夜十時十五分ごろ大連監部通り二七千葉齒科醫宅に一名の日本人强盜が侵入し兇器を出して脅迫中、氣轉をきかした妻女のためにその筋に屆け出られ一物を得ず逃走した事件につき大連署では同夜徹宵搜查したが、大廣場や中央公園等のベンチに假眠してゐる多數の**浮浪者**を副產物として發見その中大廣場に眠つてゐた原籍長崎市大黑町八五無職神崎秀夫(一九)原籍岐阜縣武儀郡菅田町無職長尾秀雄(二二)若狹町に徘徊してゐた原籍兵庫縣三原郡大野村無職長能晃(二六)常盤町にウロついてゐた原籍愛媛縣松山市木屋町一丁目二六無職黑谷良一(二六)同原籍島根縣八束郡竹屋村無職青砥壽之助(三六)の五名を檢束し拘留各三日に處したが**何れも**滿洲に憧憬れて無鐵砲に飛び出して來た者ばかりであると

大盡あそび

店の金品を窃取横領し　始末に惡い呉服店々員二名　大連署に逮捕さる

大連浪速町三丁目八八伊藤呉服店員西山新雄(三)および同千手間益次郎(三)の兩名は昨年暮以來美濃町待合新小松および逢坂町遊廓三田尻樓、大幸、第一鶯榮樓その他に於て身分不相應の豪遊を極めてゐるので、大連署で怪しと睨み二十七日夜西山を西通り四六、千手間を近江五丁目一九四の各自宅より逮捕引致し嚴重取調べた處、西山は昨年十一月御大典の際、御大典用奉祝幕を市中各方面に販賣し九百五十圓の利益を擧げながら店主には七百圓しか儲からなかつたと僞り二百五十圓を詐取したほか昨年三月より今日まで計畫的に犯意を繼續し得意先よりの集金一千餘圓を横領し、また千手間は昨年二月ごろから今日まで反物約四十反價格九百圓を窃取し之れを賣却してゐた事實を各自白したので引續き目下取調中である

美觀損ふと

けふ乞食狩り

大連署では徘徊する乞食が最近館棒に增へて市中の美觀を損するのみか衞生、保安上にも遺憾の點勘くないので二十八日午前八時から外勤巡査をして一齊に乞食狩りを行ひ正午まで七十三名を取り押へた

達者な體で

避暑外人けふ離連　大連丸の船出賑ふ

星ヶ浦に、老虎灘に、さては熊岳城湯崗子に暑さを避けてのんびりした氣分に浸つてゐた多くの外人達も、秋風立ちそむると共にボツボツ引揚げつゝあるが、廿八日の上海、青島航路定期船大連丸は潮風に赤銅色になつた健康そうな肌の色を初秋の陽にさらし乍らトランクを持ち込む外人連が續々乘船、一二等船室は殆ど避暑客のために奪はれた形でロシヤ人、支那人、英米人の朋友親戚の者と別れを惜む者、又珍しく多くテープの色どりも鮮かに各國語の「さよなら」の交錯裏に定刻十一時出帆なほ同船では二ヶ月前來滿、哈爾賓にあつた寧波の天寧寺の諦閑、授松兩法師も歸鄕するので支那側の大官連の見送人が殺到してゐた

渡島半島に豪雨襲來

入畜被害甚大

【函館二十八日發電】北海道渡島半島一帶は二十六日夜から二十七日拂曉まで豪雨襲來し、各地に可なりの被害を及ぼした、松前郡福島村では福島川氾濫し小兒溺死者三名を出し、崖崩れのため神社及び民家八戶倒壞橋梁流失し農作物全滅した、又駒ヶ岳山麓の熔岩は濁流と共に砂原村に襲來倒壞浸水家屋多數を出した

感激に滿ちた盛大なる歡迎會

「君ケ代」の奏樂に滿場起立して敬意を表す

【ロスアンゼルス白井特派員發電】二十六日夜八時から當地アンバサダーホテルの大食堂でツエ伯號乘組員並に乘客一同に對するハースト系新聞社主催の歡迎大晩餐會が開かれた、場合が場合とてツエ伯號の一行は平服で御免を蒙つたが來賓一千餘名は男女とも盛裝で壁にはレークハースト、フリードリヒスハーフエン、霞ケ浦、ロスアンゼルス等のエアーポートの四の窓を造り**ツエ伯號**の模型を造り奏樂と共に動かし、霞ケ浦の窓にツエ伯號の入らんとするや日の丸の國旗をパツと開き、樂隊は君ケ代を奏し滿場は起立して敬意を表すといふ凝つた歡迎振りである、加州知事ヤング氏その他の歡迎の辭に次でエツケナー博士の挨拶があつたが、エ博士は「日本海軍は甚大なる援助を與へ世界一周飛行を可能ならしめた」と日本に謝意を表するや滿場起立萬歲を唱へ感激の場面を呈した、宴終るや我等日本人三名は日本人の署名攻に遭つた、宴果てゝ一同意氣揚々マインスフイールド飛行場に向つた

Z伯號、最後コース

二日以內で翔破の見込み　約廿二日弱で世界一周を完成せん

【ロスアンゼルス廿七日發電】ツエ伯號の出發は豫定の午後十二時より約一時間遲れ今曉零時十五分その最後コースたるレークハーストに向つて出發した、繋留マストを離るゝや約五百呎の高度をとつたが、マインスフイールドの南端にある高い高壓電線に危うく觸れんとして僅かに十フイートばかりのところでこれを**巧妙に**避けた、機の上空を去るやロスアンゼルス市に向ひ市の上空各所を暫し飛廻るど見えたが軈て南東の方向にその雄姿を沒した、市內の人出は非常なもので ツエ伯號が市の上空に飛來するや街上の人々は一齊に拍手歡呼を浴びせ電車や自動車は一齊に停止した、ツエ伯號の豫定ではレークハーストに二日以內を以て到着する見込みで、斯くて同號が八月七日午後一時三十九分レークハーストを出發してから同地に歸着するまで二十二日弱を以て世界一周を完了する譯であるが、昨年米人が**飛行機**その他で作つた二十三日十五時二十一分三秒といふ世界一周レコードよりも更に早い新レコードを作るものである

センチネル通過

【アリゾナ州センチネル二十七日發電】ツエッペリン伯號は午後十二時十八分(滿洲時間)當地上空を通過した

ベンソン通過

【アリゾナ州ベンソン二十七日發電】ツエッペリン伯號二十八日午前四時二十七分(滿洲時間)當地上空を通過した

ハチタ市通過

【テキサス州エルパソ廿七日發電】ツエ伯號は午後二時三十五分ニユーメキシコ州ハチタを通過した、エツケナー博士の無電に依ればレークハースト着は廿八日夕刻とならうと

埠頭に擴聲機

混雜を整理

埠頭待合所の混雜を防止の目的で今回ラウドスピーカーを待合所內各所に設置、船の發着、落し物、混雜の整理等に總てマイクロホン…

愈よ近づいた金州の苹果デー

戰蹟見學の好機會

秋の訪れを迎へる最初の催しとして來る九月一日(日曜)を期し戰蹟見學を目的として近年著るしく隆盛となつてきた農園見物の金州遠足會を擧行する、金州側でもこの催しに双手を擧げて贊成、當日を「苹果デー」として盛んに歡迎する。州內唯一の舊都に支那氣分を味はひ、思ひ出深き戰蹟を探り、或は響水寺の勝景に接して初秋の一日を行樂せんとする人は奮つて參加されたい。

ゆき　九月一日午前八時十分大連驛發九時五分金州驛着
かへり　同日午後三時五十分金州驛發四時四十分大連驛着
往復共臨時列車、會費七十錢(小兒半額)
鐵道無賃乘車證所持者は會費金二十錢(小兒半額)を申受けます
特典　會員には福昌農園、南山園、金州園、原田農園の各所に於て休憩所を設け苹果及湯茶の接待を行ひ苹果一等品一貫目を七十五錢、二等品五十錢(籠付は五錢增)即ち市價の約三割引で特賣します
申込所　滿洲日報社受付に會費を添へて申込まるれば鐵道乘車證並に會員證を引換に御渡します

主催　滿洲日報社

日赤社巡回施療

日本赤十字社大連支部では例年の通り秋期巡回施療を九月五日より十月四日まで大連支部管內の各地に於て施行するが成るべく多數傷病者の受診を歡迎すると

生活苦から逃れ溫い祖母の胸に

青雲の志を抱いて渡滿した家出青年

…ので毆り飛ばしたところ怒つて實家に歸つて了つたが、二十七日に至つて徐氏親娘同道し來り散々惡罵せられ于は腹立紛れに吸殘りの阿片を嚥下し自殺を圖つたが家人に發見せられ生命には別條無し

青雲の志を抱いて鄕里を出で來連したが事志と違ひ疲れた身と心を智光院に託して居たけれど矢張り變らぬ溫かい老母の懷に再び歸つた話――原籍大分縣北海部郡大在村大字志村二〇四宮本勇三郎長男繼藏(二〇)は幼少より母を失ひ年老いた祖母の**手一つ**で育てられて十六歲の時より近在の店に奉公に出で毎月祖母にも若干の小遣ひを送り實直に暮してゐたが、昨年八月滿洲で成功せんと思ひ立ち無斷家出渡連したもの、思はしい職業も無く各所を彷浪し本月十九日漸く市內暻此須町智光院に流れ着いたが愈々八方窮した揚句鄕里に出した手紙を見て病中の老母は死んだ者が生返つた樣に喜び、早速二十七日小崗子署宛旅費二十二圓を添へ**保護を**賴つて來たもので歸鄕する樣

金儲け話又々發表

一岡辰で有名になつた谷探六氏が又々金儲け話「探六とX」をキング九月號に發表、何處でも大評判…

馬ドロ捕はる

二十七日午後五時半市外香爐礁路上で背かぬ驢馬を無理矢理に引張つて毆り飛ばしてゐる男があるので警邏中の沙河口署刑事が見咎めたところ、此者は河北省生れ住所不定前科一犯劉萬齋(三)と云ひ馬が馬挽の擧動が怪しいので取調べは市內尾上町五十二番地より窃取せること判明、今度は馬の後から突かれてトボトボと警察へ

押賣藥商御用

二十七日午後一時四十分ごろ大連紀伊町六十三番地に小刀および錫を所持し押賣りして歩いた事判明したので不正賣藥行商人として大連署に引致された

散々罵られ　阿片自殺を企つ

市外西山會香爐礁第三區二一五于鴻楷(三)は數日前長男士氣の妻徐氏(二)を連れて建築作業を手傳ひに行つたが、嫁が意の如く働かぬ

斷崖から眞逆樣

【熊本廿七日發電】熊本縣菊池郡龍門村字雪野村上三郎(二)は二十六日午後三時半山路に架設せる材木運搬用トロッコに菊池川遊覽者十五名を乘せ進行中急カーブに差掛つた際ブレーキ利かず三十尺餘の斷崖から眞逆樣に谷底に墜落し即死三名、重傷五名を出した

自動車運轉手養成

市內大山通日華自動車學校は九月一日の新學期生を募集中である同校は三周年を迎へ入學者は割引特典あり卒業者は合格率良好で入學申込多數

◇…煙草專賣局では九月上旬から新製品「金剛」十本入二十五錢を發賣するが、今年は葉煙草の發育頗る良好なので精々良質の材料を使用してスリーキャッスルその他の輸入品を驅逐する意氣だと【京城發】

◇…廿六日朝起つた南京城內清涼山火藥庫の爆發は同日午後二時に至り漸く鎭火した、小銃彈倉庫二棟、大砲彈倉庫二棟を全燒したほか附近民家五十戶を破壞し即死者十七名を出した【南京廿六日發】

◇…世界各國のラヂオ放送局の正確な數は判明しなかつたが今回ベルン萬國電信總理局より當地遞信局に到着した通知に依ると本年四月一日の現在數は左表の通りで日本は第十位になつてる

國名	數	國名	數
米國	六三九	加奈陀	七七
瑞典	三一	獨逸	二六
英國	二〇	墺太利	二〇
ニユージランド	一四	佛國	一三
白耳義	一二	日本	一〇
ウルガイ	一〇	諾威	九
チエツコスラバキア	六	墨國	五一
和蘭	五	瑞西	五

關東州鹽業政策の確立に就て要望

生産高及輸出の増加趨勢に鑑み　太田新長官に期待

關東州内に於ける鹽業は逐年鹽田の擴張に伴れ生産高増加しつゝあり昭和三年度に於ては鹽田總面積六千九百七十町歩（内邦人經營五千三百六十九町歩華人千六百三町歩）生産高は邦人側二億七千百餘斤、華人側一億四千餘萬斤に上り

内地方面 に約四億斤近くを輸出し更に二年前より漁業用として樺太沿海州方面へも約四百萬斤を供給すると共に最近に至つては三井等の手を通じて南支、印度方面まで進出しつゝあり、之に伴ひ現在の移輸出奬勵金の引上並に鹽税引下等が要望されるに至つたが、關東州鹽の供給過多の現状乃至は生産高及輸出の増加發展の趨勢に鑑み、從來比較的冷淡であつた關東廳に對し、緊縮内閣の新長官赴任を機として鹽業政策の確立が要望されるに至つた

原價同樣 の鹽税が課せられつゝあり且つ現在邦人側に比し優良鹽田のみに占據せる華人鹽業者に對する將來の方針、州内の開發餘地、本國需要との國策上の關係其他輸移出用加工鹽の奬勵及其の輸送關係等を考慮して關東州鹽を如何に取扱ふべきかの根本的鹽業政策を樹立せよ

云ふにあり、新長官の之に對する態度は一般に期待されてゐる

即ち關東州鹽は現在五億斤程度の産額に過ぎざるも將來十億迄は増産可能とされて居るが一方内地の

需給状況 を觀るに總消費約十五億斤に對し國内産約十一億、青島滿洲鹽合せて約四億を輸入せるも青島鹽は條約上制限せられ居り極めて少量（年約二十萬斤）に過ぎず今後人口の増加及ひ前議會の協賛を得、賠償金を以て行ひつゝある内地鹽田の整理縮少が進行するに伴ひ現在でさへ多量の輸入を見つゝあり將來愈よ消費増大が豫想される國民の食用鹽に對し食糧問題解決策の一端として濱口内閣が如何なる方針に出づるかゞ注目される

因に樺太沿海州方面漁業鹽の需要は現に年額一億斤に達してゐるが

關東州鹽 は運賃高價（噸五圓）の爲めと大部分原鹽にして漁業用に適せざる爲め英本國鹽、スペイン鹽、エジプト鹽等が進出し來り年に四、五千萬斤も輸入されつゝありと

現金賣價の引下げを希望

滿鐵生活改善委員と　大連商議委員の會見

滿鐵社員會の生活改善委員は二十七日午後二時大連商工會議所で同商議商業部委員と會見し、現金買による生活改善の主旨を述べ社員消費組合は現金買に對し五分乃至五分以上割引して販賣することゝなつたから、市中商店も之に準じて實行するやう希望するところあつたが、商業部委員會では主旨は贊成であるが市中商店の商品は原價が同一でないから一律に五分乃至五分以上を割引することは事實問題として困難な點が多く、なほ研究の餘地があり今後商工會議所に於て實際的に調査研究することゝなり右會見を終つた

現状に於て銀行が貸付金の回收を嚴重にすれば商人としては非常に苦痛であるから支拂期日に至り餘儀ない事情あるものに對し銀行は期日の延期を成るべく承諾し苛酷なる回收方法をせぬやう行政長官にこれが通達方を申請したのであつて餘裕あるものは約定通り決濟をすることは當然である

と語つたが、ダリバンクの引揚げは同行が多額の貸出しをして居る關係上支那側銀行に對して打撃を與へてゐる模樣である、尚露支紛糾の現状が依然として永續すれば各外國銀行も亦一層緊縮方針に出るから支那側に多少の倒産者を出さぬとも限らぬ状態にある

朝鮮の鹽輸入高

【京城發】七月中鮮内へ輸入された天日鹽は

▲釜山稅關管内　三百四十八萬三千斤價額二萬二千六百圓▲仁川稅關管内　六百九十七萬一千斤價額四萬四千九百圓▲新義州稅關管内　七百萬一千斤價格四萬五百圓

で輸入地國別は

▲山東省鹽　八百七十萬七千斤價格五萬七千五百圓▲關東州鹽　八百六十六萬七千斤價格五萬四百圓　合計　一千七百四十五萬五千斤價格十萬八千圓

で一月以降累計一億三千百九十六萬三千斤前年同期に比し二千六百十五萬斤となり輸入漸減を示してゐる

補助航路

阿波共同と高橋合資

關東廳では今回阿波共同汽船、並びに高橋合資會社に對し昭和四年度において補助航路として指定する事となり、阿波共同に對しては一萬九百圓を、高橋合資に對しては三千圓を下附する事となつた、前者は第一航路を大連―芝罘―仁川―芝罘―大連（毎月六回以上）第二航路大連―芝罘―青島―芝罘―大連（毎月六回以上）第一航路には第二十六共同丸を使用、第二航路には第十六共同丸、第二十一共同丸を使用、後者は誠義丸にて大連芝罘間（一ヶ月十三回）いづれも指定船舶を變更又は代船を使用する時に關東長官の許可を受け又航海回數を減少する時は同樣長官の許可を受ける事等が注意事項として擧げられてゐる

て僅に千五百店に達する見込み、資本金は前回決定の四百萬圓より増加すべく、新會社設立は來月上旬發起人を詮衡約三週間に亙り營益調査を經た後、發起人總會は十月に入るものと見られるから新會社成立は順調に進捗するとしても十一月上旬になるだらうと

大汽株主總會

廿八日本社で

大連汽船會社では廿八日午後三時から本社内に於て定時株主總會を開催し當期決算報告を附議するはず

北滿露國機關への鮮銀融資は完濟す

合計約三百五十萬圓

鮮銀ハルビン支店の同地露國貿易局ならびに極東銀行に對する融資は相當多額に上つてゐたので、露支時局勃發以來その成行如何は財界一部からすこぶる注目されると共に最近鮮銀總裁の進退問題に關聯しても兎角の宣傳が行はれてゐたが、貿易局に對する貸金殘高百五十萬圓は同局閉鎖と同時に回收され、さらに極東銀行に對する分約二百萬圓は廿二日全部返濟された旨本店に報告があつた、これで鮮銀の北滿における露國機關に對する融資は全部回收された譯であるが右につき武安大連支店長は左の通り語る

ハルビン支店の露國機關に對する貸付金の回收云々は本店に報告されたもので當支店は何にも聞いてゐない、しかし

露國貿易局 にせよ極東銀行にせよ有力な機關であるしこれも惡くて閉鎖したのでなく政策上一時營業を中止したといふ意味のものであるから融資の回收についても毫も不安はない無論完全に解決ついたものであらう。露國側經濟機關の閉鎖は支那側の壓迫によることであるが、支那銀行が肩替りして資金を融通し得る能力がない現状において一番困るのは支那商人であらう、いつもながら經濟問題に關して無理解な支那のやり口には困つたものだ

店は既定の千二百三十店、通運系統八十店、これに追隨する者百店合計千四百十店は確實で更に清津會寧、關東線及び全南線等を合し

製鋼所問題商議聯合へ提案

鞍山商工會議所から

第十一回滿洲商工會議所聯合會の各地からの議案は既報の如くであるが、鞍山からは第九號議案として

製鋼所を滿洲に建設方當局に請願の件

右は鞍山經濟研究會及鞍山實業協會の聲明書の内容と同一である、上提し再審議しては如何と七會議所委員に廿六日附で提案した、該聯合會列席の各地代表は奉天三谷副會頭、野添書記長、撫順山上會長、森山、鐵嶺楠太會長、松崎、安東高橋會長、上田書記長、鞍山加藤會長、阪元、神田の兩氏、大連商議横田副會頭、篠崎書記長等で長春、遼陽は未定であるが、開原、四平街は參加せぬに決定した尚滿鐵本社からは田村興業部長、武部商工課長の兩氏出席すると

交換のために紙幣を收縮

モラトリアム實施説は其誤傳　北滿金融界の打撃

【ハルビン特電二十八日發】ハルビンにモラトリアムを實施するとの説は支那當局を却つて驚かし張行政長官は全然之を否認してゐるが、其眞相は

從來ハルビン大洋は銀行が濱江（傅家甸）に在つた爲、蔡道尹の建言により發行額の制限をして來たのであるが、今後は行政長官が之を管理し、新發行の紙幣に長官がサインすることになり之がためハルビンの各種支那側銀行が發行せる紙幣を今回全部行政長官のサインしある紙幣に交換する爲、各銀行をして今後三ケ月以内に愈よ新紙幣と交換する旨を布達した、之が爲各銀行が發行せる紙幣を一時收縮するため緊縮方針に出たのであつた、但し新紙幣の交換で金融界に著しい影響を來してゐることは事實である

モラトリアム實施せず

華商の金融難甚し

【哈爾賓發】哈爾賓に支那側はモラトリアムを實施すると云ふ噂が傳へられたので哈市商工會議所では哈爾賓總商會長張廷閣氏を訪問し眞僞をたしかめた所氏はモラトリアムを實施するが如き事は全然ない但し當地經濟界の

運合會社成立は十一月上旬頃か

十月に發起人總會

【京城發】既報の如く運合問題はいよいよ當面の解決を見た形で二十四日通運側より鐵道局に對して正式通告をなすと共に運輸と合同で來局中の各運輸所長を招待する等頗る順調であるが、新會社加入

地の酒造組合とは商賣敵の間柄

灘の銘酒を取扱ふ酒屋サン達の集り　◇……大連酒商組合（上）

同じ酒を取扱ふ商賣であつても先に紹介した關東州酒造組合と、わが大連酒商組合とは利害立場を異にした、言はば商賣敵の間柄だ近ごろ地酒の醸良化に「酒は灘の銘酒に限る」と高を括つては居られなくなつた、しかし古い文句とは云ひながら「酒なくて何んの己が櫻かな」と嗜酒家が賑かない鬱陶に隔然たる境地を味はふには「灘の銘酒」でないと、まだ何うもピツタリと來ないやうだ。

◇

この灘の銘酒が一ケ年どれほど大連に輸入されるか――大連民政署の調べによると昨年中ザット七千六百石、これを四斗五升入の樽に詰めると一萬七千樽である、銘酒の種類は白鶴、澤の鶴、白鹿、大關、加茂鶴、忠勇、櫻正宗、櫻菊、白菊、菊正宗、東洋一、白雪と、いつたもの、このうち一番多く飲まれるのは白鶴、白鹿、菊正宗である、釀造元は殆ど灘であるが中には廣島、伏見のものもある、これ等所謂銘酒を取扱ふ店は、釀造元直營の支店か、一手販賣の代理店に限られ、一般商品の如く到る處の商店で取扱つてはゐない。大連にはこの銘酒を取扱ふ店が十一軒ある、即ち大連酒商組合はそれ等の酒屋サン達の團體である。

◇

滿洲――大連に於ける現在のやうな酒屋の歴史は可成古い、日露戰爭當時、酒保として軍隊に從つて來た人達が戰後、大連に居殘つて酒店を開いたに始まる、何んでも當時數軒の酒店で「聚觀會」を組織したことがあるが中途解散し大正七、八年の好景氣に今は五、六十圓の銘酒一樽が一躍百二、三十圓に暴騰し當業者の競爭も激しくなつて市價が混亂状態に陷つた時、競爭防止と値段協定の必要から、大連酒商組合が再生したのが大正八年三月、爾來何事にも協同一致の步調をとり、赤い灯青い灯のカフエー出現によつて受ける洋酒の脅威、安直で經濟的な支那酒との對抗、近ごろ頭をもたげて來た地酒との競爭等々に「酒は灘」の地盤擁護に懸命である。

◇

酒の賣行きは景氣の如何で消長のあることは一般商品と少しも變らない、それに時季によつて賣行きが違ふ、五月から八月までは閑散期、九月から四月までが繁忙期である、從つて釀造元では閑散期中腐敗を防ぐため本火といつて酒を沸騰させ樽詰にして輸出する、だから五月から八月までの間、消費者は何んのことはない燗冷しを飲まされてゐる譯だ、九月から四月までは冷卸といつて醇良な純粹な灘の銘酒が市場に賣出される。

◇

灘の銘酒は本場の内地より大連の方が安く飲まれる、これは關稅關係によるものだが大連の酒屋サンが正直であつたなら、一升につき必ず内地より二、三十錢は安くならねばならぬ、それがさうでないのは一體何う云ふ譯か、それは先づ酒屋サンの値段協定から覗いて見よう。

黄塵

◇……その議題が精々「共產黨の取締り」や「銀券發行」の建議案程度では心細い。

◇……鞍山、例の製鋼所設置を商議聯合會へ、商議大會したら全滿の輿論と云ふなるのかな。

◇……關東廳の新財務課長は源田松三――ではない源田松三治――むろん拓務大臣の令息んでもないが卅一歳の青年は頼母しい。

◇……滿洲財界にはいろいろ難問題が殘つて居る。

◇……直接の監督官として大いに腕のある所を見せて貰ひ度いもの。

◇……露支紛爭の飛沫、支那側業者並に特產商に恐慌を來たしむ。

◇……恐し毛を吹いて瑕を求めるの尤であらう。

市況

特產

銀弱含みで大豆強調

大豆は銀弱含みの爲買物あり強調を呈し、高粱は受渡期接近の爲各々辿り他は[illegible]

◇定期前場（銀建）

◇現物前場（銀建）

定期喰合高（前日對比較△印）

錢鈔

材料氣迷ひに銀價軟弱

今朝の海外材料としては倫敦銀塊は二十四片八分の三と（十六分の一高）先物は廿四片二分の一と[illegible]

◇定期取引（單位銭）

商品

前場

株式

内地振りに當市小締り

市場電報

銀塊及爲替

棉花

大阪株式

東京株式

大阪期米

東京期米

大阪綿糸

大阪棉花

神戸豆粕

横濱生糸

印度麻袋

株

豆

銀

鈔票の受渡

二十八日限り

奥地市況（廿八日前場）

特產

▲大豆

錢鈔

上海爲替情報

手形交換高（廿八日）

上海標金

爲替相場（廿八日正午）

正金（銀勘定）

正金（金勘定）

鮮銀（金勘定）

平安異香 (94)

葉多默太郎作　中一彌畫

大悲山(五)

高倉の宮は入相による運命の暗示を受けて、決然意を決せられた。

新宮の十郎義盛といふ男を藏人にして行家と改名させ、これに命令を持たせて東國へ發向させた。が熊野の別當で湛增といふものがこれを知り、淸盛の下へ內通したので忽ち手が廻つたのだが、檢非違使廳に頼政の嫡子伊豆守仲綱が出仕してゐたので、仲綱は驚いてこの事を頼政に通じた。

時は治承四年の五月、十五日に頼政は息子から計畫露見の報を得たので、即刻宮の下へ急使を遣はして、

「とにかく三井寺へ御忍びを。我々はすぐ後を追ひ參らすべし」

と云つた。

で、宮は高倉の宮を忍び出ようとなさつたが、既に檢非違使廳のものらしい眼が、向ふの築地の蔭や路傍の溝の中から見張つてゐるやうなので、ありのまゝの姿でお出でになることは出來ない。

そこで宮は髮を解いて亂し、女裝に市女笠を深くしてお出かけになつた。

宗信といふ家來がお供役になつて傘を持ち、童が一人袋を持つて隨つたので、侍女が里へでも歸るか使ひにでも行くとしか見えない。

それで無事に高倉の宮を離れて行つたが、高倉を北へ出端れた所に溝があつて、それへ來ると、宮がうつかり大股に溝を跳び越えられたので宗信が、

「あつ」

といつた。

思はず布衣の下に隱した太刀に手をかけてあたりを見廻したが、百姓が一人、

「あられもない。はしたない女房ぢや」

と呟きながら行き過ぎたばかりで、他に訝りの眼を向けてゐるものもないのでほつとした。

平氏方が高倉へ討手を向けたのは翌日の夜だつた。

ところが皮肉にも、その討手の中に頼政の息子の仲綱や兼綱が加へられてゐた。まつたく平家の方では、高倉の宮の一件は源三位頼政が加擔してゐるとは夢にも知らないためだ。

だから討手の仲綱や兼綱が親父の頼政と一緒に權を脫出して三井寺へ走つたと分つた時には、流石の淸盛も呆氣にとられて、

「あいつが、あいつが」

といつた。

三井寺は宮を迎へて早速合戰の用意にかゝつた。まづ比叡山や南都へ廻狀をまはして、宮に御加擔を勸誘した。てつきり返事を聞くまでもあるまいと思つてゐたのだが、山門も南都も躊躇して應じない。そこに手違ひの第一があつた。第二に三井寺にも叉淸盛に內通するものがあつて、詮議が定まらなかつた。

そのうちに平氏の追討軍が迫つて來さうになる。

宮はこゝにもゐたゝまらず、亡命の寂しさと哀しさとを胸に抱き天位に登るべき御入相の佗しい結果を思ひながら、馬に召して南都へ向はれた。

が心身の疲勞極度に達し、馬上に居睡りをなさつて五六度も御落馬なさる始末。

頼政父子は、これまでだと思つた。

氏再興の苦心の酬ひを後の世に期待しながら、宇治に最後を飾つて戰死した。

これが宇治合戰の大綱である。話の本筋ではないが、此合戰がこの小說の背景になつてくる。

「お頭目、高麗の三郎どんに仁引の喜藏どんが只今歸城」

と話は本筋にかへつて、乾兒の一人が扉の外で大聲に怒鳴つた。

同時に扉が開いて、入つて來たのは高麗の三郎と仁引の喜藏だ。

ふとそこにゐる女面の小太郎と顏をあはすと、高麗の三郎、毛深い男で少時見ない間に猥みたいになつた顏をにんまりして、懷しげな眼をして、

「小太郎か。おぬしも今歸つたばかりださうだな」

いひながら前を通つて帳臺の前に指をつくのだつた。

映畫と演藝

東亞キネマを四十萬圓で買收す

昨年末の小笠前專務追出し事件に端を發して、幾度か瀕死を傳へられ、白水專務等に事務執行の停止を命じて代つた八千代生命も經營意の如くならず、昨今或は今井孝吉氏が乘つ取るとか、或は撮影所を閉鎖するとか、所說紛々として全く收拾すべからざる混亂狀態に陷つてゐた東亞キネマはこの八月末の定時株主總會を目前に控へて愈々何等かの策を講じなければならぬことになり、主腦者達は八方奔走中であつたが、田中丸代行取締役等の斡旋によりこの程伏見の岡田一郎氏が出資してこれを買收することに話が纏まり、廿日夕八千代生命の奥平伯社長、專務宮國太郎氏の入洛をまつて木屋町河村樓で調印を了した、買收額は四十萬圓で傳へられる處に依れば今後八千代生命と聯立內閣の形式を採り田中丸氏專務となり八千代より取締役、監査役各一名が入り岡田氏側よりは岡田氏の外に二、三の人が重役になる模樣である

山岳映畫全盛

日活の田阪具隆監督が淺岡信夫主演入江たか子、梁地滾子共演で製作中の「雲の王座」松竹蒲田の牛原虚彦監督、鈴木傳明の主演「山の凱歌」マキノ提供勝見の昭和猶次喜太「嶽部探峽」はいづれも山を背景にした映畫であるが九月には三映畫とも相前後して封切されるであらう

▽感激時代△　なき松井千枝子の憶ひ出の映畫、感激時代の一場面、松井千枝子と田中絹代

明石潮が訴訟提起
山ノ手劇場紛糾

【東京二十七日發電】澤正歿後チヤンバラ劇の人氣を一身に集めてゐた明石潮一座は山ノ手劇場が去る六月より一年間出演の契約を無視し松竹キネマと契約し同劇場を映畫劇場とせんとなし八月初め明石一座を追出したので明石は二十七日同劇場主と松竹を相手取り同劇場出演契約履行出演妨害排除の訴訟を提起した

チヤツプリンの「街の灯」は來春公開

「ロンドンを明るくする方法は?」との問に「私の「街の灯」を上映すれば……」と答へた、と傳へられて居る、チヤーレス、チヤツプリンの「街の灯」は昨年の秋に開始され、本年の正月には公開される筈であつたが、病氣や其他種々な事件が起きて來春公開される事にならうと

映畫界東西

◇經育で舞臺監督、俳優として評判のよい、フランク、マコマツクは今回ユニヴアーサル社に監督として入社した

◇アドルフ、メンジヨウは目下巴里にゐるが、近く再び米國へ赴く豫定であると

◇スペインのオペラ歌手ドン、ジヨセ、モジエカはフオツクスに入社し發聲映畫で活躍する

◇グロリヤ、スワンソンは去る二日ニユーヨークを去つて歐洲の旅に赴いた

◇ジヤツク、マルホールとドロシー、マケールはFナショナル社に戻り、マルホールは「ダーク、スワン」マケールは「ザ、ウーマンオンザ、ジユライ」の撮影に着手した

滿洲日報
東京出版協會員發行
新刊 重版 圖書案内
露西亞語讀本 大倉書店
日本動物圖鑑 北隆館
校訂 日本永代藏 明治書院
高等學校 専門學校 入學試驗問題全集 山海堂編輯部
日本植物志 大日本圖書株式會社
畜産教科書 富山房
増補改版 わかる幾何學 高岡本店
改訂増補 株式會社經濟論 富山房
體育と競技 目黒書店
マクラメレース 松邑三松堂
世界教育名著叢書 文教書院
分析化學表彙 厚生閣書店
最新園藝教科書 富山房
正隆銀行 頭取 安田善四郎
電話番號 大タクの
蜂ブドー酒
先づ此一杯を！
"WAIKIKI" BRAND
HAWAIIAN
PINE-APPLE
ワイキキ印パインアツプル
特約卸問屋
資本金壹千萬圓
株式會社 滿洲銀行
頭取 村井啓太郎
支店所在地
三井保險
火災、海上、運送、自動車
三井物産株式會社 大連支店
富士モートル
蘆田洋行
資本金 壹億圓（全額拂込濟）
積立金 壹億五百五十萬圓
本店 横濱市
横濱正金銀行 大連支店
大原式羽毛蒲團購買會募集
大原商會大連支店
御客様本位 十ヶ月月賦
エレクトラ裝置 ジユラツシア蓄音器
大連浪速町角 榮商會
入院隨意
西田内科醫院
大連市岩狹町（越後町角）
西田英雄
電話七五七五番
湖界の權威
星牌糊
文化糊
新學期開始
九月一日
學ぶには良校を撰べ
上以圓千三收年
自動車を學べ
大連自動車學校
衛生工事の御用命は
高石商會
新刊 最新刊
大阪屋號書店
滿書堂書籍部
赤穗浪士
建設者

現内閣の緊縮政策を全國民に徹底さす

濱口首相のリーフレット　昨日全國戸毎に配布

【東京二十八日發電】濱口首相は現内閣の緊縮政策を全國民に徹底せしめ且つ最近反對黨の逆宣傳に依る地方民の誤解を一掃するため二千八百三十萬枚のリーフレットを各市町村を通じ全國津々浦々の各戸毎に配布することゝなつた

全國民に愬ふ

財界の不況が長きに亘つて深刻を極めたるが

[illegible]

明日伸びんが爲めに今日縮むのであります之

[illegible]…は現に率先して財政の整理緊縮…ら政府の財政も國民經濟の全般…ませぬ、從つて國民全體が協力…以つて貯蓄の増加を圖り始めて…つて國力の充實伸張を期する事…は素より最終の目的ではありま…堅固にし國民經濟の根柢を培養…作らんが爲めであります…のため暫らく之を忍ぶ勇氣がな…協力して難局打開のため努力せ…政府の爲めではありませぬ、實…全體の爲めであります

總理大臣　濱口雄幸（自署）

消費を節約して事業の基礎を鞏固にし貯蓄を

…民生活の實際を見れ…の財政も却つて膨脹…て收支の均衡を保つて…總額は次第に増加し今…二十億に上ると云ふ現…此儘では到底立行く筈…決心を以て財政の整理…て一億四千七百萬圓の…成に當つても出來得る…國債についても之が…減少するの計畫を立…緊縮に努めつゝあるの…國民諸君に於ても克く…る限り。

…増加し將來の發展に資せらるゝやう努められんことを望むのであります、斯くして財政の緊縮と消費の節約とが充分に實行せらるゝに至りますならば、茲に始めて經濟立直し、國民生活安定の必要條件であり且つ財界年來の懸案たる金輸出の解禁を斷行することが出來るのであります、我國は世界大戰當時の非常措置として金の輸出禁止を行ひ既に十二年を經て居ります、之がため爲替相場は動搖甚だしく通貨及び物價の自然の調節を妨げられ且つ産業貿易の堅實なる發達を阻害せられ公私經濟の膨脹と相俟つて財界今日の不安の狀態を惹起してゐることは諸君の御承知の通りであります、諸外國に於ては戰後の疲弊甚だしきものありしにかゝはらず、官民一致非常なる決心を以て財制の整理と消費の節約とに努め相次いで金の解禁を斷行し貨幣制度の基礎を確立して財界を常道に復せしめたのでありまして今日の所未だ金の解禁を行はざる國は我々を除いては僅か二、三の小國に過ぎないのであります故に我國としては此際

萬難を排して一日も速に金の解禁を斷行して

國際經濟の常態に復し産業貿易の健全なる發達を圖り以て國運の進展に資することが刻下の急務であると深く信ずるのであります併しながら金解禁は何等の準備なく卒然として之を行ふ時は解禁當時は固より解禁後に於ても經濟界に容易ならざる影響を與へるのであります、故に之が準備として先づ以て公私の經濟を極力緊縮し物價の下落及び輸入超過の減少を圖り其結果として爲替相場をして徐々に回復せしむることが最も必要であります、國民經濟の立直しが焦眉の急務であることは論を俟たぬ、而して此目的を達せんとするには公私經濟の緊縮節約を圖り金解禁を斷行するよ

國民精神を作興し國力を培養する

社會教育主事會議で決定した地方教化動員實施案

【東京二十七日發電】文部省の社會教育主事會議は二十七日本省會議室で前日に引續き行はれ地方教化動員實施案については

一、國體觀念を明瞭にし國民精神を作興する

二、經濟生活の改善を圖り國力を培養する

を目的とし此のため

一、本運動を純眞な社會教化の立場に立ち

二、各參加團體の自發的活動に俟ち

三、且つ恒久的實踐を主とする

四、國民生活改善は多岐に亘るを避け主要事項に主力を注ぐ

五、公私經濟緊縮運動と連絡提携を方針とし

なほ其の實現のため左記方法を取るに決し午後四時散會した

一、道府縣郡市町村にては本運動に關係ある各種團體代表者を網羅する教化總動員委員會を組織する

二、各種團體に左記事項の實施を獎勵する

イ、實行事項申合せ

ロ、講演會

ハ、講習會

ニ、映畫並に音樂會

ホ、パンフレット、ポスターの配付

ヘ、展覽會

ト、論文詩歌標語の募集

チ、篤行者の團體表彰、事蹟調査發表

リ、十月二日、五日の遷宮式當日全國々民國旗掲揚に遙拜實行

ヌ、右講演の際は國歌を合唱すること

榮轉した人々

滿洲財界に貢献した　阪谷希一氏

關東廳財務課長から今度拓務省文書課長に榮轉した阪谷希一氏は來月十日頃離滿赴任するが氏は大正三年東大政治科の出身で同年日本銀行に入り本支店各地を遍歷、大正十三年九月時の兒玉長官に懇され初めて關東廳財務課理事官として着任し十四年十月部制改革と同時に西山部長の下に事務官に昇進課長となり爾來不況時の滿洲財界の整理立直しを期して大いに貢献するところがあつた、尚最近では在滿小商業者の爲めに金融組合等を新設し銀行も第一次整理が濟んで漸く第二期に移りこれからといふところまで進んだ折とて今般の轉任は全滿金融商工業者間には非常に惜まれてゐる

卅一歳の　源田松三氏

拓務省に榮轉した阪谷課長の後を襲ふた新任關東長財務課長源田松三氏は大正十二年東大政治科出の俊才で驚く勿れ本年三十一歳の若手課長である、卒業と同時に大藏省理財局國庫課に任官し翌年は早くも札幌税務署長となつたが一昨年一月現西山部長に懇込まれて無理に來滿財務課事務官に進み明晰敏なる氏はかくて今回更に課長の椅子をうけつぎ大いに前途を囑望されてゐる

關東廳の生字引　富田啓吉氏

關東廳秘書課理事官富田啓吉氏はこんど大連民政署庶務課長に榮轉近く事務引繼を濟まして赴任の筈であるが氏が初めて關東廳に入つたのは去る明治三十九年――大島都督の時代で爾來今日まで廿有四年六代の都督並に四代の長官に仕へた、而も此長い間を通じて秘書課勤務を以て貫き給仕同様の位置から遂に先年理事官に拔擢秘書課主任として長官を初め各課樞要事務に對し一絲亂さぬ勤勉と實力を見せてゐた近頃稀なる立志傳中の一人で關東廳生き字引の稱さへある人物であるが今回の轉任はその意味に於ては非常に惜まれてゐる

出動部隊見送り

商工會に通達

【奉天特電二十八日發】張學良氏は今回王樹常氏を東北第一軍長兼前敵總指揮に任じ綏分城に、又胡毓坤氏を東北第二軍長兼前敵總指揮に任じ滿洲里方面に駐屯せしめることゝなり兩氏は九月一、二兩日瀋陽驛から北寧線及び打通線經由任地へ向ふことゝなつたので、省城商工會に命じ一般會議を開き協議の結果九月一、二兩日市民は小旗を翳して瀋陽驛で見送りをなすやう命じた

奉天商工總會決定事項

【奉天特電二十八日發】省城商工總會では廿七日午前十時から同會に關係あるもの及び主なる商人約二百名を招集し協議の結果左の各項を決定し正午散會した

一、九月一、二兩日の出征軍に對し見送りをなすこと

二、征露軍に對し慰問品を送ること

三、税捐局の徵税を減税せしめること

四、城内水道及び下水工事に對する下調べをなすこと

監禁露人の救濟費十萬金留

ドイツ領事に依託

【ハルビン二十七日發電】北滿に監禁中の東鐵赤露人一千名（内女十三、子供十名）に對する支那側の待遇は非衞生的且つ苛酷を極め北滿各國人間にも漸く人道上の問題として之を憤慨してゐるが、モスクワ政府は二十七日ハルビンドイツ領事宛監禁赤露人同家族の救濟費として十萬金ルーブルを送金して來た

支那讓歩の事情と勞農側の態度觀測

交渉は時日を要せん

南京政府は西北實力者の反蔣氣勢釀成に禍され、張學良氏に對し寛大な條件で露支交渉を開始し和平解決に努力せよと電命したといふが之に對し某事情通は語る

さうした氣運に傾きつゝある、それは恐らく事實であらうと思はれる露支時局を好機として馮氏が反蔣氣勢を釀成する事も想像の出來ることで、また南京政府が折角の

和平統一

を妨げられるの際とて未だ是れが對策を討究する暇が無い樣である

▼　▲

を怖れることもあり得べきことである、滿洲里及ポグラニチナヤ兩國境に於ける兩國各三萬餘の兵力は實戰となれば支那側は新兵器と訓練のある勞農軍に對し先づ勝算はないものと見ねばならない、こんな事情で露支兩國とも火蓋を切るやうな意志は最初からあらうとは思はれてゐなかつた、所謂プロパカンダの戰爭といつた形で奉天側は對露政策と對南政府間に板挾みになり寧ろ苦い立場であつたかに思はれる、然し

和平解決

の交渉となれば東支鐵道を原狀に恢復せしむ、露人役員を復職せしむといふだけでなくより以上相當強硬な要求が持出されはせぬであらうか、北京に於ける王正廷、カラハン協約即ち東支沿線に於ける治外法權撤廢其他の大綱は決定せしも細目が決定されず、奉露協約として協議されるに至つたが之も遂に纏まらず、支那側は一時該協約を放棄すると東支の實權回收を企てたといふ關係があるので、ロシヤ側は假りに泣いつたもの、此有耶無耶の間に東支の原狀回復となつても絕對的保證がない以上は應ずるまいと思はれるから、カラハン協約の放棄即ち

治外法權

の回復も當然要求することにならう、所謂東支鐵道がカラハン協約による經濟鐵道ではロシヤが滿足を與へないことは今次の關係から推して見ても明かである、だから和平解決の交渉も相當日子を要するであらうが、支那側が果して此處までよく讓步し得るか否かは不明だが、若し兩國の交渉が開始されると其成行は誠に興味あるものであらう

駐日勞農大使　幣原外相を訪問

【東京二十八日發電】勞農大使トロヤノフスキー氏は二十八日午後二時四十五分外務省に幣原外相を訪ひ露支關係につき懇談した

勞農國籍教員が頻々辭職を申出

支那側は許可せず

【ハルビン特電二十八日發】教育廳長張國忱氏は教育方面の現狀其他に就き語る

中央及各省の我國教育に關しては第二の問題として自分は特別區の教育に服務してゐるが、最近は第二女子中學校の建設問題と、小學校教員の檢定試驗制度の實施

民衆教育

を積極的に行ふにあり、ロシア人の教育に關してはソウエートと白系露人との二つあり、前者の國家主義は我國と根本に於て相容れないものがあるから其教科書に對しては極力注意を拂ひ豫じめ檢閲を施行してから使用を許し若し赤化宣傳の行爲ありや否やを審査し其性質のものは一切使用を禁止してゐる――ソウエート關係即ち其國籍を有する教職員は東鐵問題の發生以來頻に辭職を申請して來るが未だ許可はしてをらぬ然し絕對辭職するものは其

後任人物

に就いて現狀の維持できるやう努めつゝあることは今の處少しも考へてをらぬが、若し露支兩國が不幸交戰狀態になれば當然閉校せねばならぬ、現在ソウエート國籍を有する教職員は約四百五十名で未だ東鐵沿線の各地に依然として其儘にある

と、因に教育廳には毎日多數のソウエート教員の辭職を申請し來り之に代るべき白系ロシア人の就職希望者が殺到し赤白の呉越同舟で奇觀を呈してゐる

西藏を使嗾し西康を攻略

英印藏聯合軍が進擊　原地同收を理由として

【天津特信】四川成都よりの消息に英人が西藏兵を使嗾して西康一帶を攻略中であるとの報があり打箭鑪よりの歸客の話に據れば前月藏康の際英兵印度兵約五萬が藏兵と共に積極的に西康を侵略する爲進擊して來たが西康の守備軍過少のため防禦出來ず半月以内に英印藏聯合軍は察木多に前進し西康の大半は英軍の奪取する處となつた此事件に對し四川軍は積極的に西康を援助せないため日ならず西康は全く英軍に奪略されるより外ない狀況に在る

▼　▲

此事件の發生に就いて藏人の話によれば西康は現在十餘縣あり元來西藏の一部であつたが、趙爾豐が入藏の時に四川の管轄にしたものであつて藏人は原地回收に藉口し今次の行動に出てたのであるが英人が裏面に於て猛烈に教唆した結果でもある從來英人は西康二藏を單なる勢力範圍と看なし一切の路礦交通等の行政施設に對しては積極的に活動をして居らなんだが最近に至つては政治經營時期より軍事經營時期に轉じ急激に侵略を爲すに至つたものと考へられる

▼　▲

最近の消息に據れば英人が藏靈を使嗾し兵力を以て西康の疆土を侵略するの警報が頻繁であり、西康の旅京人士は前日中央及黨部に夫々速かに應援の方法を講ぜられたいと請願したが中央は中原の多事の際とて未だ是れが對策を討究する暇が無い樣である

▼　▲

然るに最近打箭鑪よりの歸客の述ぶる所に據れば最近英兵は大擧來襲し印度兵五萬の大軍を以てチベットより北進し藏軍十餘萬と協力して西康を略取し旬日ならずして既に察爾多地方に進擊し西康全境は大半英人の掌中に收められたと謂ふ事である

▼　▲

今次の動亂の原因に就いて聞く處に依れば藏人は西康現在の所轄する十餘縣境は元は前藏の地域であり今次の行動は原地回收のためであると稱して居るが英人が之を慫慂し之に協力し此變事を利用して西陲の變亂を惹起したものである

素質の惡い吉林軍ロシア人學校占領

内外人に對して暴行を働き　富豪に軍費負擔命令

【ハルビン二十七日發電】當地に到着した吉林軍はロシア人の學校を占領して之に分宿せるため授業は中止されるに至つた、又素質極めて劣惡な支那兵は内外人に暴行を加へつゝあり、食糧牛馬人夫の徵發頻々として行はれ住民は支那兵を蛇蝎の如く忌み嫌つてゐる

一方支那軍憲は既に三百餘名の富豪に對し一人當り五千元の負擔を命じ軍費捻出に努めてゐる

關内駐屯の奉軍國境へ出動開始

廿七日より打通線で

【奉天特電二十八日發】關内駐屯の騎兵第三旅は廿七日より打通線により昂々溪に向つた尚關内駐屯の奉天軍第五旅三千二百名第四旅一千名は廿六日昂々溪に到着更に第五旅七百四十名第四旅一千三百名も同様昂々溪に向つて出發した

朱紹陽氏　昨日南京に向ふ

【北平廿七日發電】露支交渉南京代表朱紹陽氏は今朝奉天より來平午後二時當地發急遽南京に向つた

佐分利公使正式發令

【東京二十八日發電】二十八日左の通り發令された

任特使全權公使　大使館參事官　佐分利貞男

支那駐箚被仰付

皇后宮還啓

【東京二十八日發電】皇后陛下は照宮樣御同伴三月振りにて本日午前十時四十五分東京驛着列車にて還啓あらせられた

如賀山局長　膠濟車輛主任に

【東京二十八日發電】加賀山工務局長は膠濟鐵路車輛主任就任のため三十日當地發赴任すると

樞府顧問官後任交渉

【東京二十八日發電】元文部大臣貴族院議員岡田良平氏は本日午前八時半久保山の私邸に濱口首相を訪ひ會談一時間にして辭去したが右は缺員中の樞密顧問官二名の補

内地では一般に緊縮政策を謳歌

滿鐵經理部　中山氏土產話

滿鐵經理部勤務中山正三郎氏は病氣靜養のため別府滯在中であつたが二十六日入港のうらる丸にて歸任し内地近況について大要左の如く語る

東京に於ける用務を濟ましてから別府に靜養してゐたが、其間中國四國及九州の一部を視察した胃腸の惡い自分には之も一つの保養であつたが

内地一帶

は大體不況で相當に困憊してゐるやうである、緊縮内閣に對しては農家としては米が下るので打擊もあらうが、對外爲替の上向で生絲が逆に高値維持し秋繭を控えてゐる際とて非常に喜ばれ、緊縮内閣も別に非難されてないやうであつた、外國貿易者にとつては現狀が歡迎されてゐるやうだけれど緊縮政策も暫く辛抱すれば物價は安くなり從つて製產費も下り勞銀も低下するであらうから

失職者が

漸次緩和されて行くことにならうと思はれる、内地の現狀から滿洲を見ると在滿者は贅澤過ぎるほど總てに恵まれ不平や不滿など絕對に云へたものでない物質的にも精神的にもこんなに好い土地は内地の何處にも見出せないであらうと思つた

大調査會設置を與黨領袖が力說

濱口首相裁斷を躊躇

【東京二十八日發電】濱口首相は現存三大審議會の外に國家永遠の大策を審議すべき大調査會を設置する意嚮を持つてゐたが、與黨の中堅少壯組に依り人の爲めに官を設くる動機の不純を咎められ必要なき議員の爲め國費を削くは現内閣の緊縮方針に反することで調査會の設置は一時立消えとなつたが最近與黨の顧問級にして調査會委員たる期待を持つ人々に依つて三審議會は當面の問題で限定され且つ短期間内のものであるが、調査會は國家永遠の大計を審議すべきもので金解禁斷行につれ益々必要で經費も多額を要するものでないから俗流の偏見を顧慮せず實現に邁進せよとの義が盛んとなり濱口首相も兩論の間に裁斷を躊躇してゐる模樣で其成行は注目されてゐる

高木銀行支拂停止

【長崎二十八日發電】長崎市東濱町高木銀行（資本金百萬圓（?））本日突然三週間預金支拂を停止した支拂停止の原因は同行の内容不良を察知した預金者が定期預金を引出し始めた爲で頭取高木義貫氏は大村眞珠會社、長崎電氣軌道等の重役を兼ね縞商にて鑛川を經營して居り私財三百萬圓を有してゐる高木氏は支拂停止に就て左の如く語つた

世間を騷がして誠に申譯がありません、私財全部を投げ出すも預金者に迷惑 及ばぬ樣可及的整理をし度いと思ひますが今差の場合で多くを語る事は出來ません

全國各學校の武道大會開催

各府縣で豫選を行ふ　文部大臣から優勝旗

【東京二十七日發電】小橋文相は就任以來體育運動の振興に非常に重きを置いてゐるが、今回更に我國特有の柔劍道を振興せしむるため文部省が主催となり全國各官公私立の中等、専門、高等各學校及び大學の武道大會を毎年一回開催することに決定目下其の準備を進めてゐる、大體各府縣にて豫選を行ひ次で本大會を行ふもので最優勝者には文部大臣の優勝旗を授與することになつてゐる

山東地方の勞働狀況

田代氏視察談

二十七日午後入港の大連丸で山東における勞働狀況調査中であつた本溪湖煤鐵公司田代巳代治氏が歸任した、自分は主として山東における鐵路沿線の狀況を視察したものであるが、あの地方における排日風潮は甚だしいといふ程でもないが、日本商品を購入したものに對しては罰が變な目で見るといふ位の程度である例の青島における工場閉鎖は恐らくまだ續くであらうと思ふ、支那側でもかなりこれには手古摺つた樣子で工人會邊りで下手に出て來た樣だが何分閉鎖が餘り永びいたので職工連が四散したからたとへ操業を再開しても職工が集らないだらうと言はれてゐる、今度民政府が馬氏を市長に任じた裏面の理由も一つにはこの邊の事を考へたものではなからうか

青島特別區市長吳子蘗氏は今回何の理由からか罷免され馮玉祥關係の馬福祥氏がこれに代つて就任した

任したが語る

東京大連間の旅客取扱ひ

愈九月十日から開始

【東京二十七日發電】日本航空輸送會社の大連線旅客輸送は九月十日から開かれることゝなり東京から大連まで一日半で空の旅が出來る、料金は東京大連間百四十五圓、内譯すれば東京より大阪三十圓、大阪より福岡三十五圓、福岡より蔚山十八圓、蔚山より京城二十二圓、京城より平壤十三圓、平壤より大連二十七圓で蔚山大連間は交互に一週間三往復である

畑軍司令官　廿八日就任挨拶

畑關東軍司令官は廿八日午後四時昭和園に於て旅大官民三百餘名を招待披露宴を開催する

厚東司令官招宴

厚東旅順要塞司令官は廿七日夕大連官民有志を電氣遊園に招待、新任披露宴を張つた

大場内務部長　來月六日赴任

關東廳高等課長から東京府内務部長に榮轉した大場鑑次郎氏は來月六日出帆のはるびん丸で出發赴任の豫定

元駐日英公使　サトー氏逝く

【ロンドン二十六日發電】元日本駐在英國公使サー、アーネスト、サトー氏は逝去した享年八十七歳氏は文久元年公使館員として來任し公使に昇任する迄半生を日本に送つた人である

大連市會　廿九日總會開會

さきに市會で附託となつた決算委員會は二十七日午後二時から開會臨時部蔵川から審議を始め普通會計から特別會計を終了し午後三時散會した、而して市會の續會は二十九日午後二時から開會の筈

滿鐵東支兩鐵　九月中換算率

九月中滿鐵東支兩鐵道間運輸に適用する換算率は左の通りである

一、滿鐵發貨物に對する

イ、東支收得額を滿鐵に於て收入する場合

換算率金一〇〇留＝一〇九圓九〇錢

ロ、滿鐵收入額を東支に於て收入する場合

換算率金一〇〇圓＝九〇留九九哥

二、東支發貨物に對する

イ、東支收得額を滿鐵に就て收入する場合

換算率金一〇〇留＝一〇九圓九〇錢

ロ、滿鐵收得額を東支に於て收入する場合

換算率金一〇〇圓＝九〇留九九哥

尚八月分と比較すれば二圓五十錢安である

安與樂椅子

大連市會、けふ二十九日、總會を續開するが四十名の議員中雄辯家は誰々といへば、まづ膽量もあり莊重にやつてのけることにおいて大内君あたりが重きをなす、併し君は即席料理をやるので内容の吟味が乏しいとの評▲内海君も雄辯だが、少しせき込むのが玉に瑕▲金井君は膽量もタップリ、論旨も徹底さするが、醫學博士だけに、どうもゼスチュアが成つて居らぬと▲宮崎君は相當に研究もして出るらしいが惜いことには膽量が足らぬ▲小野君は形式論に落ち三段論法的な御商賣を出すので面白くない▲二村君は音調がよく整つてゐるが勝氣が足らぬ鈴木君の雄辯は場所を辨へぬの評あり▲いづれも帶に短し襷に長しであるが村田君の如き見ることの出來ぬのは大連市會を淋しくするとの世評そのまゝ。

商品　後場（出來不申）

錢鈔

定期後場（單位錢）

	寄付	高値	安値	大引
期近	九六〇	九六〇	九六二〇	九六〇
出來高	期近 三十三萬圓			

現物後場（單位錢）

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	九六〇	一三六五	一三〇〇
二時半	九六〇	一三六五	一三〇〇
三時	不申		

出來高　銀對金　五千圓　銀對洋　二千圓

神戸特產（廿八日）

	後場寄	後場引
大豆現物	七四五	[illegible]
豆粕先物	六四五	[illegible]
豆粕現物	二一八	[illegible]
先物	四五八	[illegible]
滿洲小麥	六八〇	[illegible]
豆油現物	二一〇〇	[illegible]

大阪期米

限	後場寄	後場引
八月	二九五〇	二九五一
九月	二八八〇	二八七九
十月	二七三九	[illegible]

神戸期米

限	後場寄	後場引
八月	二九五〇	二九五一
九月	二八八〇	二八七九
十月	二七三九	[illegible]

東京期米

限	後場寄	後場引
八月	二九三九	二九三〇
九月	二九〇二	二八九九
十月	二七四一	二七四二

大阪株式

限	後場寄	後場引
八月	[illegible]	[illegible]
九月	[illegible]	[illegible]
十月	[illegible]	[illegible]

東京株式（長期）

[illegible]

東京株式（短期）

[illegible]

大阪綿糸

[illegible]

横濱生糸

[illegible]

本日廳報を添ふ

滿洲日報

支那側の讓歩
當面の紛糾は解決されん

さすがの支那も、とうとう折れ出した。列國の同情はなし、この分ではロシアは依然として頑强、結局、形勢よろしからずと看て取つたものであらう。ドイツを介して、ともかくも和平解決に急ぐことになつたといふ。何よりも結構なこと。和平解決なるかなである正式交渉の會議地などは、ハルビンであらうと、またベルリンであらうと、どこであつてもよろしいまた細目は地方的に交渉するも可なり、とにかく、一日も早く、和平解決の大綱を決定し北滿の不安東支鐵道の危機を脱却せしめねばならぬ。

◇

今度の東支鐵道問題は、何といふても、その惹起には支那側の責任が多分に含まれてゐる。勿論、ロシア側には全然、責任なしといふことは出來ぬが、すくなくとも直接の責任は、實に支那側のクーデターにあつたものと斷定せざるを得ない。而して支那側は、ロシアに對する觀測を誤り、直接行動によつて占收するも、ロシアは何ら手を出し得ぬと見くびつてゐたところが、何ぞはからん、弱いと見くびつたロシアは猛然として對峙し來つた。驚いたのは支那であるが、今さら如何ともすべからず側の不平等廢約の宣傳の手前、または國際聯盟、不戰條約に加入せるを幸ひとして、第三國の干渉は勿論、居中調停をも排斥するの氣配を示し、そのうちに何とか解決の曙光もがなと願つてゐた。併し形勢は日に非なりで、如何ともすべからざるの窮境に陷つた。尤もその間にありても、あるひはドイツに、またあるひは米國などにさへ斡旋方を、それとなく懇望してゐたのであつたが、ロシア側が、頑として强硬なので、氣が氣でなく、つひに七重の膝を八重に折つて、利害關係の全然ないといふのでなく、たゞ最も稀薄なドイツに調停を依頼するのが、ロシアに對しても好都合といふので、今度のやうな急轉直下（がわから觀て）の情勢を現出するに至つたものと觀測される。

◇

かくて原狀還元といふ支那側の原則的讓歩さへ提案せらるゝならば、露支の紛糾は、恐らく和平的に解決せらるゝであらう。問題の起つた當時、公平なる第三國は、いづれもクーデター以前の原狀に還元すべきことを支那側に對し提唱したほどであり、ロシア側とても當初の主張の如く、原狀回復を以てせば、いやおういふべき筋合もないと思はれるから、紛糾に紛糾を重ねた露支の抗爭も、まづ原狀還元といふことで、大體の纒りは着くものと見られ得る。

◇

ただ併しながら、東支鐵道を仲介としての露支の抗爭は、今度のクーデター以前の原狀還元によつて、當面の問題は、あるひは解決せられるであらうけれども、それだけを以て、根本的の安定を期し得るものと做さば、それこそ大なる誤りである。露支合辨の東支鐵道なるものは、露支協定、または奉露協定などの條文によつて、簡單に處理し得られるやうな實情にあるものではない。形式的に露支折半などといふも、その折半なるものを事實の上に當て嵌めんとせんか、これまた今度のやうな紛擾の禍根を醸すること、決して尠少ではないのである。されば、大綱は頗る簡單に、これを決定することが出來るであらうけれども、いよいよ細目の交渉に入り、これを事實の上に安當ならしむるがためには、相當の骨折を必要とすることを想はしめられる。すなはちロシア帝制時代以來の歷史といふものが存在し、それがロシアの共產革命に遭遇し、かつ支那側も革命的幾變遷を經過してゐるといふのであるから、その國際的複雜化は實に想像以上なものが存するのである。

◇

されば東支鐵道の根本的安定は一朝一夕の簡單なる交渉によつて解決し得らるべしとは思はれないが、併し、すくなくとも世界の公道たる歐亞の連絡だけにても、これを東支鐵道によつて行はしめねばならぬのである。而してまた、北滿の開發は、たゞ東支鐵道を血脈としてのみ行はるゝものであるから、遲くも特產物の出廻期までには、當面の紛糾だけにても和平的に解決し置くの必要があらうと思ふ。而して吾人は最後に、今度の東支鐵道問題の體驗に鑒み、責任ある支那側の當局者が、例の小兒病的症狀から覺醒せんことを忠言するものである。

懸賞論文

滿蒙の地より母國の友へ送るの書
滿洲初等教育の現在と將來（十二）

當選作　高野運太郎

支那人の教育

支那人教育の現狀

終りに語らねばならぬものに支那人教育がある。先住民の教育は他の未開地と異り、最近民族的にも著るしく目覺めて來た支那人に對しては頗る困難であると同じに我が植民地の教育としては重大な問題でなければならぬ。現在支那人教育の機關として日本人教師が關係してゐるものに公學堂がある州内一〇校州外一六校、この外に奉天に南滿中學堂旅順に中學校があり外に教員養成機關として旅順師範學堂がある。而して國家或ひは滿鐵から支出する經費は公學堂に對しては生徒一人宛五十圓、旅順中學校は五百五十圓、南滿中學堂は實に七百圓の多額である。日本人子弟の中學校ですら二百五十圓内外である。

國家又は滿鐵が是の如き多額の經費を支出してゐる支那人教育の現狀を考察するならば、我彼等の爲に笛吹けども彼は躍らずの觀がある。こんな事だつたら寧ろ廢止した方が增しだと謂ふ識者さへある。

同化主義の祟

其の依つて來る原因を私は考察したい。其の一つは支那人特有の民族性による事は勿論であるが、他の一つの原因は教育方針によるではないかと思ふ。即ち過去に於ける支那人教育の方針は日本への同化を標榜した教育でなかつたらうか、即ち先住者たる支那人に日本的の教育を施して滿蒙の利を得んとした功利的なものでなかつたか。しかるに日本への同化は愚、彼等の反撥心がより强くなつて却つて逆な傾向を帶びて來た。殊に中等學校生徒等は、排日のお先棒に利用されてしばしば同盟休校等の不祥事を引き起した事を聞く。こんな事なら寧ろ廢止した方がどの位良いか知れないと謂ふのも無理のない事である。

純愛主義の教育

考ふるに事こゝに至つたのは若し同化主義的の教育を施したとすれば當然の歸結かも知れぬ。凡そ教育殊に獨自の民族性を持つ支那人に對しては平等觀に立脚した教育方針でなければならぬ。是の如き見地に立ちてこそ教育の意義がある日本人にあれ、支那人にあれ人として全たければ强て同化主義を取らなくともお互の眞情誠意が通じて相互の提携が出來るものだと思ふ。同化主義的な教育を却つて日本眞意が誤解されて功利的な野心的な見方をされ引いてパンを求めて石を與へらるゝ結果に陷る我々は平等觀に立脚し善良な支那人養成に支那人教育のモットーとせねばならぬ。即ち一人でも善良な支那人を養成し、將來共に滿蒙文化の同行者として共に携へて輝かしい道を歩むべく努めねばならぬかくして養成せられたる支那子弟は、やがて我等の子弟と提携して眞に同種同文愛のに芽ざして來るであらう。

支那人教育の理想

教育は切かちな目の前の獲物にばかりに目をかけてはならぬ。環境をより詳しく考察して全き人を將來に望まねばならぬ。支那人教育の理想は矢張り良き支那人を作るにある。恰度日本人の教育の理想は良き日本人をつくると同じやうに。

對陣永引けば必らず開戰
鼻息の荒い支那軍隊
某軍事通の視察談

【長春】露支國交斷絶以來滿洲里方面に出張具さに兩國の行動を視察した某軍事通は二十七日朝長春通過歸國に際して語る

支那軍は東鐵許りでなく打通線洮昂線に依つて續々輸送されてゐる、支那軍は滿洲里國境よりも寧ろチヤライノール方面の守備を嚴重にしてゐる、塹壕の如きも兵士の丈け程もあつて永久的のものである、露軍は國境に約六個師團程集中してゐるが主力の所在は不明である、一般の觀測や支那側の宣傳では戰爭はしないと言つてゐるが私の觀測では兩軍對峙が永引けば必ず開戰する夫れは國交斷絶し兩國軍隊が對持してゐながら戰爭にならなかつた前例がない、支那側軍隊は最初露軍の砲擊や空軍の示威を非常に恐れてゐたが

その後慣れてしまつて今では問題にしてゐない、殊に滿洲里には多數の赤露人が居住してゐるからまさか市街に爆彈投下もしまいと高を括り又續々同國軍隊が增援するので露軍何物ぞとすごい鼻息である、東鐵の守備は外人殊に日本人に危害を及ぼして問題を複雜化するを恐れて南部線の守備を最も嚴にしてゐる

于學忠軍 興城へ移駐

【奉天】興城駐屯奉天軍第十四旅は昂々溪に出動したゝめその留守軍として關内の于學忠軍が興城へ廿四日以來移駐を開始してゐると

出動中止命令

【長春】吉林駐屯第十旅第七十四團の出動に前後して二十三日長春南嶺駐屯第十旅第五十團にも出動命令が下つたので出動準備を急いでゐたが二十七日突如中止命令があつたと

徴發壯丁馬車

【鐵嶺】北滿時局急迫の爲め昌圖に於て徴發されたる壯丁六十四名馬車三十二臺は、二十五日夕昌圖發陸路鄭家屯に向ひ滿洲里に出動した

奉天商民恐慌

【奉天】支那側當局は北滿出兵を行ひ更に民夫馬車を徴發し、一方市政公所は第二期市街計畫として現大洋二千萬元を投じて市街整理を斷行しつゝあるが、その經費は總て省民に賦課せられ剩さへ過般の出水で大水害を被り農作物は減收である處から、早くも省城内外の商民は勿論農民に至るまで前途を慮り大恐慌を來しつゝあると

人種戰爭死者六百名

【パリー二十七日發電】佛國外務省は發表して曰く去る二十三日以來のパレスタインに於ける死者はユダヤ人及び回教徒双方を合して六百人に達すると

中等學校に軍事教育
特別區に於て

【長春】特別區教育廳長張國沈氏は東鐵沿線の各中等學校に時局柄軍事教育實施を命じたが寬城子第二中學校長文齊氏の手許にも二十六日大要左の如き命令があつた

露支國交は日一日と險惡となり支那軍隊は續々戰線に向ひつゝあるが、今情況の急變に依つては正規軍にては國防に手薄を來たすやも知れず、かゝる場合には中等學校生徒を以て軍隊を組織し國防に當らしめる、故に今より軍事教育を撤底的に實行せよ

人力車賃値下を近く斷行

【京城】京城の人力車賃が法外に不廉いのは内外を問はず新來者の一齊に認むるところだが、現行の人力車賃間運賃協定率も電車乘合自動車賃率に比してはまだまだ高價であるとして近々値下の斷行となるべき模樣である、當局に於ても朝博中は特に土地不案内の觀覽者のために嚴重に取締る方針であると

近づいた朝鮮博覽會

京城の夜空に紫紅の光龍
海軍省の大探照燈

【京城】朝博に海軍省より出品の大探照燈は、博覽會が夜間開場をしないため、倭城臺の科學館に特設の探照燈臺に据え付け京城の夜空に紫紅の光龍を躍らすことゝなり、佐世保鎭守府より係官出張取附中の處準備完了した、此の探照燈はスペリ式防空探照燈で光力八萬燭光、二哩を隔てゝ新聞が讀める强力なものであると

土木館近く竣工

【京城】朝博會場内勤政殿と慶會樓の中間に建築中の土木館は近々竣工の豫定であるが、一般交通建築土木に關する模型を出品する、漢江改修、新舊道路比較朝鮮道路網、都市群山仁川兩港及び河川の模型は電氣照明應用の凝つたものセメント模型を初め漢江洪水實況館の内側周壁には圖表、統計を配して交通、建築、土木等の知識通俗化を目標としたものである、以上の模型は總て閉會後は博物館に陳列して永久的に一般の觀覽參考に資するものであると

演藝館入場料

【京城】朝博を通じての花形である演藝館の入場料は過般來京城協贊會で關係者と協議を重ねてゐたがいよいよ大人五十錢、小人二十五錢と決定した

社會教化の映畫懸賞附で募集
一等には金杯を授與

【京城】總督府特設の朝博會場内の活動寫眞館では既報產業方面と一般大衆向の映畫の外に、社會教化に關する映畫を企圖し鮮内各地プロダクションにも作出品かたを慫慂してゐるが、同時に社會教化映畫品評會を組織し、神尾活動寫眞館長、鄕野世溪兩事務官、玄視學官の諸氏審査の下に一等一人金盃二等一人銀盃及び賞狀を授與すべく、尙授賞授與式を九月二十三日會場内で行ふことに決定した

佛教大會 京城に於て

【京城】朝鮮佛教團では、佛教普及と隆興とその方法研究のため京城に佛教大會を開催することゝなり、十月一日から三日間、第一日は勤政殿で佛教大會、第二日午前は殉難亡靈追悼會、午後公會堂で講演會、第三日は朝博その他を見學の豫定で、參加者は内地佛教團體、宗管長、佛教聯合會幹事、佛教關係の學者、貴衆兩議員等數百名に達すべく、尙二十三日京城ホテルに於て準備會を開催した

記念の大賣出

【京城】商工聯合會卸商聯盟會では去る二十四日の役員會に於て朝博協贊會と協力し朝博成功助成方法を委員附託としたが、大體方針としては朝博會期中に全市を擧げて大賣出しを擧行し景品附大福引等の餘興で朝博氣分を狻る計畫であると

朝鮮人參大宣傳

【京城】專賣局では朝博を機會に特產朝鮮人參の大宣傳を行ふことゝなり、同局囑託城大教授杉原博士に依囑し紅白參、人參エキス、粉末その他副製品の實驗效果と學理的説明を詳述した小冊子を發行するに決した

八相

投書歡迎　新聞行數五十行以內のこと　中傷を目的とするのは採らず

宴會を改善せよ

竹樂山

最近の名古屋通信によると緊縮内閣の祟りで市内の大きな料理屋は至つて不景氣になり先月は一流の料理屋得月樓がポスターを會社商店に配つて宴會は藝者なしで喜んで引受けます、又晝食は洋食並みで結構ですなんと云つて大々的に宣傳をやる、又一方では二流どころの花月が料理値段を改正し一人前金二圓と金三圓といふ從來の半額値段を發表するといふ有樣、是等は其不振さを如實に物語つてゐるといふものである、由來中京は東京や大阪の料理屋が莫大な宴會費を要するに比し餘程安いといはれてゐる處であるが今一層の緊縮ぶりを見せて來た樣である、一膳一夕の宴會に一人前四五十圓を要するといふ事はどう考へても馬鹿々々し過ぎるが、東京大阪の所謂一流の紳士は馬鹿々々しいと知り乍ら矢張り世間並みに法外な費用をかけてお付き合ひをして居るが、これらは緊縮内閣で大分矯正されよう、料理などは金をかけたら際限のないものだから一流どころが先き立ちになつて簡略質素すべきではなからうか、何も藝者をあげては惡いとは云はぬ、場合によつては酒間適當な斡旋者のある事は至極結構であるが必要以上の分量、必要以上の美味を列べての高價な料理代をとる事はもう時代遲れであらう、我大連の如き所謂新天地に於ては型を破つてアッサリと比較的ウマイ物を喰はせて愉快に客を過する家が出來て然るべきだと思ふ、洋食でもホテルの晝食の如き皿數が多過ぎるといふのは定評である樣だ、高い料理代をとる爲に胃の腑の必要以上の御馳走をなし一部分しか手のつかぬ御馳走が澤山殘る事はどう考へても新興國民のやるべき事ではない

けふの放送

實用支那語會話

秩父固太郎

第十七回

1今兒天氣太熱2實在悶熱3一點兒風也沒有4屋裡坐着難受5外頭好一點兒6是麼那麼我出去7今兒上老虎灘好8天太晚了9不晚、晚上倒熱鬧10那兒有甚麼事麼11大家逛燈去12不錯、陰曆七月十五13對了、大月亮14咱們也去逛逛15坐電車去罷16也好、坐汽車快些17不用坐汽車18去晚了沒意思19晚不了20那我陪您去

譯文

1 今日は酷しい暑さですね
2 本當に蒸暑いですね
3 風が一寸も有りません
4 部屋にじつとして居ては堪りません
5 外は幾らか好いですよ
6 そうですか、それでは出ませう
7 今日は老虎灘が好いです
8 時刻が餘り遲過ぎます
9 遲いことは有りません、晩が却つて賑やかです
10 あそこに何か有りますか
11 皆燈籠流しを見に行きます
12 成る程舊の七月十五日ですね
13 そうです、滿月ですよ
14 吾々も行つて見物しますかな
15 電車に乘つて行きませう
16 それも好いが、自動車で行く方が速い
17 自動車には及びません
18 遲く行くとつまりません
19 遲くは成りません
20 それではお伴しませう

（新字）。虎　灘・逛。陪。

滿日詩壇

次劍溪先生之韻　吉川鐵華

濃靄遮軒暗、前林樹影稀、山僧知欲雨、爲鎖白雲扉

同

風送陰雲過、前峰雨意含、出林聲帶濕、山寺晩鐘酣

題福田象外翁周遊日誌　次劍溪先生之韻

踏破扶桑千里程、周遊客路樂人生、江山隨處笑顏滿、寫出家鄉風月淸

偶成　同人

霖雨漸晴山更新、林梢處々潤鳴蟬、火雲烘日奇峰聳、午睡難成日似年

次劍溪翁轉居之韻　同人

農隴城市住山林、聽聽松風朝暮吟、吾亦往年耕幽居、櫻花右上蘊機心

同　人

世事日新心亦新、却看爐外漲紅塵、多情每好物光變、騷客愛秋衆愛春

讀大谷光瑞猊下著作帝國之前途有感　同人

報國丹誠鐵石腸、誦來去我心涼、誰言明鏡照人醜、寫出卷中金玉章

次穆庵先生之韻　同人

才拙無靈豈有謀、國藥只要酌山樓、四時景色是天與、春夏送來還至秋

同　人

人心恒欲構奇謀、胸裡平生畫層樓、天馬行空騁虛構、蒼穹飛躍翔來秋

ツェッペリン伯号来訪記念

福助足袋

穿く身になつて作る足袋

洗つてもちゞまぬ足袋

ボクタ石油發動機

賜光榮

一、工場主ニ拜謁
一、製作品天覽
一、工場ヘ侍從御差遣

總代理店　杉山商店機械部
大阪本店　大阪市西區立賣堀南通貳丁目
新町電話（一九〇一・九〇二）（九〇三・九〇四）

白色美顔水

▲手輕に瀟洒な御化粧の出來る最も進歩した水白粉

白色美顔水

皮膚病新藥　アスター

水虫・たむしに

本劑は皮膚に吸收し易く、患部にすりこめば速かにかゆみと、疼痛を去り、寄生菌を撲滅して、完全に治癒せしむる効果、甚大

適應症　田虫、いんきん、水虫、しらくも、頑癬（くさ）、あせも、にきび

太陽光線療法

大平洋を横斷し今や米大陸に於て異常の聲價を博しつゝある太陽光線治療器の名によりて巨船ツエ伯號の遠征を祝す

▼太陽の偉力を利用して凡る疾患を癒す最新治療器の發明▲
▼太陽力研究界の泰斗本會主幹澤田曉夢貳拾數ヶ年の努力▲
▼本器の絶大無比の力は彼の藥物などの遙に及ぶ處に非ず▲
▼又電波治療器の如き微弱なるものとは全然其趣を異にす▲
▼本器は活る大自然の偉力を更に現代科學に應用せし物也▲
▼特殊光學裝置により地上の日光を數拾倍の濃度に增大す▲
▼恰も千數百米の上層に於る清醇なる化學線の力以上なり▲
▼其治療光線を疾患部或は病原部に照射する技術至極簡明▲
▼忽ち大自然の良能を無限に湧出し治療經過頗る迅速なり▲
▼其效力の顯著偉大なる事は多數の全治者よく之を證明す▲
▼既成療法にて全治せざる疾患が本器により立派に快癒す▲
▼本器は日、英、佛、加、墨、支の專賣特許權を所有せり▲
▼又米、獨、伊、瑞は既願帝國政府新案特許拾件を登錄す▲
▼本會講師は目下米國に滯在して本療法を外人に教授せり▲
▼海外に於て白熱的歡迎を受け既に參拾個所の治療院あり▲
▼全國各地に渉り百數拾個所の治療院あり尚ほ續々開設中▲
▼如何なる僻地と雖自由に施行し得又何等の費用を要せず▲
▼本療法による治療院の經營は事業として將來益々有望也▲
▼又之を一般家庭の常備療法とするも絶對に安全確實なり▲
▼病苦に惱む人々及び療院開設希望者は郵券封入照會せよ▲

大阪市電・谷町六丁目交叉点東辻
太陽光線學會治療本院
長距離電話東七九九番
振替大阪七二三七〇番

ツェ伯號の空に於けるが如く　懐中藥仁丹

消化素　口香料　仁丹

ツェ伯號の空に於けるが如く
世界全土の信頼と
鍾愛の焦點たる……

懐中藥仁丹

小粒　大粒

小粒仁丹は貴藥サフランを倍加特製せるを以て御愛用益々激增し今や到る處好評嘖々大人氣の中心

大粒仁丹は曩に改正し、精神の快適と胃腸の强健に卓効ある護身藥として夙に世界的に活用せらる

歯のために一番よい　仁丹のハミガキ
歯磨界の最高権威　仁丹の煉歯磨
日英米仏專賣品　仁丹の歯ブラシ
一家一本是非必要　仁丹の体温計

顔剃の後　ペルメル

顔剃の後　科學的美粧料　白色ペルメルをお塗りなさい　丹毒を防ぎ知らぬ間に皮膚が艶麗化されます

金鳥の渦巻かとりせんこう

こう強い蚊が多くなると金鳥の渦巻でないとキカヌと言はれます

キンチョーは　火持も他の線香に比べて一時間も永いから非常に徳用だと皆々が申されます

始祖　老舗　一番ヨクキク　金鳥の渦巻かとりせんこう

大阪土佐堀三　上山英一郎商店（[illegible]）

アセボ

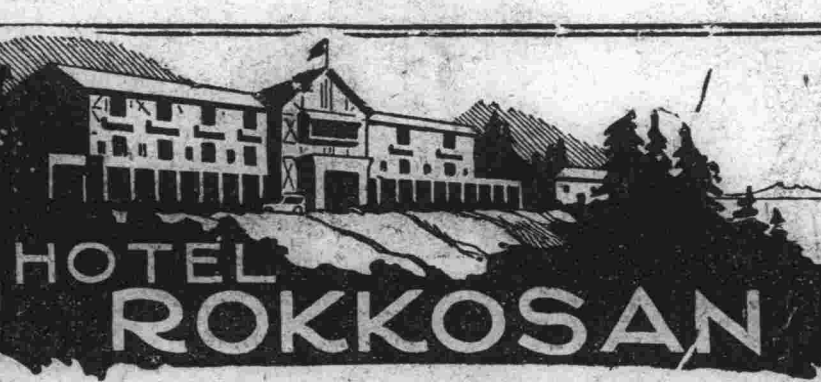
クサ、水虫、蚤、蚊、南京虫に咬まれた跡に　大人には黄色　小兒には白色　ペルメルをお塗りなさい　痛み痒みはスグ不思議に治ります

◉三越、白木屋、高島屋、松坂屋、大丸、阪急各百貨店其他信用ある藥店化粧品店に賣つて居ります◉

純良香油　白椿

純粋の椿油を脱色精製した

純良香油　白椿

大阪心斎橋筋　本家　をぐらや

六甲山ホテル

HOTEL ROKKOSAN

設備完全　理想的

關西唯一の山上ホテル海拔三、〇〇〇尺

六甲山の四季
春は――山頂特有のつゝじ、藤、鶯、ほとゝぎす
夏は――避暑、ゴルフ
秋は――お月見、紅葉狩、松茸狩
冬は――スキー、スケート、連峰の雪景色

六甲山頂　六甲山ホテル
（寶塚ホテル分館）

電話神戸葺合（四八〇八番）（四八〇九番）
阪急電車六甲・寶塚兩驛より山上まで乘合自動車定期運轉

セモリ

世界的に最も信頼さるゝ

獨逸ルイトボルト製藥會社製

完全膣殺菌錠　セモリ

膣内ニテ持續性强殺菌泡ヲ發生シ其擴大力ニヨリ最深部ニ浸徹シ徹底的ニ最モ完全ナル膣壁ト殺菌ノ重複作用ヲナス無毒性ナルガ故ニ使用久シキニ亘ルモ障害ヲ來サズ
○花柳病豫防ニ用ヒラル

輸入元　大阪南本町四　尾村商店
代理店　東京本町四　田邊元三郎商店
大阪伏見町三　光榮商會

ガンノール

慶應大學病院專用主藥
世界的治淋新藥

ガンノール

慶大教授阿部醫學博士指導創製

慶大泌尿科教授　北川博士並ニ同病院德永信田兩博士ノ權威アル推奬ヲ受ク

適應症……男女急慢性淋毒的疾患一切
特色……白色結晶無臭無味絶對胃腸ヲ害セズ
定價　錠劑　50錠2.50　100錠4.50　（送料.20）
【文獻呈上】

製造元　東京　東洋藥化學研究所　東京市芝區烏森町一番地
發賣元　關西　鹽野義商店
特約店　大阪北區　堂島ファーマシー堂ビル
九州特約店假營業所　福岡市仕吉宮崎町九二二　山本商店　振替福岡二四〇七

文藝

文藝視野の普遍的規準樹立

稻葉亨二

文藝の發展過程は常に相對的である。そしてそれは社會生活の强度の光彩がその時代の文藝乃至藝術の廣汎なる分野に向つて輝き亘つてゐるのを見る。文藝家自身の認識も、思想家の思惟も畢竟此のカテゴリーに兩脚を立ててゐるのである。大正の前期より昭和の現時に至る近々二十年足らずの期間に我々日本人は極めて急速度の思想的旋回を經驗してゐる。それは實にあわただしい思想的飛躍とも言へる。勿論之は文藝の圏内を擾亂せずにおかなかつた。從つて此の根柢的震動が文藝地盤の表面に著るしい沈降作用を働き、或は文壇の偶像を創生し、或は夥だしい落伍群を作つたことは恐らく未曾有と言つていゝだらう。

後世或は我が文藝主潮史を書く者が現はれたならばブランデスの描ける十九世紀前半と均しく極めて繁要な頁であることを特記するであらう。然らばかゝる文藝界の波動！その波動を作用する主導旋律は何であつたか？それは言ふまでもない社會變革である。即ち社會生活が必然的原動力によつて變向し社會意識乃至階級意識が深化し、普遍化したことに外ならない。

この爲ブルヂュア文藝は反逆の子プロレタリア文藝を生み落し、その發達到底匹敵すべからざる状態に惱みつゞけてゐる。今や我がプロレタリア文藝はその草昧の時期を脱して文藝理論確立の過程を踏みつゝある。或は近き將來に於て儼たる理論を樹立するであらう而して作品それ自體の發展に於ても質に於ても、可成の迫力をもつ優秀作に間々接することを得るやうになつた。

曾て葉山嘉樹氏の「淫賣婦」を、さき本年小林多喜三氏の「蟹工船」を拙に乘る。此間思想的にも隨分開きがある。この開きをハツキリと認識し、作品そのもの、持つイデオロギーを寸分隙なく把握する爲には今少し靜的なる精神的餘裕を要しはしなかつたか？無論吾々は動的なる社會進化に呼吸を合はせつゝむしろその主潮としてつき進むことを必要とする。而も此の波を映し、共に進み、共に生活しつゝ、曾て老朽たるを知らぬ海底の靜けさを吾々は見逃すことが出來ない。吾々は思想的にも内容的にも更にその包攝するイデオロギーに於ても全く老朽し盡して既に昨の文藝たる所謂ブルヂュア文藝の考察規準を指すのでは無論ないのである。この生々とした精神的餘裕ある現象、換言すれば清澄なる視角明快なる普遍的考察規準の樹立こそ文藝の眞正なる認識を結果するのではあるまいか。

吾々の見る所では過去十數年の間に文壇偶像の沒落を可成り多く經驗した。そして讀書界の方面に於ける文藝の思想上乃至形態上に關する食傷はあまりにも屢々だつた。この現象は社會全體がその力量に匹敵し若くは夫れ以上の活動を要求される時に必ず經驗される現象である。從つてその際には認識や消化力の不足に因りて或は觀過し、或は半にして之を放棄する而して飛躍のあとの靜けさはこゝにその粗野なる經驗を確實にそして徹底的に反芻させるものである吾々は現在それ等の具體的現象を文藝壇乃至讀書界に見つゝある。文藝史の回顧乃至全集物の發刊等はその片鱗であらう。かくして吾々は社會そのものゝ沈靜と共に又一面文藝の視野に於ける明快なる普遍的考察規準の樹立を迫られつゝあるのである（昭和四年八月十九日夜）

五月花

大町一枝

電車の窓から
ふとみえた
五月花、五月花
不滿もなく
こんな所に咲いてゐる
可憐な花よ
若い人いきれも忘れて私はそなたを眺めた（一九二九、五）

月

うつしよのなやみにつかれ
野に通ふ徑を歩めば
丈高き杉の木末に
まろき月いともしづけし（一九二九、四二三）

わが死なば

（ダウスン）

わが死なば消えなむものを
はかなからずや嘆きと笑ひ
愛も憎みも消えなむものを。

喜びの若き日はみぢかし
そは幻の中にうかぶ小徑か
わたるひまなく消えゆけり（一枝譯）

訂正　二十二日本紙上の拙詩「妹に」の第三行目の「ゆるしてくれるなら」から、八行目の「お前のふみ臺になり」から、各々別の新行となり「死に寄する歌」の第八行目の「どうせ皆から」は「どうせ笑から」となるのです。

秋の女

山科年男

野分のあとの爽々しさ、涼風が肌に冷たい觸感の初秋が訪れた、きのふまで身に綺羅を纏つて薄つぺらで派手で驕慢だつた夏の女が單衣に身體を引きしめてけふは秋の女になつてゐる、單衣から浴衣への華やかなテンポに較べて浴衣から單衣への更衣はジヤズのあとの寂しさである、その泌々とした味に落ちついてゆく初秋の女は街頭よりも家庭にそして厨の立居に男性より早く秋を感じてゐる、茶がゝつた女の着物なぞが眼に入ると一層そこに秋を感じるものである、洋服地でもそうであるが、秋の女の尺着物は流行がどうであらうと茶系統のものが好ましい、

「とう〜獨りぼつちになつた」と亡くなつた母親の枕元で病院の窓にすみ渡つた秋空をみつめて立つてゐた女と私は秋の夜の二階の手摺にならんで東の山の端に出る天の蝶々オリオン星座を待ち乍ら夜毎に葡萄を頁べながら郊外の大根畑の中に建つた家に樂しい時間を過した、彼女は一年後にはオリオン座のベーターのやうに變光星となつて私から遠ざかつて行つたが、その頃彼女の兄は一燈園の奉仕生活の副産物として信者の若い文學士の未亡人と感激を同棲にまで伸長してゐるのだつた。

彼女は絶世の佳人といふ折紙をつけられた貴婦人の侍女だつた、虫の聲に埋つた郊外の家で彼女は某貴婦人の惱みをそつと語つたりした。

追ひかけられ追ひかけられて盲人つまづくまでを走るさながら

これは貴婦人が彼女の兄に與へた短册の和歌だつた、言ひ忘れたが貴婦人は有名な女流歌人であつた、

そして秋が次第に更けて行つた私はまた彼女から素晴らしいニュースを聞かされた、それは貴婦人の友達で矢張り女流歌人としてその情熱を謳はれてゐた西の國の女王に絡る謀りごとであつた「だまつて見ていらつしやい、日本中が大騷ぎをするから……きつと新聞に出るわよ」と彼女は自信あり氣に驚天動地の計畫の一端を洩らした、果してそれから約二週間目位に全國の新聞は一齊に女王の家出を報じた。

その頃彼女は貴婦人の御伴をして東京に歸つてゐたが「Bのお使ひで〇〇さんの隱れ家に行くところです」と新橋の消印のある手紙を寄せたりした、Bといふのは貴婦人がバロネスだつたので私達の暗號になつてゐた言ふまでもなく貴婦人が家出事件に對して黑幕の主要人物であつたのである、

これはこれ本心か十年の虐げられし戀の報ひか

と寂しい心を獻つた貴婦人は大乘的な安心立命を得て靜かに永遠の眠りに就いたが、友達の爲めに出來るだけの助力を惜まなかつたことが首肯ける、

私に最も親みのあつた秋の女である彼女は家出した女流歌人の眉毛を秋の眉とよんでゐた、それはその歌人の兩方の眉の間がひどく廣くて持前の憂ひ顏を一層さびしくしてゐたからである。

珈琲店と文學

大連カフェー改造慾

三昧寺曼

曾てキヤフェーを主題として成功した文學をみた事がない。（勿論私が狹見にしてと追記しては置かう）

それなのにキヤフェーは隆々たる全盛時代を着々として築きつゝある、その勢力は花明柳暗の陣を脅かしつゝあるといふ、そして此の享樂組織の變遷は若き世界の到る處に其の叫喚をあげて、ひたすらに「新」なるを謳歌してゐるのである。

（或は斯う思考する）

帝都震災以前、わが經濟組織は尚幾ばくかの間隙を持ち得てゐたが、震災以後、その間隙は忽然として埋沒し、今や公私共に一分の隙をすら認め得なくなつた。この逼迫した經濟組織の渦中にあつて享樂組織も當然解體せねばならなくなつたのである。

極端に言へば、曾て享樂は物質偏重の遊戲であつた、然し最近に至つて享樂は精神偏重の遊戲と變態し來つたのである。だが、それだけに狡猾にして欺瞞的なる享樂は最近に至つて更に一層その濃度を増した事は否めない。

故に、曾て都合に靜的であつた享樂が最近に至つて極度に動的と化し來つた、とも謂ふことができる。

だから見給へ。

戀愛に於てもそうではないか。昔、「結婚のための戀愛」として意義を持つてゐたリーベは、近代に於て「戀愛のための戀愛」として立派な獨自の章義を持つようになつてゐるではないか。

およそ、凡ゆるもの、變轉が來た、めま狂はしい渦卷、大きく世界を廻轉して、小さく個を轉回せしめたのである。

小さな出來事

「味樂」創刊號の「或る女給の日誌」が俄然キヤフェー街の話題となつて騷然

△▽

最近サクラ、カフェーに出現したカルフオルニア歸りのポップさん「この日誌に書いてある事は皆本當ですわ」とブロークンなる日本語で泌々と仰せあつた程である。（三）

• そして文學も此の渦卷にまき込まれねばならなくなつた。

（そう私は信ずるのだ）（未完）

圖書館小話

（六）　橋本生

「英和」の元祖

英和辭書の最初に出來たのは、いつ頃、誰の手に依つたのであるかといふことを、この一二ケ月間の問題にしてゐた。云はゞ誠に無用の閑事業で、そんな事よりも、今日の必要からいへば、大修館の竹原のスタンダード英和と、三省堂のニューマンサイズ英和との、長所短所といつたことでも調べて見る方がいゝのだらうが、そこが問題といふものゝ性質で、凡そ問題である以上、多くは實用に遠く即決を要せぬものらしい。實行上一日を爭ふする事が出來ぬと云ふものなら、それは、問題となる以前に早く解決されてしまつて、成功か失敗か、それは結果の上で判斷されるべきものであらう。

實用上にはどうあらうとも、苟も問題として出來上つたからには、それを問題とする者にとつては、非常な重荷であつて、その解決までは、鬱しくうつとうしい氣持を我慢せねばならぬ。その代り、之が解決されたとなると、假に青天白日の思ひがして、案を打つて快哉を叫ぶといふのは事實である。

英和の元祖調べは、小生に取つてはお門違ひで、それだけ手に終へぬ仕事なので、問題として頭に浮んでから二ケ月ほど（之を問題とするに至つた事情は、別にあるのだが）手をつかねてゐた。ところが、偶然といふか、この頃某新聞の地方版に、九州大學の豐田教授が「日本に於ける英學發達史」題目で、帝國學士院かの獎勵金を得て、材料蒐集に從事して居られたが、既に大部分の材料は揃へられたといふ記事を見付けた。さうすると、頭の中の問題が忽ち勢力を得て來るので、讀んで行くと文化十一年（西紀一八一四年）本木正榮の著に成る「諳厄利亞語林大成」を、最古の辭書としてある文字に出會つた。之はありがたい。誠に注文通りの記事が、ようも見付かつたものだ。

併し之は新聞紙の記事で、殊に當の著者の署名したものでもなく、直接の話でもない。さうするとこの記事の確實さはどうすれば分るか。小生は大槻如電翁七十七壽の時の著「新選洋學年表」を繙いた。その文化十一年のところ、同書の九九頁下段を見ると、六月、諳厄利亞語林集成と、して、本木正榮、楢林高美、吉雄永保合譯とあり、尙次の如く簡單な解説と、題言の拔萃とがある。

「本書はエビシ順序にて英吉利語七千餘言を收め譯語を施す、四年前に奉命選述せしもの、題言。諳厄利亞國は詞品を區別して八種となす、靜詞代名詞動詞助靜詞形動詞連續詞所在詞歎息詞この八種の詞品詞を綴り語を成すの淵原にして詳悉ならずんばあるべからず一語を譯するは易きに似て反て難し、其故は、一語にて其意味を盡くす能はざる者あり、我蠻淺才にして漢土の字義に暗し故を以て對字專漢字を以てせんとすれば、本來の面目を失ひ、又悉俚俗の語を以てすれば鄙陋の嫌あり、故に當否は知らずとも、譯字は漢字を以てし、而して其際或は俗語を下して面目を失はざらしめんとす云

と之を所謂最古の英和辭書とする爲めに、文化八年九月の記事（同書九六頁上段）に「九月通詞本木莊左衛門正榮、楢林榮左衛門高美吉雄權之助永保に英吉利言語集成の命あり、英日對譯語典の第一書諳厄利亞語林集成是也」とあるので即ち第一書たることが明かとなつた。併し聊か疑問なのは書名の集成か、大成かといふことであるが、之は年表には二ケ所とも集成とあり、人名辭書本木正榮を見ると、其の著書を擧げた中には大成とあつて、新聞紙のと一致してゐる。何れの名でも呼ばれてゐるのであらう。全十五卷ださうである

小さい問題でも、分れは愉快である。この愉快を何人かゞ味つてゐる間、無用の閑問題をかついでゐる者も、世間には絶えぬのである。

金州の初秋を探り 殉國將士の英靈を弔ふ
頗る意義深い九月一日開催する
本社主催の苹果デー

夏のなごりを惜むかのやうに啼きしきる油蟬の聲にこそ殘暑を感ぜられるが、さすがに秋立つてから三旬に近い朝夕の風は爽かに涼しい、この快適の好機を利用して郊外の秋を探らうとする本社主催の「金州苹果デー」は既報のごとく來る九月一日の日曜を期して行ふこととなつた、當日は關東震災七周年記念日であり、全國を擧げて簡素質實な生活に歸つて當年の國難を銘記すべきであるが、この意味において當日を徒らに空費せず、郊外に出て山野を跋渉し戰跡を訪うて殉國將士の英靈を弔ふことは最も有意義であらうと思ふ、この點本社が特に多數市民諸君の參加を希望する次第であるが隨つて當日は南山、三崎山その他の戰蹟地見學、關東州唯一の古都である金州城內の各所を隨意に見物し、南山附近の農園を訪ね、或は金州の近郊響水寺の

勝景を探 ぐる等以外には餘興のお祭り騷ぎはせぬことにしてゐる、唯滿鐵より特別の便宜を得て汽車賃往復一圓を三割引の七十錢にし、金州民政署警務課に乞ふて見學箇所に至る自動車馬車等の賃金について嚴重の取締を依賴し、土木課出張所及び各農園に於いて無料休憩所を設けて參加團員の歡待をすることにしてゐる、更にみやげ用として最も需要される金州苹果は「苹果デー」當日に限り一貫目六十五錢籠付七十錢、二等品五十錢籠付五十五錢の時價を以て提供し農園參觀の人には新鮮な苹果及湯茶を接待する旨申し出であつた、既報社告七十五錢より更に十錢安となつたわけである

會員券は 大連は本社文關受付に於て沙河口方面は岡榮、本下兩新聞店、聖德街方面は岡田新聞店で賣つてゐるから現金引換に乘車證及び會員章を受取られたい　當日の臨時列車の發着時間は左の如くである

ゆき 大連驛發午前八時十分　沙河口驛發午前八時十八分、金州驛着九時五分

かへり 金州驛發午後三時五十分、沙河口驛着四時三十四分、大連驛着四時四十分

鈴なりのリンゴ採り

寫眞（上）は金州農園における苹果採集（中）は南山園で採集したリンゴの山（下）は嗣昌農園のリンゴ畑

中橋前商相が恩給催促
役人生活が前後十六年

【東京二十七日發電】狸庵中橋前商相は大臣生活を辭めてから大磯の別邸で狸を眺め時偶東京に歸つては政友會本部に顏を出して怪氣焰を擧げてゐるが、暇にまかせて勘定して見るに抑々腰辨時代から此の間の大臣まで役人生活が前後通じて十六年にもなり恩給年限に達してゐるのを發見し貰はねば事缺ぐ譯でもないが、權利有るを故なく放棄する必要はあるまいと昨二十六日內閣に宛て恩給請求書なる一札を送附に及んだ、鈴木書記官長は早速調査したところまさに間違ひなく其の年限に在り二十七日の閣議で此の旨を披露したところ閣僚連も成程と首肯いた、そこで翁の懷に入る恩給額はと云へば二千七百二十圓とある、貧的代議士がさぞかし羨むことであらう

北海道鐵道の重役を 留置處分で取調べ
私鐵買收問題の運動に關し その成行注目さる

【東京二十七日發電】警視廳では廿五日北海道鐵道株式會社々長犬上慶五郎、同取締役渡邊孝平、監査役兵頭榮作三氏を召喚取調べるところあり二十六日午後六時に至り留置處分に附し取調べてゐるが右は前內閣時代私鐵十四線買收問題に關し同鐵道を賣込むべく猛運動を起し某代議士等を通じて贈賄を行つた嫌疑に因るもので取調の進行に伴ひ前大官の召喚を見るに至るものと見られてゐる

東大阪電鐵にも 疑獄事件起る
警視廳から出張取調

【大阪二十七日發電】小川前鐵相が行掛の駄賃として許可した東大阪電鐵に絡む疑獄事件につき同社專務田中元七氏外數名は警視廳より出張した滿水警部に大阪にて取調べられてゐるが、一方二十七日上京した同社々長太田光凞氏も責任上取調べを受けるものと見られ北鐵疑獄事件と共に俄然世間の注意を集めるに至つた

保險勸誘員が騙り飲み

大連若狹町四〇日本生命保險會社勸誘員小林茂は去る七月廿一日夜浪速町一三五待合新富に登樓し、吉野町藥品雜貨商小林と詐稱し酒よ女よと亂痴氣騷ぎをなし卅一圓廿七錢の遊興、勘定に際し只今持合せがないから店の方へ取りに來いとその場を胡魔化して歸宅したが、後日新富より前記藥品雜貨商小林へ勘定取りに行つて化の皮を剝がれ二十八日大連署へ申告され尙保險會社の方は廿五日限り馘首された

ツエ伯號羅府出發
レークハーストに向ふ
見物人で飛行場は大混雜

【ロスアンゼルス二十七日發至急報】ツエ伯號は二十七日午前零時十五分（滿洲時間午後四時十五分）當地發レークハーストに向つた

【ロスアンゼルス二十六日發電】エッケナー博士及びツエ伯號乘客一同は本日午後八時よりアンバサダーホテルに於けるエキザミナー社主催の晩餐會に出席し終つて一同オートバイの警官隊に護衛されながら午後十時二十五分マインスフイールドに到着した、ツエ伯號がいよく出發すると云ふのでマインスフイールドは非常な人出で混雜を極めてゐる

亂暴な夫が 妻の頭を割る
血に染つて交番へ駈け込む

二十七日午後四時ごろ山縣通り派出所へ頭を割られて血みどろの年增女が駈け込み「夫が追つて來るから助けて下さい」と訴へ出た、居合せた巡査が取調べると此の女は市內淺間町十七番地山口新太郞（五四）の妻マサヱ（五〇）といひ前日から夫婦喧嘩をして家出し知人の市內東公園町望月方へ身を寄せてゐると二十七日午後三時五十分頃新太郞が望月方を訪れ、マサヱと口論の末逆上し新太郞は矢庭に棍棒を持つて妻の頭部を毆打し血を見て益々猛り狂ふのでマサヱは裏口から飛出し斯くと訴へ出たもので ある大連署では新太郞を呼び出し懇々說諭のうへ引取らせた

吉敦線工事檢査

【長春二十八日發電】吉敦鐵道各工事は愈々豫定通り二十五日全部終了したので東三省交通委員會から檢查の爲め派遣された技師三名は二十七日長春通過歸奉した

寶石商の取込 詐欺餘罪發見

大連浪速町五丁目二ノ二寶石商廣島嘉十郞（五二）は既報の通り長春吉野町寶石商方外軒こと富永末吉より四百十二圓五十錢の取込詐欺を働き大連署に留置取調べを受けてゐるが、取調べの進行と同時に餘罪續々現はれ昨年十一月十四日以來前後三回に亘り奉天小南門外東順街骨董商公濟信こと韓雲章よりヒスイ、指輪價格二千六百圓に相當する物の販賣を依賴されて之を着服したほか、十二月七日には奉天小河沿西家湖洞何公館かた李揚氏よりヒスイ、狐の皮價格二千五百圓に相當する物を同樣手段を以て詐取、なほ天津方面の支那人よりも約二千圓ばかりの取込詐欺を働いてゐる事を自白したがまだ澤山の詐欺を働いてゐる模樣なので引續き取調中

横濱高商＝實業戰
一回戰けふ午後四時實業球場にて

5―2 適時長打し 商大快勝
實業軍意氣昂らず

神戸商大對大連實業聯盟野球戰は廿七日午後四時四十分中央公園實業球場で擧行されたが、五對二神戸商大の快勝に終つた閉戰六時三十分球審井上、壘審宗正試合經過次の如し神商先

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
神戸 敵失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神戸 安打	1	1	0	1	2	1	2	1	1	10
神戸 得點	1	0	0	0	3	0	1	0	0	5
實業 得點	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
實業 安打	0	1	0	1	1	2	0	0	0	5
實業 敵失	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1

△第一回 神商小柴左飛松田中飛後島道第二球を左中間欄越の大本壘打し加藤左飛神商先づ一點▲實業中川投飾高橋三振安藤兄三飾（神一實零）

△第二回 神商橋爪投飾後西川三遊間に安打したが關根魚住三振▲實業渡邊三振後中島二壘右に安打したが岩瀬二飾に封殺され岩瀬二盜に死す（兩軍零）

△第三回 神商石原三飾小柴三振松田二飛▲實業山本四球を利し木下のバントに二進したが安藤弟右飛後投手の投球動作をせぬ前に三壘にスタートして三三間に挾殺されス（兩軍零）

△第四回 神商島道左中間二壘打加藤四球橋爪三振後西川四球で滿壘となつたが關根二飛魚住遊飾▲實業中川三飾高橋三振後安藤兄中堅左に二壘打したが渡邊三振（兩軍零）

△第五回 神商石原三振小柴の三飾高橋好守した後松田絶好の投前バント安打して二盜し島道四球の時松田更に三盜加藤二ストライク後左中間欄越の絶好の本壘打して三者生還し勝敗決した觀がある橋爪三振▲實業中島三飾後岩瀬四球山本の右中間の二壘打野手三壘方面に返球して岩瀬一擧生還木下安藤弟三振（神三實一）

△第六回 神商西川三振後關根一二間に輕く安打したが魚住中飛石原三振▲實業中川中前テキサスし高橋のバントで二進し安藤兄第一球を遊越絶好の安打して中川生還渡邊中島三振したが實業更に一點を返す（神零實一）

△第七回 神商小柴中飛後松田右中間二壘打し（實業岩瀬投手木下三壘に更代）島道の三遊間安打に生還加藤三振橋爪遊飾神商一點▲實業岩瀬左飛山本三振木下二飾（神一實零）

△第八回 神商西川右越二壘打し河端（關根に代る）三邪飛後魚住の二飾で三進したが石原遊飾▲實業梶下（安藤弟に代る）三振中川三邪飛後高橋の二飛野手落したが安藤右直（兩軍零）

▲第九回（實業宮武遊擊安藤兄二壘となり安藤弟退く）神商小柴右中間安打松田三振の時小柴二盜に刺され加藤三振▲實業渡邊四球（平田ピンチランナーとなり渡邊に代る）を利し中島の投飾に二進し岩瀬四球で一寸色めいたが山本左翼大飛木下三振して遂に空し

本壘打 島道一、加藤一
二壘打 島道一、安藤兄一、山本一、松田一、西川一
殘壘數 神商七、實業六

神戸商大	打數	得點	安打	犠打	盜壘	三振	四球	過失
2 小柴	5	0	1	0	0	1	0	0
6 松田	5	2	2	0	2	1	0	0
5 島道	4	2	3	0	0	1	1	0
3 加藤	3	1	1	0	0	1	1	0
8 橋爪	4	0	0	0	0	2	0	0
1 西川	3	0	2	0	0	1	1	0
4 關根	3	0	1	0	0	1	0	0
4 河端（代）	1	0	0	0	0	0	0	1
7 魚住	4	0	0	0	0	1	0	0
9 石原	4	0	0	0	0	2	0	0

實業	打數	得點	安打	犠打	盜壘	三振	四球	過失
9 中川	4	1	1	0	0	0	0	0
5 高橋	3	0	0	1	0	2	0	0
64 安藤兄	4	0	2	0	0	0	0	0
2 渡邊	3	0	0	0	0	3	1	0
8 中島	4	0	1	0	0	1	0	0
31 岩瀬	2	1	0	0	0	0	2	0
8 山本	3	0	1	0	0	1	1	0
13 木下	3	0	0	1	0	2	0	0
4 安藤弟	2	0	0	0	0	1	0	0
PH 梶下	1	0	0	0	0	1	0	0
6 宮武	0	0	0	0	0	0	0	0
PR 平田	0	0	0	0	0	0	0	0
計	29	2	5	2	0	11	4	0

戰評

▲實業軍は宮武を退けオーダーを一變し決死の覺悟で臨んだが高橋は依然とし渡邊亦振はず神商西川投手のインコーナーを通し時にアウトコーナーを低く攻める速球を打ちあぐんで三振十一を得られ遂に敗北の憂を嘗めた▲神商の打撃は大きなスヰングで球のミートが不充分であり十一の三振を得られたが適時に出た長打で以て遂に實業に快勝した、▲然し五回木下が加藤に投じた球は果して當を得たらうか、加藤を四球に出し橋爪で討取る作戰は結果論であるとしても加藤にノーボールで二ストライクを得た好狀態の時同じ調子の速球で同じ處にストライクを投げたのは餘りに强氣な攻め方であらう、今一球はボールに釣るか、スピードを變えて攻める可きが當然だつたと思はれる、▲神商島道攻守共に斷然と光り、西川の好投加藤の長打亦賞するに餘りある▲實業安藤兄の活躍依然として一人氣き山本三回に二度走壘を誤つて好機を逸したが五回目の安打で見事に帳消をした▲神商中堅手のスタートは餘り良くはなかつた▲二回戰は日取の關係上行はれない

不戰三名を殘し 滿鐵軍勝つ
對三高軍劍道試合

京都帝大劍道部主催、全國高等學校劍道大會に優勝しその餘威をかつて滿洲遠征を企てた第三高等學校對滿鐵大連劍道部の對抗劍道試合は二十七日午後三時半大連道場に於て開催された、試合に先だち由良滿鐵道場幹事の開會の辭あり次いで直ちに試合は三高鷲海滿鐵西の各初段によつて開かれ接戰の結果左の如き成績で滿鐵軍勝つ

三高軍　滿鐵軍
初段鷲海―○初段西
○二段岡本―同　同
同　同―○二段大園
同　中島―○同　同
○同　橋本―同　同
同　同―○同　工藤
同　熱田―○同　同
同　吉田―○同　同
○三段藤田―同　同
○同　同―同　篠原
同　同―○同　是枝
○副將同大山―同　同
同　同―○三段山口
大將同大井川―○同　同
不戰　同小島
不戰　副將同船田
不戰　大將同熊本

滿洲軍は大園の二勝工藤の三勝によつて優勢を持續し三高側は藤田三段の精銳な劍鋒を以て滿鐵の工藤、篠原の優秀な戰士を屠つて三高軍の頹勢を挽回し次いで大山大井川共に奮戰したるも滿鐵軍前半の勝越あり遂に三高軍は滿鐵軍の牙城を拔くことは出來なかつた

けふのラヂオ

昭和四年八月廿九日（木曜日）
自午前十一時 相場（特產・錢鈔、株式、各地相場）
自午後〇時三十分 相場（特產、錢鈔、各地相場）ニュース
自午後三時三十分 相場（錢鈔、株式、各地相場）ニュース
自午後三時五十分 野球聯絡放送
自午後七時三十分
一、ニュース
二、支那語講座（實用支那語會話）
三、家庭講座（御飯の炊き方）滿鐵學務課秩父固太郎
四、謠曲（花筐）梅若流岩村櫻處 瀬華研
五、唄萬歲 立花家秀春、上田ハル子
六、支那唱（孟姜子）唱馬筱翠、師付王振泉
七、料理獻立
八、天氣豫報

愛慾の窓（84）

戸川貞雄作　淺枝次朗畫

奔流（一八）

英輔の挑戰的な言葉に、久彦は勃然たる憤ほりを喚られた。彼の顔を怖ろしく緊迫した表情が包んだ。

「……私憤とは何だ！私情を僕はむしろ抑へて、君のためを思つて動いて來たのだ！でなかつたら、君の結婚なんか疾に不成立に終つてる筈なんだ！」

「……負惜しみはみつともないよ。君は何故もつと正直になれないんだ？そりや口惜しからうさ！倭文子さんの場合といひ美知子さんの場合といひ、不思議と君と僕とは張合ふ因緣になつてゐるんだ。そしていつの場合でも——尤も勝負はまだこれからだが、僕の方に結局のところ勝目がありさうだからね」

英輔はさう云ひながら、綱子の寫眞を取出して、久彦の眼の前に突きつけた。

「……お氣の毒だが倭文子さんはもう疾に昔の夢から醒めてゐるよ。僕の結婚の晩にはね、せめてこの寫眞でも抱いて寢たまへ！」

久彦は突きつけられた綱子の寫眞を見、英輔のさういふ言葉を聞くと、瞬間、啞然としていふ言葉を知らなかつた。

「……この寫眞が何うしたつていふんだい？」

「……惚けたまふなよ！改めて僕から君に返しておくといふんだよ。しかしはつきり斷つておくがね、倭文子は僕の妻なんだぜ！」

英輔は蔑みの情を露はに見せながら、ぷかり〳〵煙草を吹かしはじめた。

久彦にも、綱子の面影が倭文子にあまりによく似てゐるので、誤解されてゐるなといふことがわかつた。

「……誤解だよ、飛んでもない誤解だよ！そりや別な人の寫眞なんだ！」

久彦ははつきりとさう叫んだ。が、英輔は耳にも止めずせゝら笑ふきりであつた。

「ふ、そんなに卑怯な言辭はする必要がないよ……そのため僕が緣談を拒んだとでもいふんなら別問題だが、この場合はさうぢやアないんだからね、僕は決してそのために倭文子を嫌はうとは思はないよ……僕はこの場合最も寛大な良人にならうと思ふんだ。だから君もさう氣にかけんでもいゝのだよ……」

「勝手にしろ！」といふやうな氣持で、久彦は口を噤んでしまつた。妙に緊張つた沈默が氣まづく座を領した。と、その時、廊下に面してゐる襖が、する〳〵と引明けられて、そこから美知子が姿を現した。英輔も久彦も、同時にそれ〳〵ちがつた意味で驚きの眼を向けた。

「……妙な場所でお目にかゝりましたわね、草野さん」

美知子は青ざめた顔に、冷やかな微笑を影のやうに浮べた。

「あなたのいらつしやることを承知で來たのです！僕はあなたをお迎へに來たのですよ、他には何も用があつたわけではないんです」

久彦は美知子の顔を見上げて云つた。

「……さ、一緒に出ませう！かうなつたら小森君ももう歸すわけにはいかんでせうからね」

「……いゝえ！わたしは歸りませんわ！歸りたければ一人で歸りますわ！わたし、あなたにそんな世話を燒いていたゞきたくありませんわ……」

美知子は冷たい調子で、嶮しい久彦の言葉を撥ね返した。だが、その眼には、今にもこぼれて落ちさうな熱い涙が、一杯に溢つてゐるのだつた……。

川柳九月課題

九月五日〆切「差引」高橋月南選
九月十日〆切「看板」島原蛙九選
九月十日〆切「浮沈」丸角卯木人選
△一題五句限り三光瀟賞を呈す
滿日社文藝係